

新ましこ未来計画 基礎調査報告書

平成27年3月
益子町

目 次

はじめに.....	1
第1部 益子町基礎統計データ.....	3
第1章 地域指標の動向.....	4
第1節 人口・世帯の動向.....	5
(1) 人口・世帯の推移.....	5
(2) 人口構成.....	5
(3) 人口動態.....	6
第2節 就業の動向.....	7
(1) 就業率.....	7
(2) 産業別就業者.....	8
第3節 産業の動向.....	9
(1) 町内総生産・町民所得.....	9
(2) 農業.....	10
(3) 工業.....	11
(4) 商業.....	12
(5) 観光.....	12
第4節 財政の動向.....	13
(1) 歳入・歳出.....	13
(2) 財政力指数・経常収支比率.....	14
(3) 地方債現在高・財政調整基金現在高.....	14
(4) 実質公債費比率・将来負担比率.....	15
第2部 町民アンケート集計結果.....	17
第1章 調査の概要.....	18
第1節 調査の目的.....	19
第2節 調査の実施内容.....	19
第3節 集計結果の見方.....	19
第2章 アンケート集計結果.....	20
第1節 属性.....	20
第2節 地域（自治会・旧小学校区）について.....	26
第3節 益子町への愛着・誇りについて.....	38
第4節 未来の益子町について.....	41
第5節 その他.....	46
第3章 自由記述内容.....	47
第1節 地域での課題や問題等を解決するアイデア.....	47

第2節 「幸せ」を感じる時間や場所・場面	50
第3節 各設問の「その他」への記載内容	51
第4節 巻末自由意見	53
 第3部 中高生アンケート集計結果.....	 55
第1章 調査の概要.....	56
第1節 調査の目的	57
第2節 調査の実施内容	57
第3節 集計結果の見方	57
第2章 中学生アンケート集計結果.....	58
第1節 属性	58
第2節 放課後・休日の過ごし方	59
第3節 益子町が好きか	60
第4節 益子町を良くしていくために必要だと思うこと	61
第5節 大人になっても益子町に住み続けたいと思うか	64
第3章 高校生アンケート集計結果.....	65
第1節 属性	65
第2節 放課後・休日の過ごし方	66
第3節 益子町が好きか	67
第4節 益子町を良くしていくために必要だと思うこと	68
第5節 大人になったら益子町に住みたい(住み続けたい)と思うか	71
第4章 中学生／高校生アンケート結果の比較.....	76
第1節 益子町が好きか	73
第2節 益子町を良くしていくために必要だと思うこと	74
第3節 大人になったら益子町に住みたい(住み続けたい)か	76
第5章 自由意見.....	77
第1節 中学生	77
第2節 高校生	79
 第4部 益子町第5次総合振興計画後期基本計画の施策検証結果.....	 81
第1章 施策検証の概要.....	82
第1節 実施目的	83
第2節 検証の視点	83
第3節 実施内容	83
第4節 益子町第5次総合計画後期基本計画の施策体系図	84
第2章 施策検証結果.....	85
第1節 学び、創造する益子	85

（１）生涯学習の推進	85
（２）学校教育の推進	85
（３）社会教育の推進	86
（４）生涯スポーツの推進	87
（５）芸術・文化の振興	87
（６）国際交流・地域間交流の促進	88
（７）男女共同参画の促進	89
（８）人権の尊重	90
第２節 支えあい、健やかに生きる益子	91
（１）生涯を通じた健康づくりの推進	91
（２）地域医療体制の充実	91
（３）地域福祉の推進	92
（４）子育て支援の充実	92
（５）高齢者支援の充実	93
（６）障がい者（児）福祉の充実	94
（７）低所得者福祉の充実	94
（８）医療・年金保険制度の充実	95
第３節 美しく、安全で快適な益子	96
（１）自然環境の保全	96
（２）地球環境の保全	96
（３）快適な生活環境の確保	97
（４）景観の保全・形成	97
（５）快適な住宅の整備促進	98
（６）公園・緑地の整備	98
（７）河川・池沼の整備	99
（８）上水道の充実	99
（９）下水道の充実	100
（１０）資源循環型社会の形成	101
（１１）防災体制の充実	101
（１２）消防・救急体制の充実	102
（１３）防犯体制の充実	102
（１４）交通安全対策の充実	102
（１５）消費生活の向上	103
第４節 産業が育ち、活力ある益子	104
（１）農林業の振興	104
（２）工業の振興	105
（３）商業の振興	105
（４）観光の振興	106
（５）雇用・勤労者福祉の推進	106

第5節 生活やビジネスに魅力的な益子	107
（1）計画的な土地利用の推進	107
（2）魅力ある市街地の形成	107
（3）道路網の充実	107
（4）公共交通の充実	108
第6節 住民と行政がともに創る益子	109
（1）協働のまちづくりの推進	109
（2）地域活動の活性化	109
（3）適切な行政運営	110
（4）安定した財政運営	110
（5）広域行政の推進	111
 第5部 地域懇談会のまとめ.....	 113
第1章 第一回地域懇談会のまとめ.....	114
第1節 地域の課題・問題・将来への不安	115
第2節 地域の誇り	115
第3節 地域の夢	116
第4節 地域の好きな場所・こと	116
第2章 第二回地域懇談会のまとめ.....	117
第1節 コミュニティ活動を活発化するためにできること	117
第2節 地域資源（産業）を活用した地域づくり	119
（1）益子地区	119
（2）七井地区	120
（3）田野地区	121

はじめに

益子町では、第5次総合振興計画に基づきまちづくりを進めるとともに、平成23年3月には、向こう20年をみすえ、『益子ならではの』のまちづくりを図る具体的な計画として、当面3か年の「ましこ未来計画」を策定し、施策を展開してきました。

一方、わが国では、総人口が減少に転じ、少子高齢化が加速化するとともに、さらなる国際化、高度情報化など、社会経済が大きく変化しています。加えて、東日本大震災など、暮らしに大きな影響を及ぼす出来事も起きています。

このような中で、益子町は、住民がいつまでも安心して暮らし続けられる行財政運営に努める必要があります。

そこで、今後めざすべきあり方を描き、その実現に向け、住民と行政が協働で施策・事業を推進するための指針として、平成28～平成32年度（2016～2019）を計画期間とする「新ましこ未来計画」を策定します。

本調査報告書は、「新ましこ未来計画」を策定するための基礎資料とするために、町の基礎統計データ、町民アンケート及び中高生アンケートの集計結果、益子町第5次総合振興計画後期基本計画の施策検証結果、地区懇談会の内容を取りまとめたものです。

第1部 益子町基礎統計データ

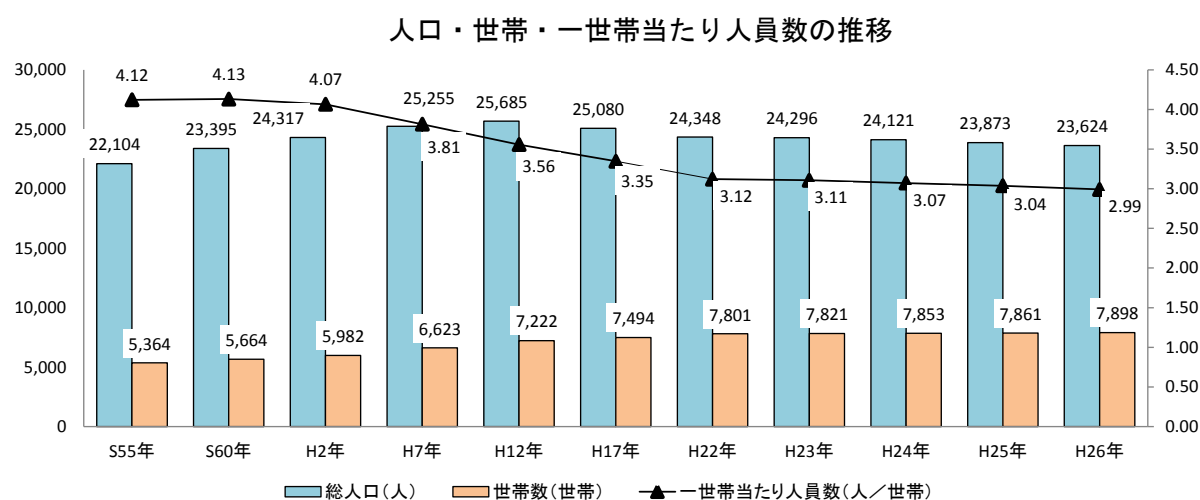
第1章 地域指標の動向

第1節 人口・世帯の動向

(1) 人口・世帯の推移

益子町の人口及び世帯数の推移をみると、人口については平成12年をピークに緩やかな減少傾向になっている一方、世帯数については緩やかな増加傾向になっています。

また、一世帯当たり人員数は、平成7年に4.00人を割って以降、減少傾向が続いています。



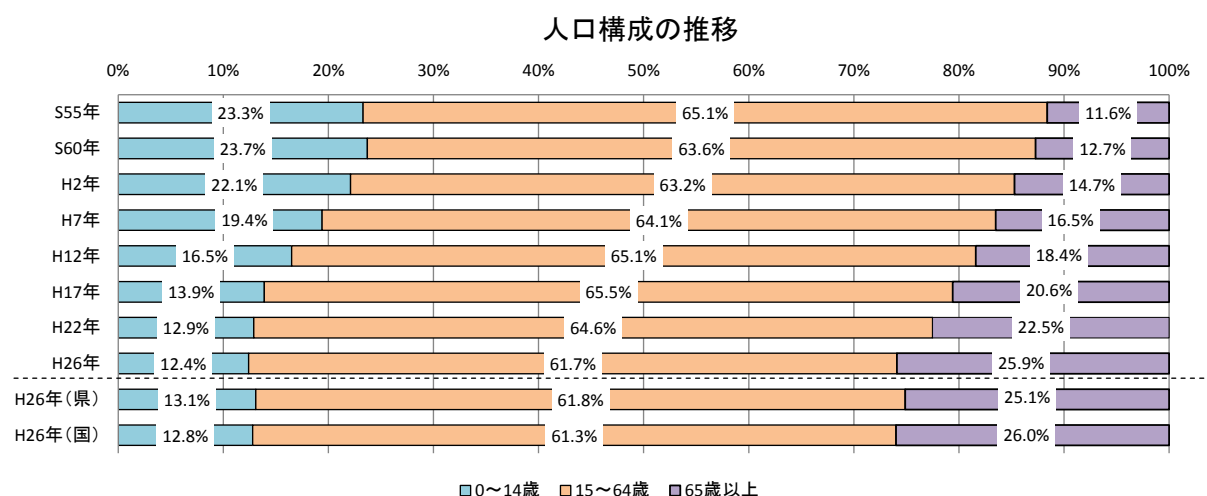
資料：国勢調査（S55～H22年）

H23～25年は芳賀地区統計書（H25年度版）

H26年は栃木県毎月人口調査（H26年4月1日現在）

(2) 人口構成

益子町の年齢3区分別人口の推移をみると、15歳未満および15～64歳の人口は減少傾向、65歳以上の人口は増加傾向にあり、2割を超えています。栃木県・国との比較では、15歳未満のいわゆる年少人口が、やや低くなっています。

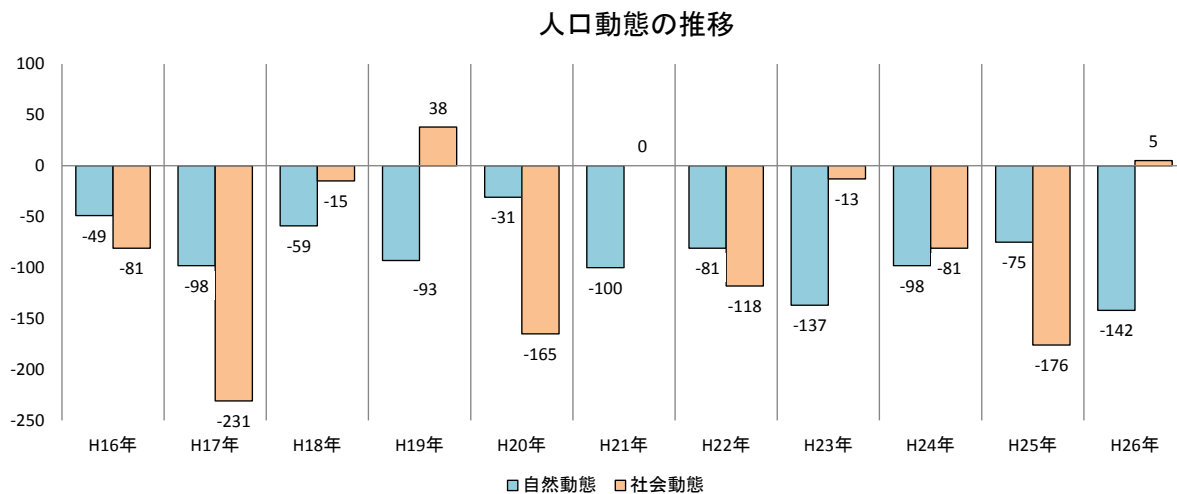


資料：国勢調査（S55～H22年）

H26年は栃木県毎月人口調査、総務省統計局人口推計（平成26年10月1日現在）

(3) 人口動態

益子町の人口動態の推移をみると、平成 16 年以降、社会増がみられる平成 19 年と平成 26 年を除いては、自然動態（出生・死亡）、社会動態（転入・転出）ともに減少傾向となっています。



資料：統計でみる市区町村のすがた（H16～24 年）
栃木県毎月人口調査報告書（H25、26 年年報）

第2節 就業の動向

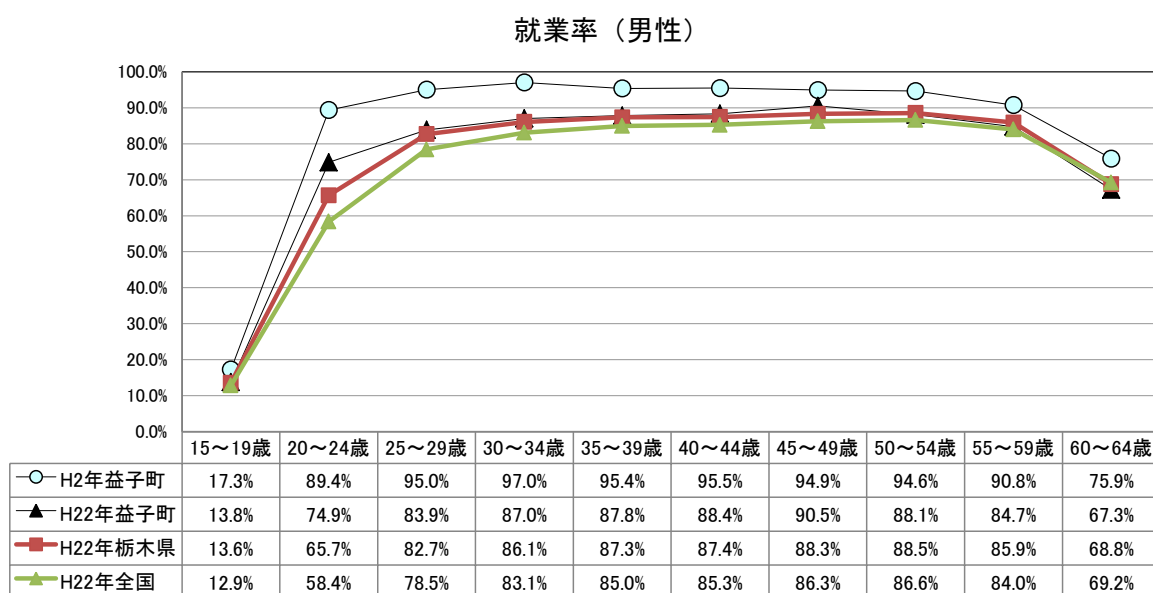
(1) 就業率

益子町の実業率についてみると、男性は平成2年と比較して、平成22年にはすべての年齢層で就業率が下がっています。

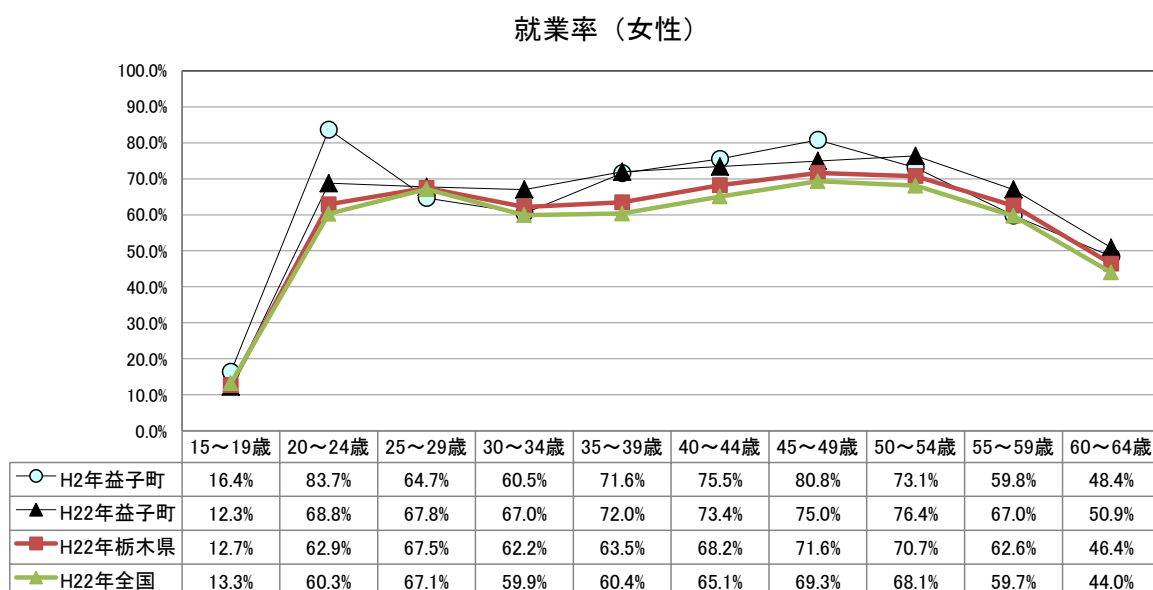
男性の平成22年の就業率について、全国及び栃木県と比較すると、15歳から49歳までは益子町の実業率は全国及び栃木県を上回っていますが、50歳から59歳までは全国を上回るものの、栃木県を下回り、60～64歳では、全国及び栃木県よりも下回っています。

女性は平成2年と比較して、平成22年には25～39歳、50～64歳の年齢層で就業率が上がり、15～24歳、40～49歳の年齢層で下がっています。

女性の平成22年の就業率について、全国及び栃木県と比較すると、20歳以上のすべての年齢層で、全国及び栃木県を上回っています。



資料：国勢調査

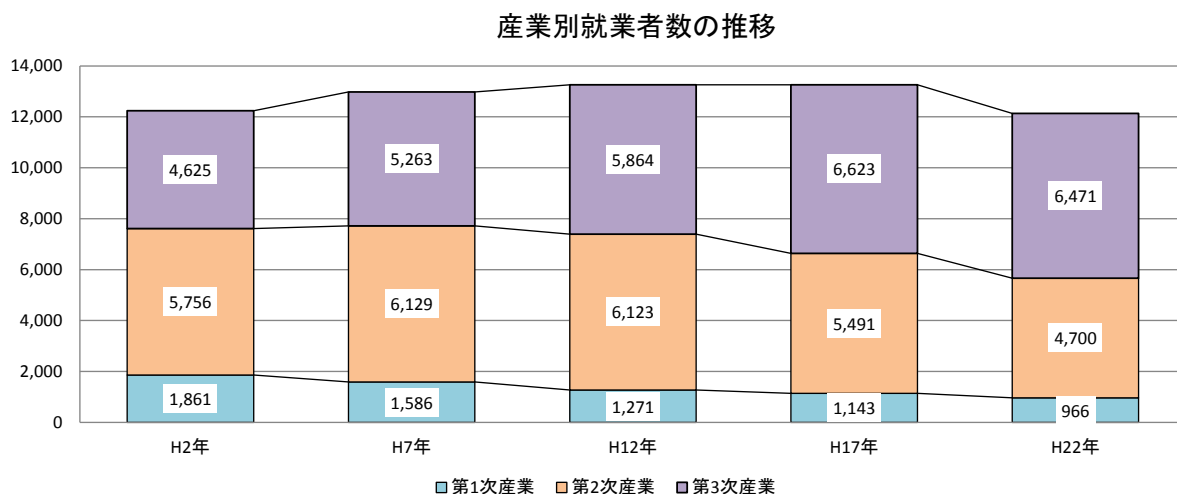


資料：国勢調査

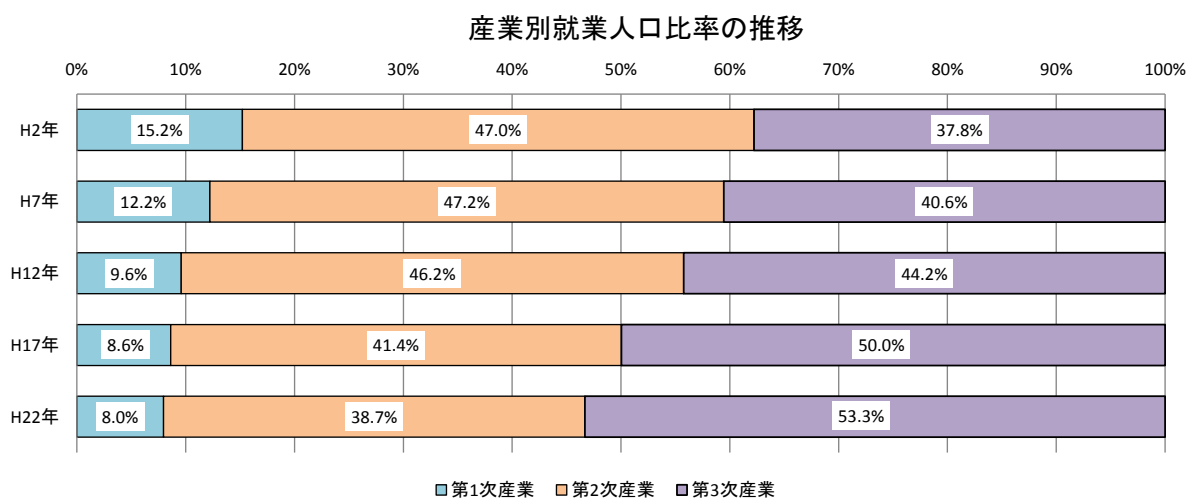
(2) 産業別就業者

益子町の産業別就業人口の推移をみると、第1次産業は減少傾向、第2次産業は平成7年をピークに減少傾向、第3次産業は平成17年までは増加していましたが、平成22年には減少に転じています。

また、産業別の就業人口比率についてみると、第1次産業、第2次産業の占める割合は減少傾向、第3次産業の占める割合が増加傾向にあります。



資料：国勢調査



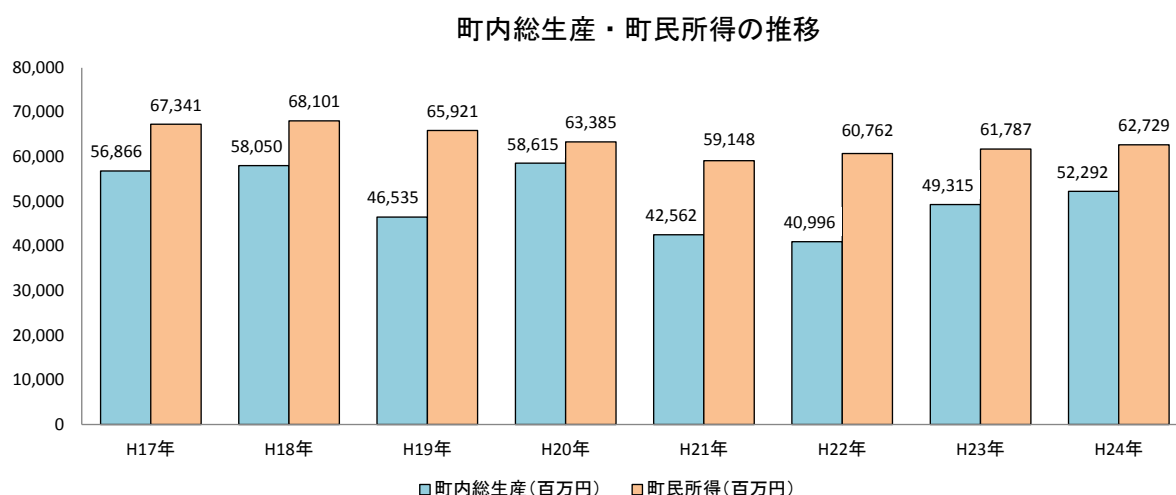
資料：国勢調査

第3節 産業の動向

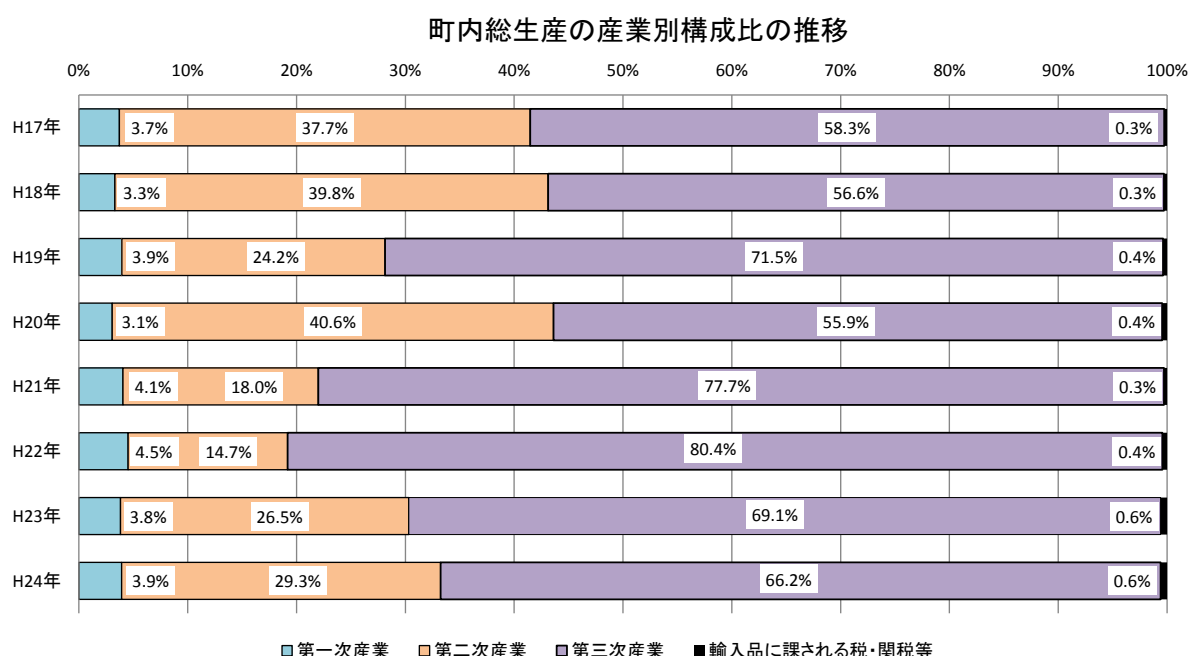
(1) 町内総生産・町民所得

益子町の町内総生産額は、平成24年では約523億円で、平成22年から2年連続で増加しています。町内総生産額の産業別構成比をみると、平成24年では第一次産業が3.9%、第二次産業が29.3%、第三次産業が66.2%となっており、平成22年以降、第二次産業の割合が増加し、第三次産業の割合は減少しています。

一方、町民所得は平成24年では約627億円で、平成21年から3年連続で増加しています。



資料：栃木県市町村民経済計算



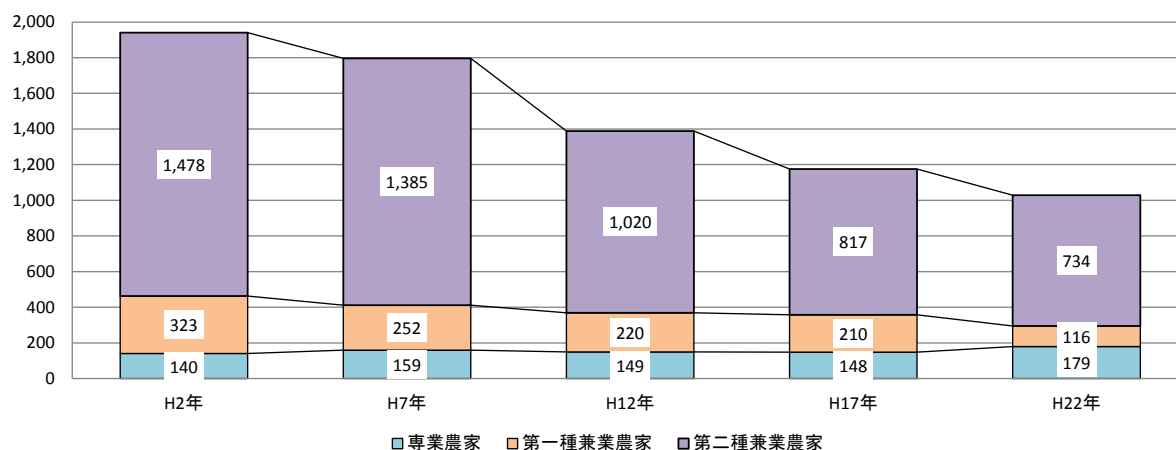
資料：栃木県市町村民経済計算

(2) 農業

益子町の農家数は平成7年以降、平成22年度までに約53%にまで減少しています。特に農業以外の収入に頼っている第二種兼業農家の減少が著しい一方で、専業農家は平成17年度から22年度にかけては増加しています。

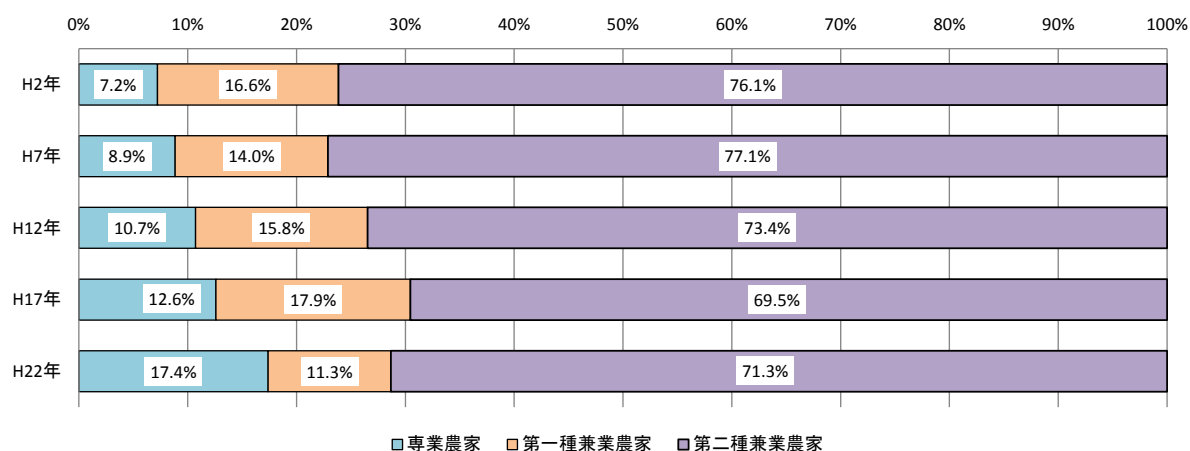
また、総農家数に占める専業農家の割合は、増加を続けています。

農家数の推移



資料：農林業センサス

農家種別構成比の推移

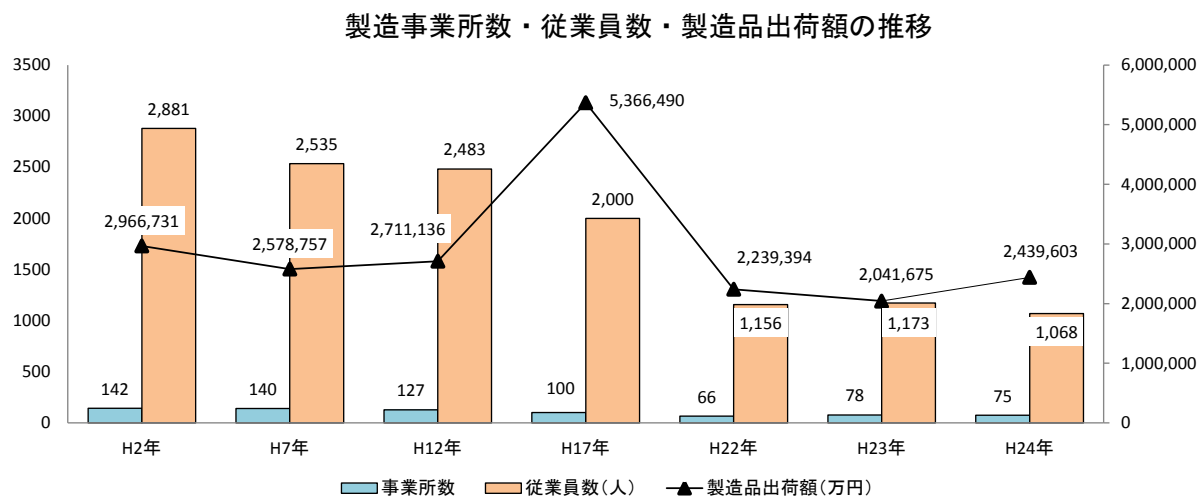


資料：農林業センサス

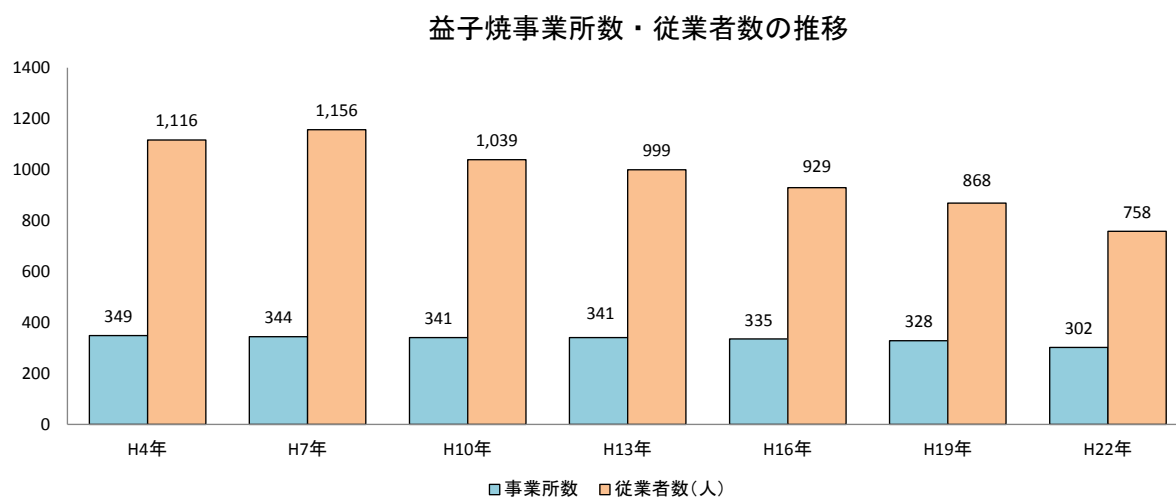
(3) 工業

益子町における平成 24 年の製造事業所数は 75 事業所で、従業員数は 1,068 人、製造品出荷額は約 244 億円となっています。従業員数は減少を続けています。

窯業（益子焼）についてみると、事業所数は減少傾向、従業者数は平成 7 年以降減少傾向にあります。



資料：工業統計調査

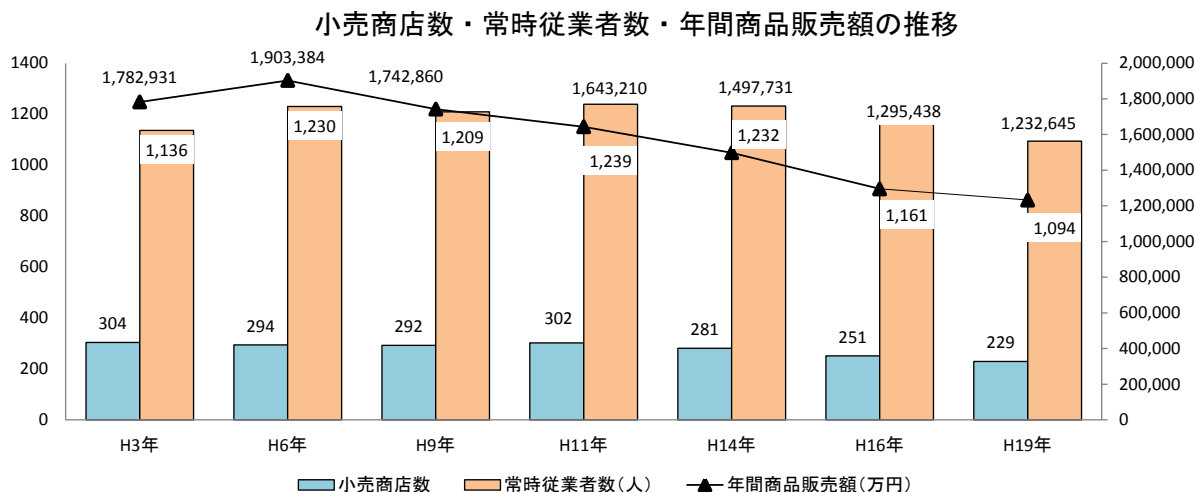


資料：益子焼統計調査

(4) 商業

益子町における平成 19 年の小売商店数は 229 店舗、常時従業者数は 1,094 人、小売業年間商品販売額は約 123 億円となっています。

小売商店数、常時従業者数は、平成 11 年以降減少傾向にあり、年間商品販売額は平成 6 年以降減少傾向にあります。



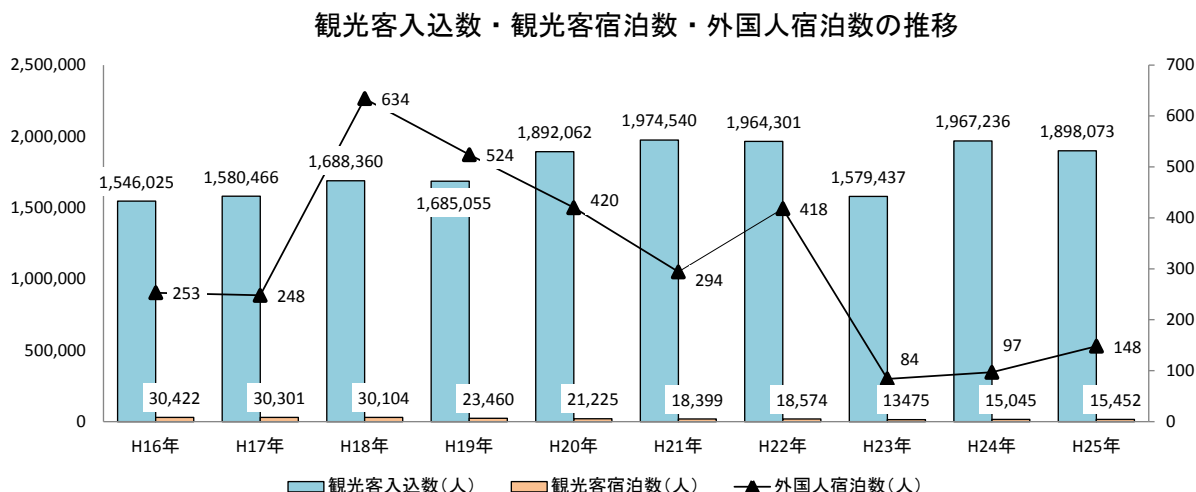
資料：商業統計調査

(5) 観光

益子町における平成 25 年の観光客入込数は約 190 万人で、東日本大震災の影響でいったん大きく落ち込んだ平成 23 年の約 158 万人から回復してはいますが、平成 24 年の約 197 万人に比べて、減少しています。

観光客宿泊数は、平成 25 年は 15,452 人で、平成 23 年以降、増加を続けています。

外国人宿泊数は、平成 25 年は 148 人で、平成 23 年以降、増加を続けています。



資料：栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果

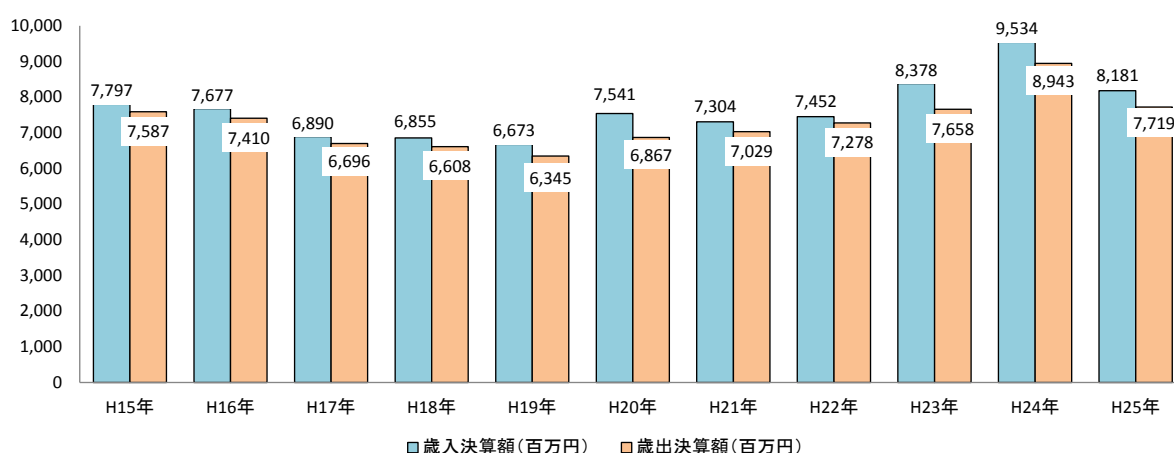
第4節 財政の動向

(1) 歳入・歳出

益子町の平成25年の一般会計歳入決算額は約81.8億円で、一般会計歳出決算額は約77.2億円となっています。

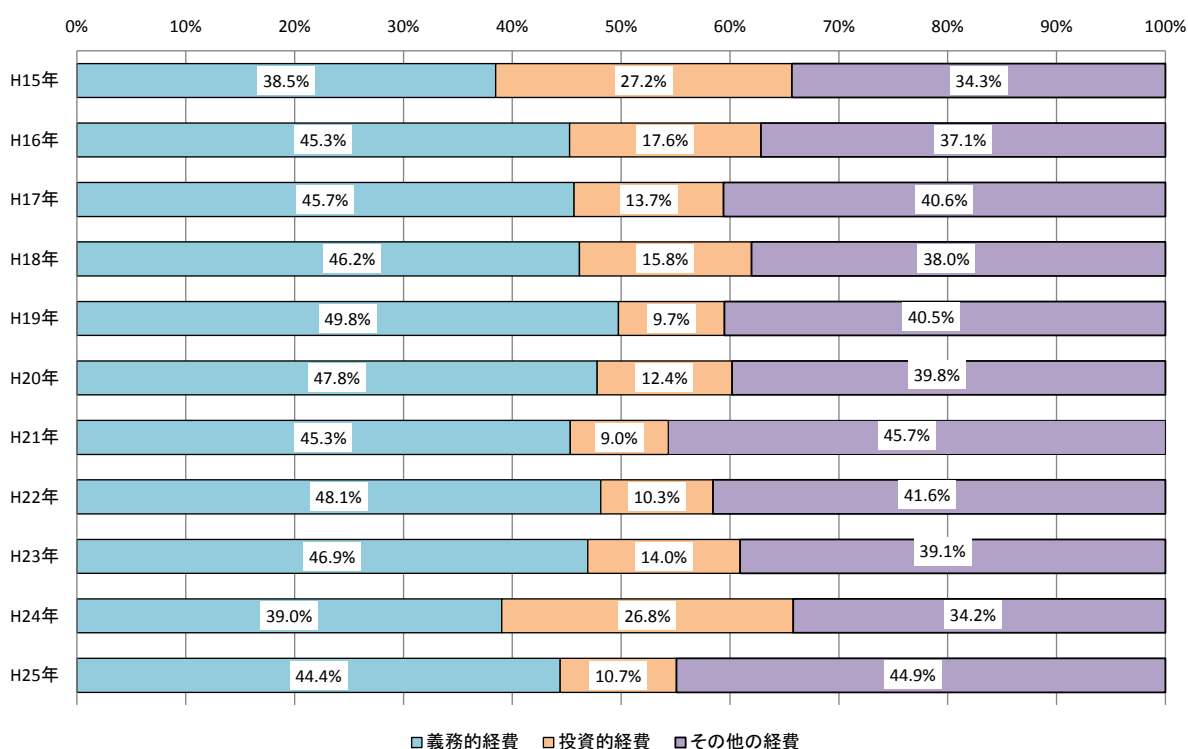
平成25年の歳出の性質別内訳（構成比）は、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）が44.4%、投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費、失業対策事業費）10.7%、その他の経費が44.9%となっています。

一般会計歳入決算額・歳出決算額の推移



資料：益子町統計書（H15～23年）
決算概要（H24、25年）

一般会計性質別歳出内訳（構成比）の推移

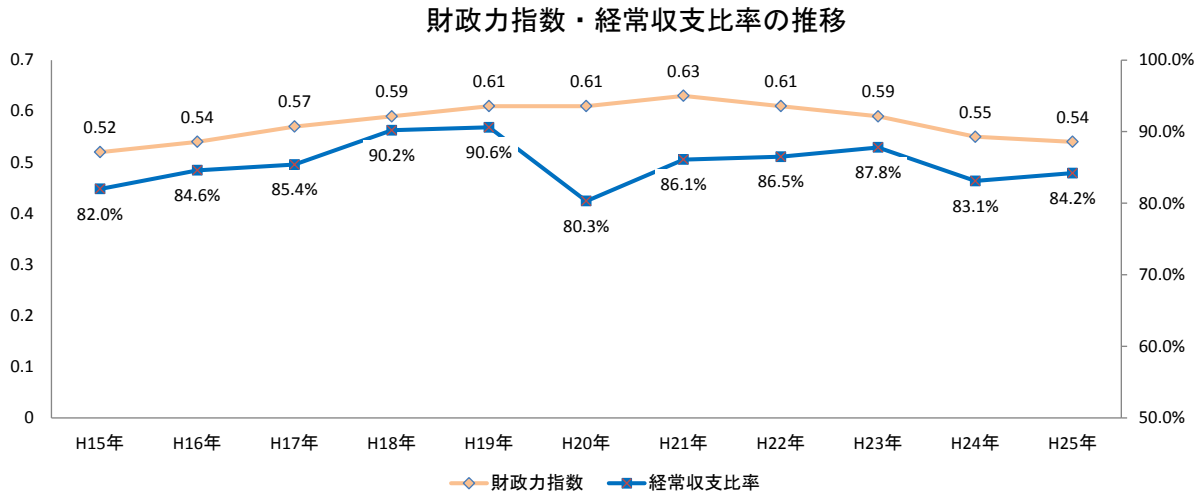


資料：益子町統計書（H15～23年）
決算概要（H24、25年）

(2) 財政力指数・経常収支比率

益子町の平成 25 年の財政力指数は 0.54、経常収支比率は 84.2%となっています。
財政力指数は平成 21 年以降、低下傾向が続いています。

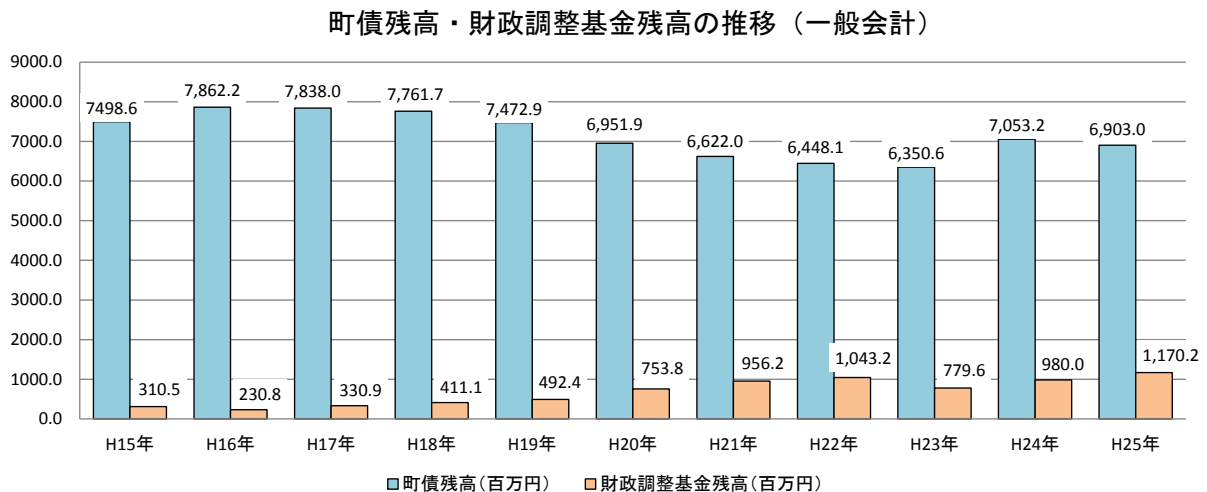
経常収支比率は、平成 18、19 年度に 90%台にりましたが、以後は若干持ち直し、80%台で推移しています。



資料：統計でみる市区町村のすがた

(3) 地方債現在高・財政調整基金現在高

益子町の平成 25 年の町債残高は約 69 億円で平成 24 年から約 1 億 5 千万円減っています。平成 25 年の財政調整基金の残高は約 11 億 7 千万円となっており、平成 23 年以降、2 年連続で増えています。



資料：決算概要

(4) 実質公債費比率・将来負担比率

平成 25 年度決算に基づく益子町の将来負担比率は、51.6%となっており、早期健全化基準とされる 350.0%を大きく下回っています。

各年度決算に基づく実質公債費比率・将来負担比率の推移

	実質公債費比率	将来負担比率
H19年度	15.5%	119.0%
H20年度	15.8%	93.4%
H21年度	14.7%	69.3%
H22年度	13.7%	54.5%
H23年度	12.8%	59.1%
H24年度	11.9%	66.1%
H25年度	10.7%	51.6%
早期健全化基準	25.0%	350.0%
財政再生基準	35.0%	

資料：各年度決算に基づく健全化判断基準・資金不足比率の概要

第2部 町民アンケート集計結果

第1章 調査の概要

第1節 調査の目的

本調査は、18 歳以上の住民 2,000 人を対象に、町政に対する満足度や、まちづくりについてのニーズなどを把握し、「新ましこ未来計画」の策定にむけた基礎資料とするために実施しました。

第2節 調査の実施内容

対象者、配布・回収方法、回収数などは以下のとおりです。

調査の対象	18 歳以上の住民 2,000 人
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	11 月 28 日～12 月 12 日
回収数	871 件
回収率	43.6%

第3節 集計結果の見方

- 設問のなかには前問の特定回答者のみが答える「限定設問」があり、「回答者数」が全体より少なくなっている場合があります。
- 設問には1つのみ答えるもの（シングルアンサー）と複数回答のもの（マルチアンサー）があり、マルチアンサーの設問では、構成比の合計は 100%を超えます。
- 構成比は選択肢ごとに小数点第2位で四捨五入しているため、その構成比の合計は 100%にならないところがあります。
- 年齢別クロス集計は、年齢無回答分は表記していません。居住小学校区別クロス集計についても、居住小学校無回答分は表記していません。また、グラフは、「その他」の選択肢や「無回答」などの表記を省略しているところがあります。

第2章 アンケート集計結果

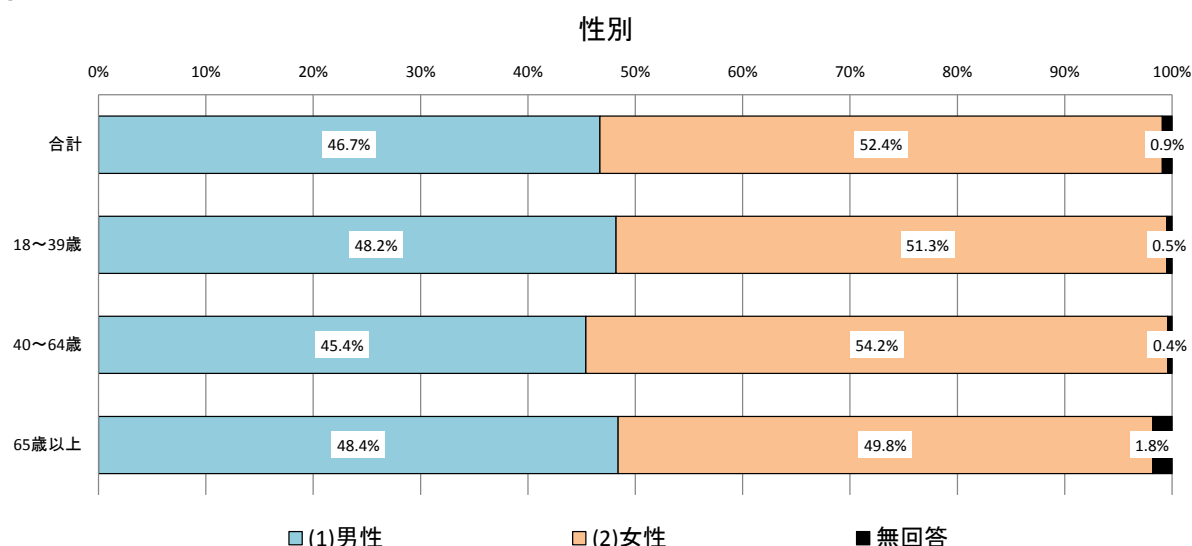
第1節 属性

問1 あなたの性別はどちらですか。【〇は1つだけ】

	年齢（再区分）						合計	
	18～39歳		40～64歳		65歳以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
(1) 男性	95	48.2%	206	45.4%	105	48.4%	407	46.7%
(2) 女性	101	51.3%	246	54.2%	108	49.8%	456	52.4%
無回答	1	0.5%	2	0.4%	4	1.8%	8	0.9%
合計	197	100.0%	454	100.0%	217	100.0%	871	100.0%

※年齢別クロス集計は、年齢無回答分は表記していない。以下同じ。

回答者の性別は、女性が52.4%、男性が46.7%と、女性がやや多くなっており、これはどの年齢層でも同じ傾向を示しています。

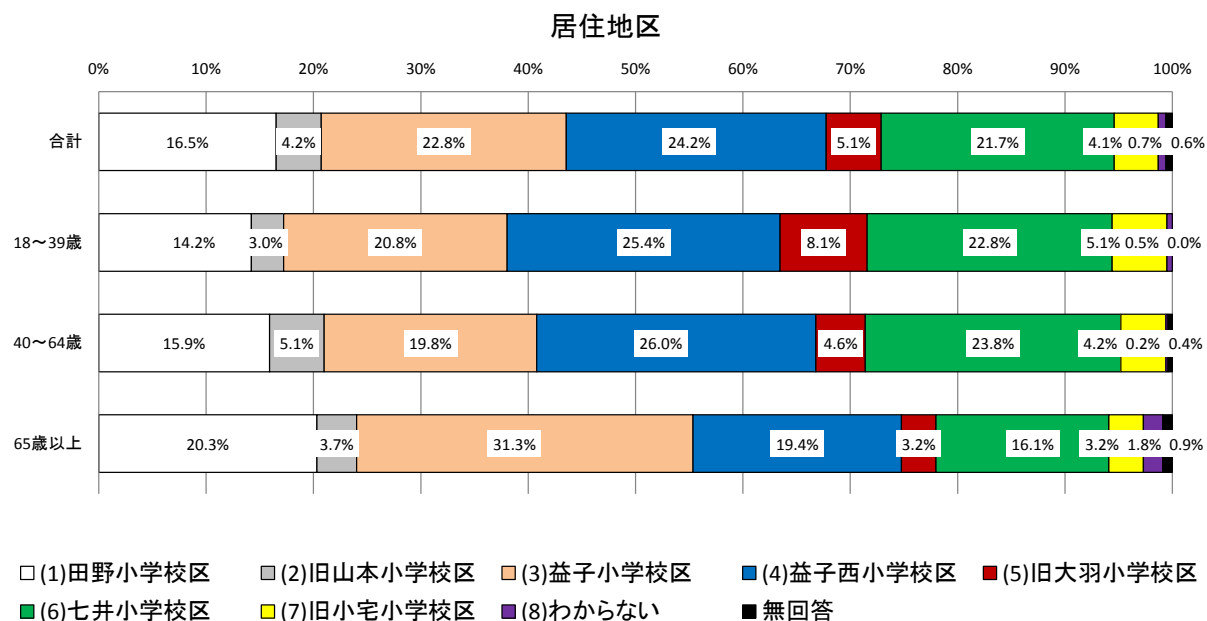


問2 あなたのお住まいはどちらの小学校区ですか。【〇は1つだけ】

	年齢（再区分）						合計	
	18～39歳		40～64歳		65歳以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
(1) 田野小学校区	28	14.2%	72	15.9%	44	20.3%	144	16.5%
(2) 旧山本小学校区	6	3.0%	23	5.1%	8	3.7%	37	4.2%
(3) 益子小学校区	41	20.8%	90	19.8%	68	31.3%	199	22.8%
(4) 益子西小学校区	50	25.4%	118	26.0%	42	19.4%	211	24.2%
(5) 旧大羽小学校区	16	8.1%	21	4.6%	7	3.2%	44	5.1%
(6) 七井小学校区	45	22.8%	108	23.8%	35	16.1%	189	21.7%
(7) 旧小宅小学校区	10	5.1%	19	4.2%	7	3.2%	36	4.1%
(8) わからない	1	0.5%	1	0.2%	4	1.8%	6	0.7%
無回答	0	0.0%	2	0.4%	2	0.9%	5	0.6%
合計	197	100.0%	454	100.0%	217	100.0%	871	100.0%

回答者が住んでいる小学校区は、全体では益子西小学校区（24.2%）が最も多く、次いで益子小学校区（22.8%）、七井小学校区（21.7%）の順となっています。

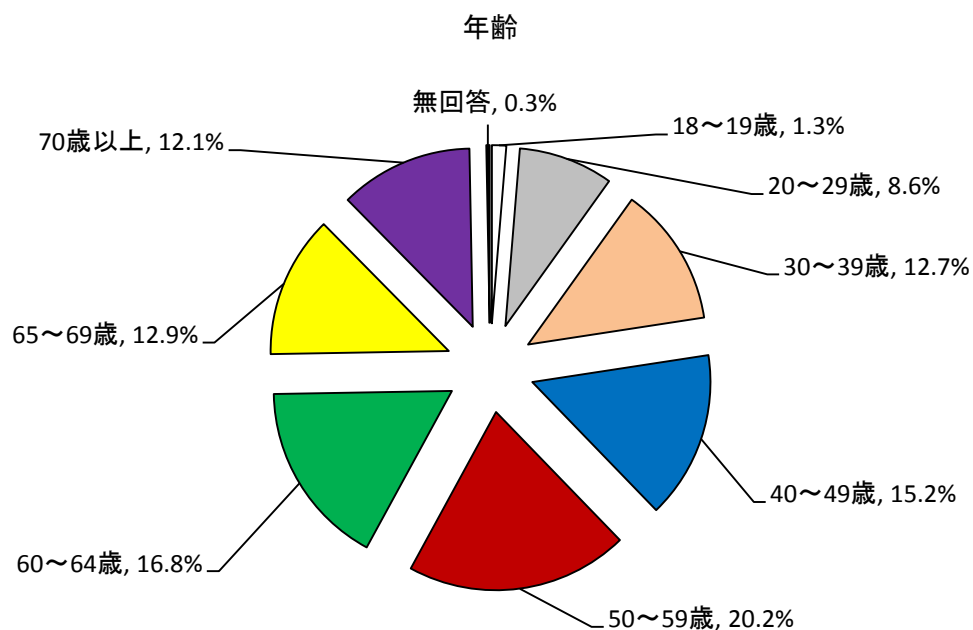
年齢区分でみると、18歳から64歳までは益子西小学校区、七井小学校区、益子小学校区の順になっており、65歳以上では益子小学校区、田野小学校区、益子西小学校区の順になっています。



問3 あなたの年齢はどこに該当しますか。【○は1つだけ】

	人数	割合
18～19歳	11	1.3%
20～29歳	75	8.6%
30～39歳	111	12.7%
40～49歳	132	15.2%
50～59歳	176	20.2%
60～64歳	146	16.8%
65～69歳	112	12.9%
70歳以上	105	12.1%
無回答	3	0.3%
合計	871	100.0%

回答者の年齢層は、50～59歳（20.2%）が最も多く、次いで60～64歳（16.8%）、40～49歳（15.2%）の順となっています。

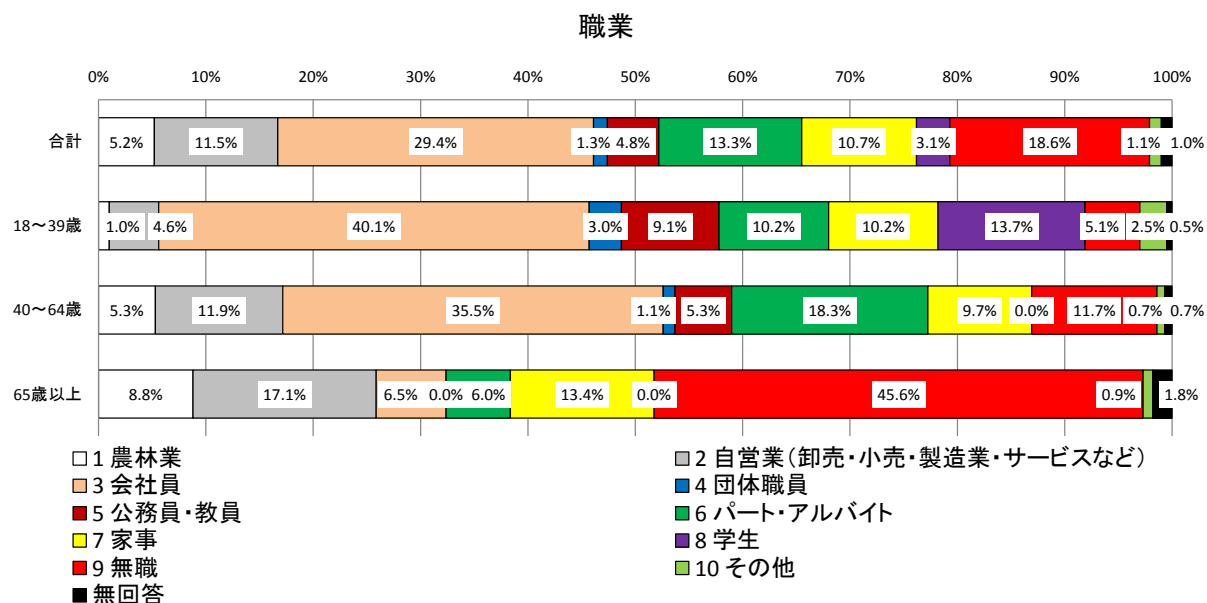


問4 あなたの職業はどれですか。【〇は1つだけ】

	年齢（再区分）						合計	
	18～39歳		40～64歳		65歳以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
(1) 農林業	2	1.0%	24	5.3%	19	8.8%	45	5.2%
(2) 自営業（卸売・小売・製造業・サービスなど）	9	4.6%	54	11.9%	37	17.1%	100	11.5%
(3) 会社員	79	40.1%	161	35.5%	14	6.5%	256	29.4%
(4) 団体職員	6	3.0%	5	1.1%	0	0.0%	11	1.3%
(5) 公務員・教員	18	9.1%	24	5.3%	0	0.0%	42	4.8%
(6) パート・アルバイト	20	10.2%	83	18.3%	13	6.0%	116	13.3%
(7) 家事	20	10.2%	44	9.7%	29	13.4%	93	10.7%
(8) 学生	27	13.7%	0	0.0%	0	0.0%	27	3.1%
(9) 無職	10	5.1%	53	11.7%	99	45.6%	162	18.6%
(10) その他	5	2.5%	3	0.7%	2	0.9%	10	1.1%
無回答	1	0.5%	3	0.7%	4	1.8%	9	1.0%
合計	197	100.0%	454	100.0%	217	100.0%	871	100.0%

回答者の職業は、全体では会社員（29.4%）が最も多く、次いで無職（18.6%）、パート・アルバイト（13.3%）、自営業（11.5%）などとなっています。

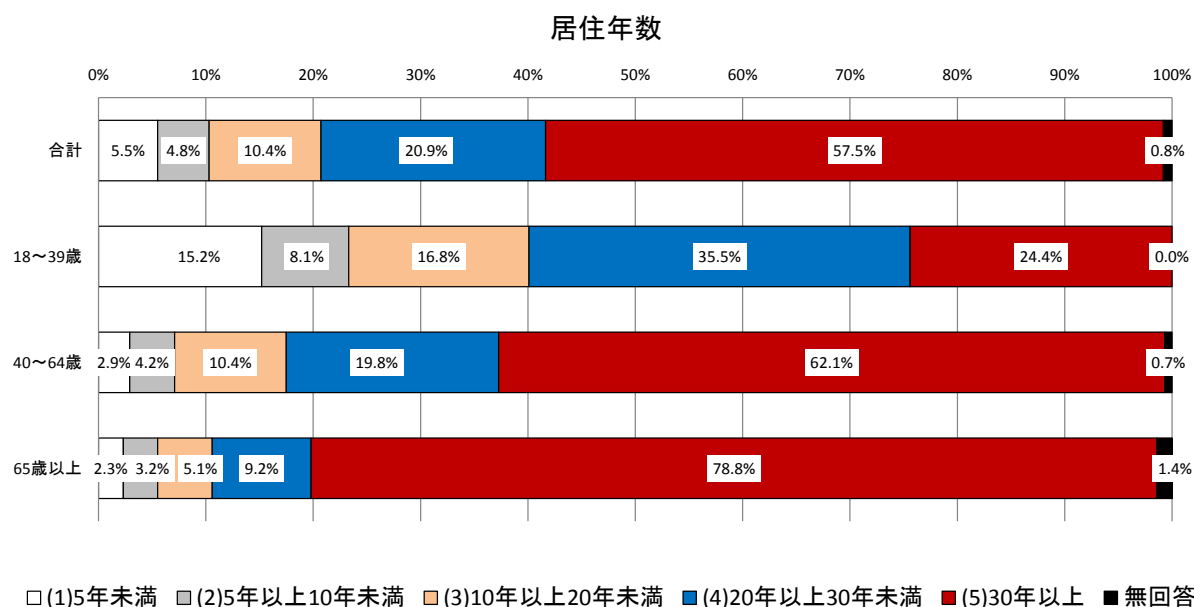
年齢区分でみると、18～39歳では会社員（40.1%）、学生（13.7%）、パート・アルバイト（10.2%）、家事（10.2%）の順に、40～64歳では会社員（35.5%）、パート・アルバイト（18.3%）、自営業（11.9%）、無職（11.7%）の順になっています。65歳以上では、無職（45.6%）、自営業（17.1%）、家事（13.4%）などとなっています。



問5 あなたは、益子町に住んで何年になりますか。【〇は1つだけ】

	年齢（再区分）						合計	
	18～39歳		40～64歳		65歳以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
(1)5年未満	30	15.2%	13	2.9%	5	2.3%	48	5.5%
(2)5年以上10年未満	16	8.1%	19	4.2%	7	3.2%	42	4.8%
(3)10年以上20年未満	33	16.8%	47	10.4%	11	5.1%	91	10.4%
(4)20年以上30年未満	70	35.5%	90	19.8%	20	9.2%	182	20.9%
(5)30年以上	48	24.4%	282	62.1%	171	78.8%	501	57.5%
無回答	0	0.0%	3	0.7%	3	1.4%	7	0.8%
合計	197	100.0%	454	100.0%	217	100.0%	871	100.0%

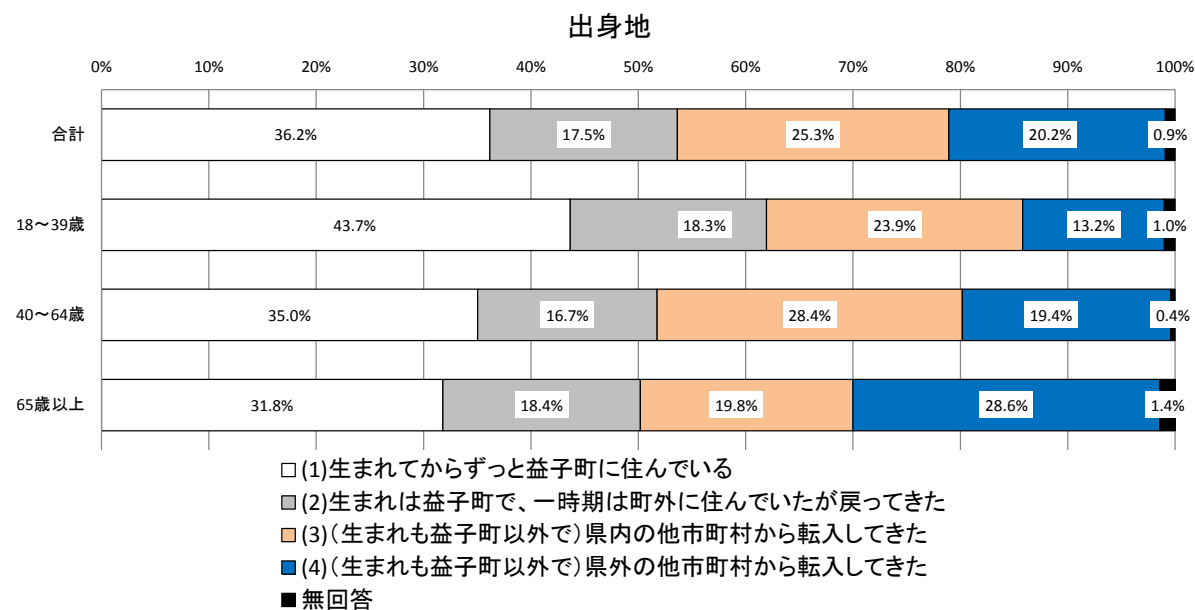
回答者の居住年数は、30年以上（57.5%）が最も多く、次いで20年以上30年未満（20.9%）、10年以上20年未満（10.4%）と続きます。



問6 あなたの出身地はどこですか。【〇は1つだけ】

	年齢（再区分）						合計	
	18～39歳		40～64歳		65歳以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
(1)生まれてからずっと益子町に住んでいる	86	43.7%	159	35.0%	69	31.8%	315	36.2%
(2)生まれは益子町で、一時は町外に住んでいたが戻ってきた	36	18.3%	76	16.7%	40	18.4%	152	17.5%
(3)（生まれも益子町以外で）県内の他市町村から転入してきた	47	23.9%	129	28.4%	43	19.8%	220	25.3%
(4)（生まれも益子町以外で）県外の他市町村から転入してきた	26	13.2%	88	19.4%	62	28.6%	176	20.2%
無回答	2	1.0%	2	0.4%	3	1.4%	8	0.9%
合計	197	100.0%	454	100.0%	217	100.0%	871	100.0%

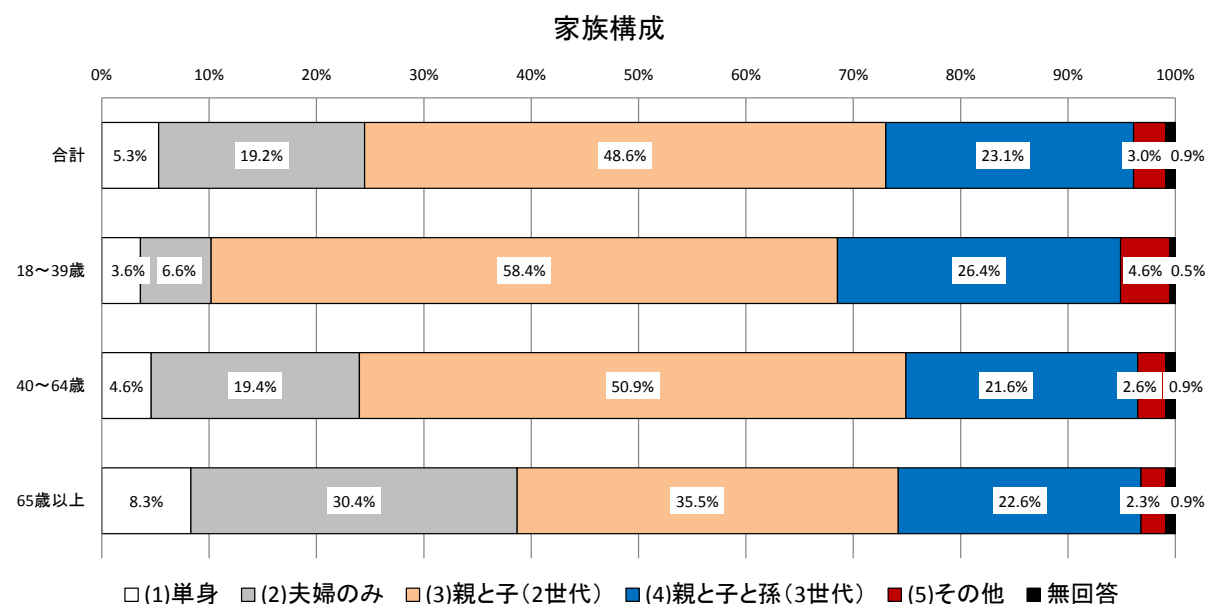
回答者の出身地は、「生まれてからずっと益子町に住んでいる」、「生まれは益子町で、一時は町外に住んでいたが戻ってきた」を合わせると 53.7%、「県内の他市町村から転入してきた」、「県外の他市町村から転入してきた」を合わせると 45.5%となっています。



問7 あなたの家族構成はどれですか。【○は1つだけ】

	年齢（再区分）						合計	
	18～39歳		40～64歳		65歳以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
(1) 単身	7	3.6%	21	4.6%	18	8.3%	46	5.3%
(2) 夫婦のみ	13	6.6%	88	19.4%	66	30.4%	167	19.2%
(3) 親と子（2世代）	115	58.4%	231	50.9%	77	35.5%	423	48.6%
(4) 親と子と孫（3世代）	52	26.4%	98	21.6%	49	22.6%	201	23.1%
(5) その他	9	4.6%	12	2.6%	5	2.3%	26	3.0%
無回答	1	0.5%	4	0.9%	2	0.9%	8	0.9%
合計	197	100.0%	454	100.0%	217	100.0%	871	100.0%

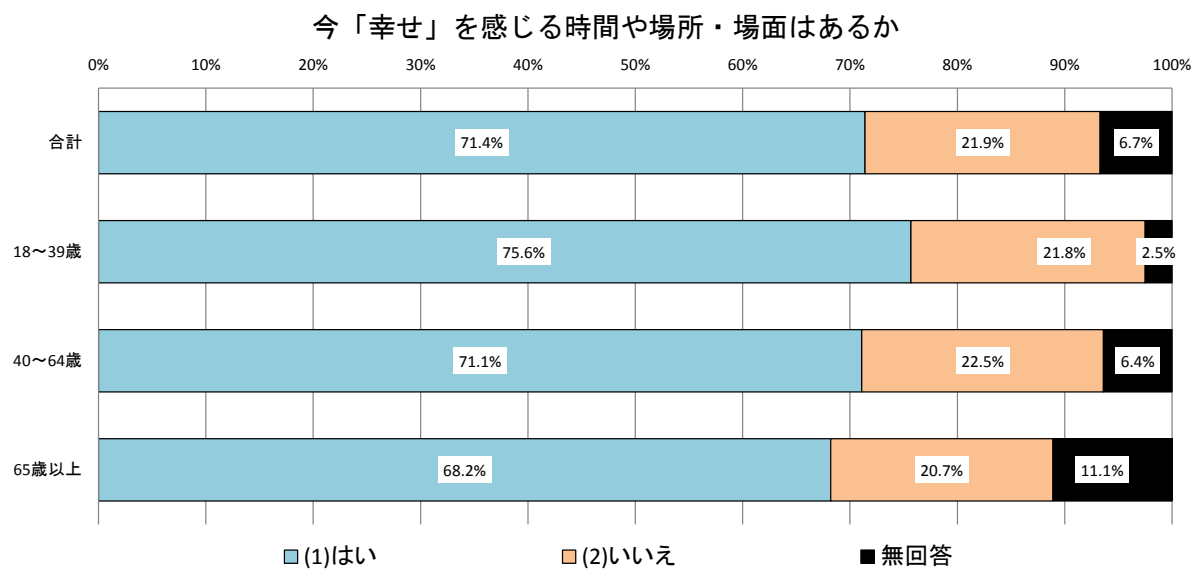
回答者の家族構成は、「親と子（2世代）」（48.6％）が最も多く、次いで「親と子と孫（3世代）」（23.1％）、「夫婦のみ」（19.2％）などとなっています。
 65歳以上では、「夫婦のみ」が「親と子（2世代）」に次いで高い割合となっています。



問8 あなたは、今「幸せ」を感じる時間や場所・場面はありますか。【○は1つだけ】

	年齢（再区分）						合計	
	18～39歳		40～64歳		65歳以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
(1)はい	149	75.6%	323	71.1%	148	68.2%	622	71.4%
(2)いいえ	43	21.8%	102	22.5%	45	20.7%	191	21.9%
無回答	5	2.5%	29	6.4%	24	11.1%	58	6.7%
合計	197	100.0%	454	100.0%	217	100.0%	871	100.0%

今「幸せ」を感じる時間や場所・場面が「ある」と答えた方は全体で 71.4%、「ない」と答えた方は 21.9%となっています。
年齢区分でみると、若い世代の方が「ある」と答えた割合が高くなっています。



問8-1 あなたが、今一番「幸せ」を感じる時間や場所・場面はなんですか。【自由記述】
第3章第2節（50ページ）参照。

第2節 地域（自治会・旧小学校区）について

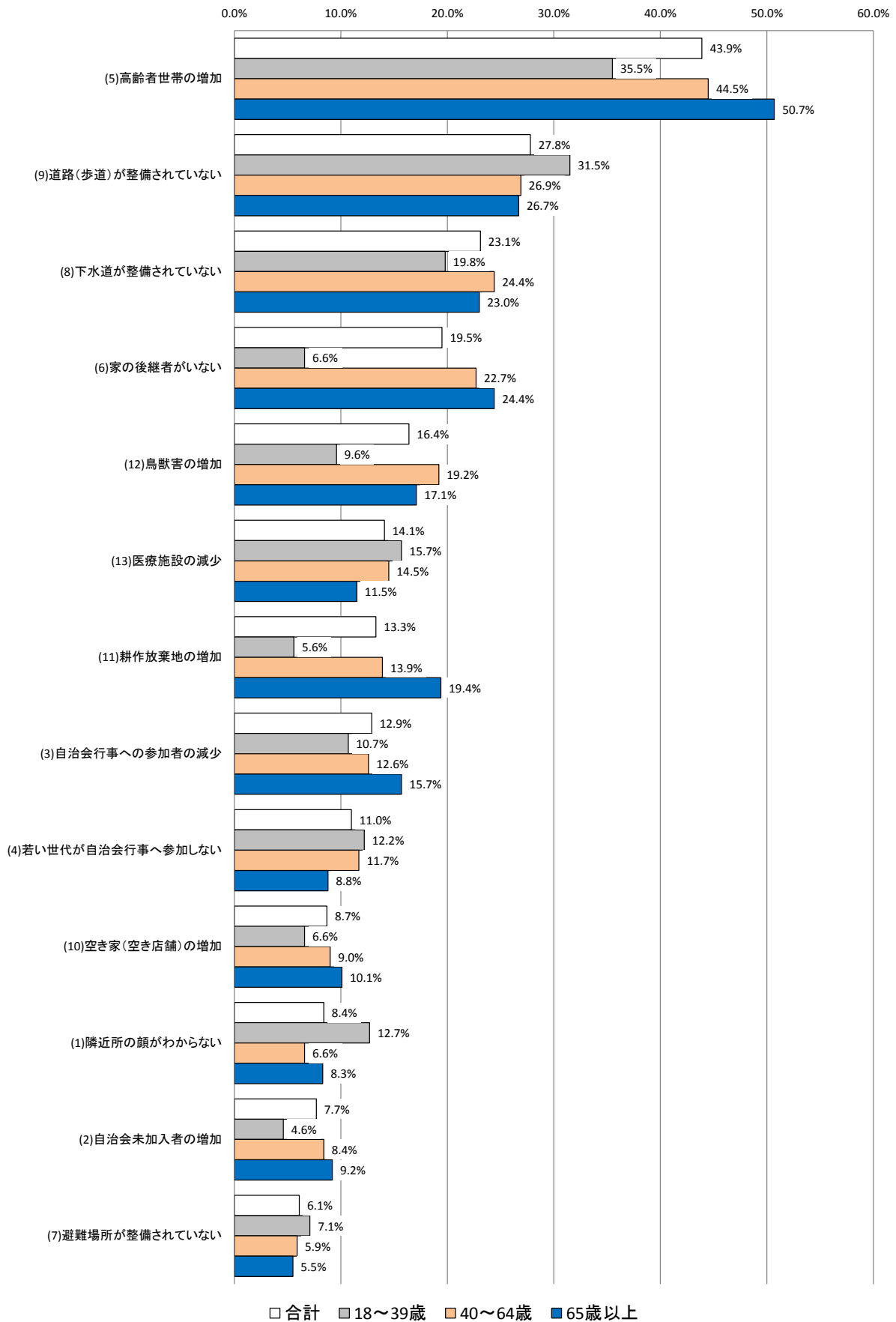
問9 あなたが住んでいる地域（自治会または旧小学校区の範囲）での課題や問題点、将来への不安を、次の中から選んでください。【〇はいくつでも】

	年齢（再区分）						合計	
	18～39歳		40～64歳		65歳以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
(1) 隣近所の顔がわからない	25	12.7%	30	6.6%	18	8.3%	73	8.4%
(2) 自治会未加入者の増加	9	4.6%	38	8.4%	20	9.2%	67	7.7%
(3) 自治会行事への参加者の減少	21	10.7%	57	12.6%	34	15.7%	112	12.9%
(4) 若い世代が自治会行事へ参加しない	24	12.2%	53	11.7%	19	8.8%	96	11.0%
(5) 高齢者世帯の増加	70	35.5%	202	44.5%	110	50.7%	382	43.9%
(6) 家の後継者がいない	13	6.6%	103	22.7%	53	24.4%	170	19.5%
(7) 避難場所が整備されていない	14	7.1%	27	5.9%	12	5.5%	53	6.1%
(8) 下水道が整備されていない	39	19.8%	111	24.4%	50	23.0%	201	23.1%
(9) 道路（歩道）が整備されていない	62	31.5%	122	26.9%	58	26.7%	242	27.8%
(10) 空き家（空き店舗）の増加	13	6.6%	41	9.0%	22	10.1%	76	8.7%
(11) 耕作放棄地の増加	11	5.6%	63	13.9%	42	19.4%	116	13.3%
(12) 鳥獣害の増加	19	9.6%	87	19.2%	37	17.1%	143	16.4%
(13) 医療施設の減少	31	15.7%	66	14.5%	25	11.5%	123	14.1%
(14) その他	27	13.7%	54	11.9%	17	7.8%	98	11.3%
無回答	44	22.3%	61	13.4%	27	12.4%	133	15.3%
合計	197	100.0%	454	100.0%	217	100.0%	871	100.0%

住んでいる地域での課題や問題点、将来への不安については、「高齢者世帯の増加」（43.9%）が最も多く、次いで「道路（歩道）が整備されていない」（27.8%）、「下水道が整備されていない」（23.1%）などとなっています。

年齢区分でみると、年齢が上がるにつれて回答割合が高くなっているのは、「自治会未加入者の増加」、「自治会行事への参加者の減少」、「高齢者世帯の増加」、「空き家（空き店舗）の増加」、「耕作放棄地の増加」で、逆に年齢が下がるにつれて回答割合が高くなっているのは、「若い世代が自治会行事へ参加しない」、「避難場所が整備されていない」、「道路（歩道）が整備されていない」、「医療施設の減少」となっています。

住んでいる地域での課題や問題点、将来への不安（年齢区分別：複数回答）



住んでいる地域での課題や問題点、将来への不安（居住小学校区別：複数回答）

	居住小学校区														合計	
	(1) 田野小学校区		(2) 旧山本小学校区		(3) 益子小学校区		(4) 益子西小学校区		(5) 旧大羽小学校区		(6) 七井小学校区		(7) 旧小宅小学校区		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
(1) 隣近所の顔がわからない	9	6.3%	6	16.2%	8	4.0%	29	13.7%	4	9.1%	14	7.4%	1	2.8%	73	8.4%
(2) 自治会未加入者の増加	12	8.3%	3	8.1%	8	4.0%	21	10.0%	3	6.8%	20	10.6%	0	0.0%	67	7.7%
(3) 自治会行事への参加者の減少	16	11.1%	6	16.2%	20	10.1%	28	13.3%	8	18.2%	28	14.8%	4	11.1%	112	12.9%
(4) 若い世代が自治会行事へ参加しない	16	11.1%	4	10.8%	14	7.0%	20	9.5%	11	25.0%	27	14.3%	4	11.1%	96	11.0%
(5) 高齢者世帯の増加	63	43.8%	23	62.2%	96	48.2%	72	34.1%	25	56.8%	84	44.4%	17	47.2%	382	43.9%
(6) 家の後継者がいない	27	18.8%	11	29.7%	32	16.1%	36	17.1%	10	22.7%	39	20.6%	12	33.3%	170	19.5%
(7) 避難場所が整備されていない	6	4.20%	3	8.10%	14	7.00%	13	6.20%	3	6.80%	11	5.80%	2	5.60%	53	6.10%
(8) 下水道が整備されていない	16	11.1%	12	32.4%	26	13.1%	96	45.5%	12	27.3%	30	15.9%	3	8.3%	201	23.1%
(9) 道路（歩道）が整備されていない	38	26.4%	12	32.4%	67	33.7%	53	25.1%	16	36.4%	40	21.2%	15	41.7%	242	27.8%
(10) 空き家（空き店舗）の増加	7	4.9%	3	8.1%	37	18.6%	5	2.4%	7	15.9%	14	7.4%	3	8.3%	76	8.7%
(11) 耕作放棄地の増加	18	12.5%	7	18.9%	26	13.1%	25	11.8%	9	20.5%	22	11.6%	9	25.0%	116	13.3%
(12) 鳥獣害の増加	27	18.8%	17	45.9%	37	18.6%	16	7.6%	14	31.8%	25	13.2%	6	16.7%	143	16.4%
(13) 医療施設の減少	38	26.4%	11	29.7%	14	7.0%	22	10.4%	4	9.1%	30	15.9%	3	8.3%	123	14.1%
(14) その他	18	12.5%	4	10.8%	12	6.0%	26	12.3%	4	9.1%	26	13.8%	8	22.2%	98	11.3%
無回答	26	18.1%	2	5.4%	34	17.1%	32	15.2%	6	13.6%	26	13.8%	3	8.3%	133	15.3%
合計	144	100.0%	37	100.0%	199	100.0%	211	100.0%	44	100.0%	189	100.0%	36	100.0%	871	100.0%

住んでいる地域での課題や問題点、将来への不安について居住小学校区別にみると、「高齢者世帯の増加」と答えた方の割合が最も高いことは共通していますが、その他の項目では、地区別に違いがみられます。

田野小学校区では、「医療施設の減少」（26.4％）の割合が高くなっています。

旧山本小学校区では、「医療施設の減少」（29.7％）、「鳥獣害の増加」（45.9％）の割合が高くなっています。

益子小学校区では、「空き家（空き店舗）の増加」（18.6％）の割合が高くなっています。

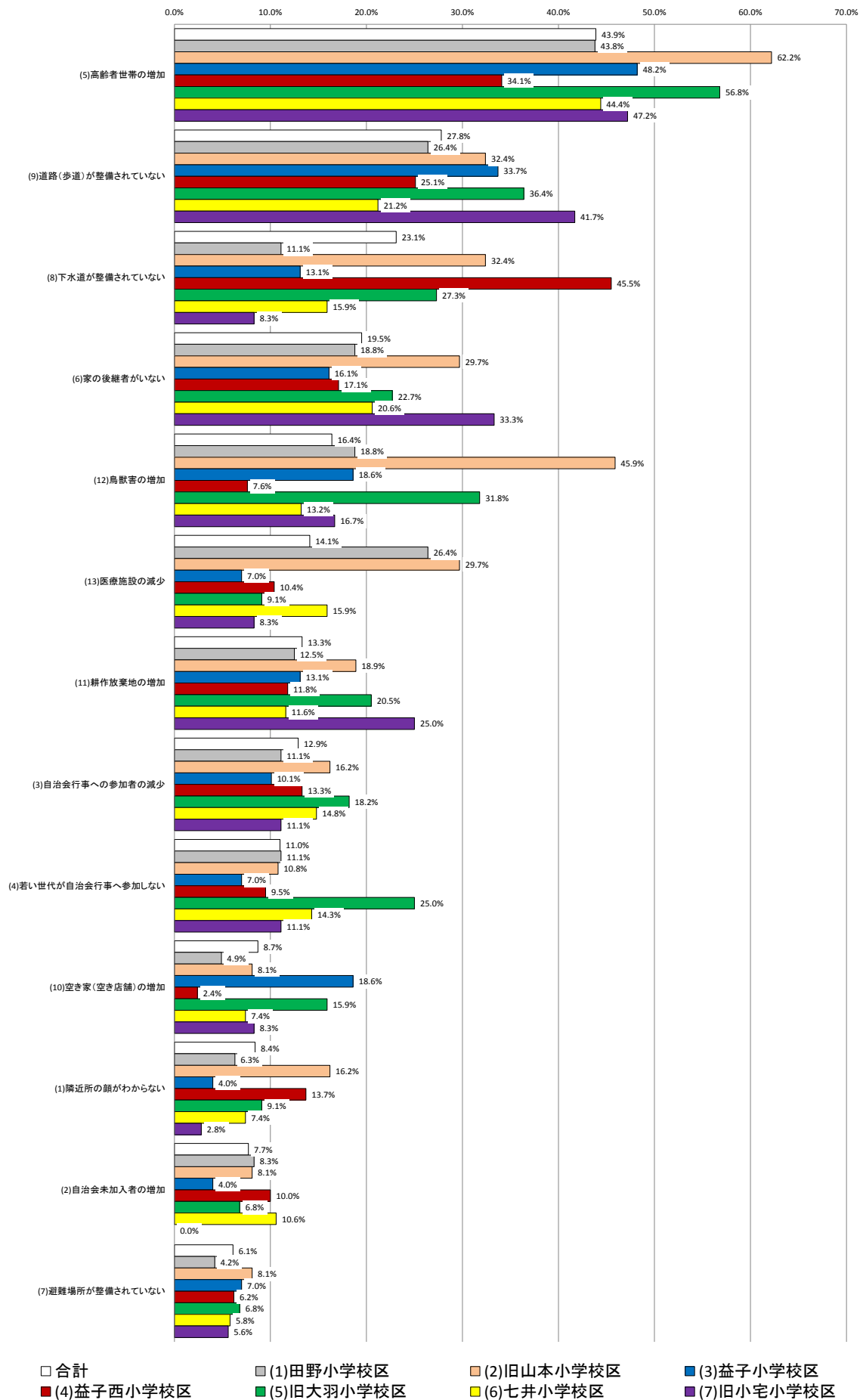
益子西小学校区では、「下水道が整備されていない」（45.5％）の割合が高くなっています。

旧大羽小学校区では、「若い世代が自治会行事へ参加しない」（25.0％）、「鳥獣害の増加」（31.8％）の割合が高くなっています。

七井小学校区では、すべての項目でおおむね町全体の割合と同じとなっています。

旧小宅小学校区では、「道路（歩道）が整備されていない」（41.7％）、「耕作放棄地の増加」（25.0％）の割合が高くなっています。

住んでいる地域での課題や問題点、将来への不安（居住小学校区別：複数回答）



問 10 問9で答えた課題・問題等を地域で解決するアイデアはありますか。【自由記述】
第3章第1節（47ページ）を参照。

問 11 あなたは、自分の住んでいる地域の活動について、どう感じていますか。【それぞれ1つに○】

	(1) と思う		(2) ややと思う		(3) あまり 思わない		(4) 思わない		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
(1) 自分の地域では、 地域活動が活発	123	14.1%	311	35.7%	299	34.3%	86	9.9%	52	6.0%	871	100.0%
(2) 自分の地域では、 困っている人を助ける 仕組みができています	45	5.2%	223	25.6%	367	42.1%	171	19.6%	65	7.5%	871	100.0%
(3) 自分の地域では、 日頃から防犯のため の目配りができている	38	4.4%	207	23.8%	420	48.2%	144	16.5%	62	7.1%	871	100.0%
(4) 自分の地域では、 災害が起きてもみんな で助け合えると思う	150	17.2%	387	44.4%	213	24.5%	69	7.9%	52	6.0%	871	100.0%
(5) 自分の地域は、 環境美化活動に熱心で ある	122	14.0%	366	42.0%	260	29.9%	70	8.0%	53	6.1%	871	100.0%
(6) 自分の地域は、 伝統文化を継承できて いると思う	139	16.0%	309	35.5%	255	29.3%	113	13.0%	55	6.3%	871	100.0%

地域活動が活発かどうかについては、「と思う」と「ややと思う」を合わせると 49.8%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせると 44.2%となっています。

困っている人を助ける仕組みができていますかどうかについては、「と思う」と「ややと思う」を合わせると 30.8%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせると 61.7%となっています。

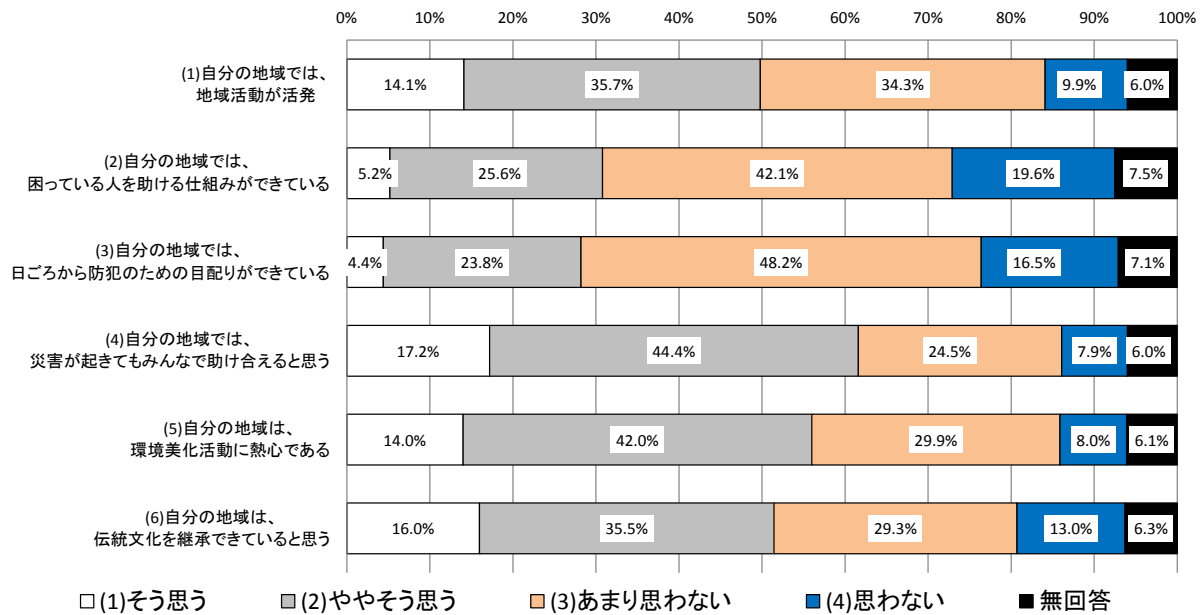
日頃から防犯のための目配りができているかどうかについては、「と思う」と「ややと思う」を合わせると 28.2%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせると 64.7%となっています。

災害が起きてもみんなで助け合えるかどうかについては、「と思う」と「ややと思う」を合わせると 61.6%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせると 32.4%となっています。

環境美化活動に熱心な地域であるかどうかについては、「と思う」と「やや思う」を合わせると 56.0%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせると 37.9%となっています。

伝統文化を継承できている地域であるかどうかについては、「と思う」と「やや思う」を合わせると 51.5%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせると 42.3%となっています。

住んでいる地域の活動についてどう感じるか



住んでいる地域の活動についてどう感じるか（居住小学校区別）

		居住小学校区														合計	
		(1) 田野小学校区		(2) 旧山本小学校区		(3) 益子小学校区		(4) 益子西小学校区		(5) 旧大羽小学校区		(6) 七井小学校区		(7) 旧小宅小学校区		人数	割合
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
1 自分の地域では、地域活動が活発	(1) そう思う	22	15.3%	6	16.2%	36	18.1%	15	7.1%	6	13.6%	28	14.8%	7	19.4%	123	14.1%
	(2) ややそう思う	57	39.6%	16	43.2%	69	34.7%	76	36.0%	16	36.4%	67	35.4%	10	27.8%	311	35.7%
	(3) あまり思わない	46	31.9%	11	29.7%	70	35.2%	77	36.5%	17	38.6%	61	32.3%	13	36.1%	299	34.3%
	(4) 思わない	11	7.6%	4	10.8%	15	7.5%	27	12.8%	1	2.3%	21	11.1%	5	13.9%	86	9.9%
	無回答	8	5.6%	0	0.0%	9	4.5%	16	7.6%	4	9.1%	12	6.3%	1	2.8%	52	6.0%
	合計	144	100.0%	37	100.0%	199	100.0%	211	100.0%	44	100.0%	189	100.0%	36	100.0%	871	100.0%
2 自分の地域では、困っている人を助ける仕組みができている	(1) そう思う	8	5.6%	2	5.4%	11	5.5%	7	3.3%	2	4.5%	13	6.9%	2	5.6%	45	5.2%
	(2) ややそう思う	39	27.1%	12	32.4%	61	30.7%	40	19.0%	12	27.3%	43	22.8%	14	38.9%	223	25.6%
	(3) あまり思わない	63	43.8%	17	45.9%	90	45.2%	94	44.5%	14	31.8%	77	40.7%	10	27.8%	367	42.1%
	(4) 思わない	23	16.0%	6	16.2%	27	13.6%	52	24.6%	12	27.3%	37	19.6%	9	25.0%	171	19.6%
	無回答	11	7.6%	0	0.0%	10	5.0%	18	8.5%	4	9.1%	19	10.1%	1	2.8%	65	7.5%
	合計	144	100.0%	37	100.0%	199	100.0%	211	100.0%	44	100.0%	189	100.0%	36	100.0%	871	100.0%
3 自分の地域では、日ごろから防犯のための目配りができている	(1) そう思う	7	4.9%	1	2.7%	13	6.5%	4	1.9%	2	4.5%	8	4.2%	3	8.3%	38	4.4%
	(2) ややそう思う	35	24.3%	11	29.7%	56	28.1%	39	18.5%	6	13.6%	48	25.4%	9	25.0%	207	23.8%
	(3) あまり思わない	69	47.9%	16	43.2%	97	48.7%	113	53.6%	18	40.9%	92	48.7%	12	33.3%	420	48.2%
	(4) 思わない	23	16.0%	8	21.6%	23	11.6%	37	17.5%	14	31.8%	25	13.2%	11	30.6%	144	16.5%
	無回答	10	6.9%	1	2.7%	10	5.0%	18	8.5%	4	9.1%	16	8.5%	1	2.8%	62	7.1%
	合計	144	100.0%	37	100.0%	199	100.0%	211	100.0%	44	100.0%	189	100.0%	36	100.0%	871	100.0%
4 自分の地域では、災害が起きてもみんなで助け合えると思う	(1) そう思う	18	12.5%	4	10.8%	39	19.6%	29	13.7%	10	22.7%	36	19.0%	11	30.6%	150	17.2%
	(2) ややそう思う	69	47.9%	23	62.2%	94	47.2%	84	39.8%	16	36.4%	86	45.5%	12	33.3%	387	44.4%
	(3) あまり思わない	37	25.7%	6	16.2%	47	23.6%	59	28.0%	11	25.0%	42	22.2%	9	25.0%	213	24.5%
	(4) 思わない	10	6.9%	4	10.8%	12	6.0%	23	10.9%	3	6.8%	13	6.9%	2	5.6%	69	7.9%
	無回答	10	6.9%	0	0.0%	7	3.5%	16	7.6%	4	9.1%	12	6.3%	2	5.6%	52	6.0%
	合計	144	100.0%	37	100.0%	199	100.0%	211	100.0%	44	100.0%	189	100.0%	36	100.0%	871	100.0%
5 自分の地域は、環境美化活動に熱心である	(1) そう思う	24	16.7%	6	16.2%	35	17.6%	18	8.5%	6	13.6%	29	15.3%	3	8.3%	122	14.0%
	(2) ややそう思う	60	41.7%	19	51.4%	92	46.2%	84	39.8%	21	47.7%	76	40.2%	12	33.3%	366	42.0%
	(3) あまり思わない	44	30.6%	6	16.2%	51	25.6%	73	34.6%	10	22.7%	60	31.7%	13	36.1%	260	29.9%
	(4) 思わない	7	4.9%	6	16.2%	13	6.5%	20	9.5%	3	6.8%	11	5.8%	7	19.4%	70	8.0%
	無回答	9	6.3%	0	0.0%	8	4.0%	16	7.6%	4	9.1%	13	6.9%	1	2.8%	53	6.1%
	合計	144	100.0%	37	100.0%	199	100.0%	211	100.0%	44	100.0%	189	100.0%	36	100.0%	871	100.0%
6 自分の地域は、伝統文化を継承できていると思う	(1) そう思う	24	16.7%	11	29.7%	43	21.6%	20	9.5%	10	22.7%	20	10.6%	10	27.8%	139	16.0%
	(2) ややそう思う	63	43.8%	18	48.6%	86	43.2%	53	25.1%	18	40.9%	58	30.7%	11	30.6%	309	35.3%
	(3) あまり思わない	39	27.1%	5	13.5%	42	21.1%	83	39.3%	10	22.7%	66	34.9%	6	16.7%	255	29.3%
	(4) 思わない	9	6.3%	3	8.1%	20	10.1%	40	19.0%	2	4.5%	29	15.3%	8	22.2%	113	13.0%
	無回答	9	6.3%	0	0.0%	8	4.0%	15	7.1%	4	9.1%	16	8.5%	1	2.8%	55	6.3%
	合計	144	100.0%	37	100.0%	199	100.0%	211	100.0%	44	100.0%	189	100.0%	36	100.0%	871	100.0%

※網掛け部分は、「そう思う」と「ややそう思う」の合計と「あまり思わない」と「思わない」の合計との比較で多い方を示す。

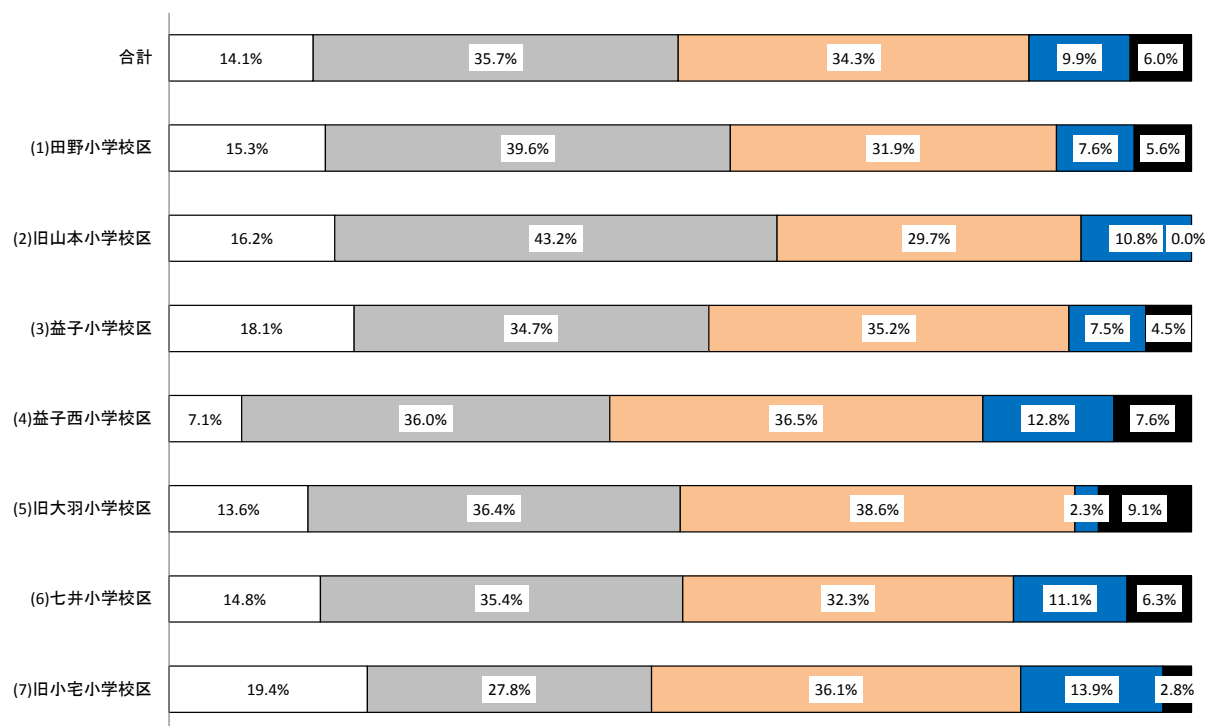
地域活動についてどう感じているかについて居住小学校区別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」の合計と「あまり思わない」と「思わない」の合計を比較したところ、地区別に差が出ている項目として、「自分の地域では、地域活動が活発」では、益子西小学校区と旧小宅小学校区が、「あまり思わない」と「思わない」の合計の方が高くなっています。

「自分の地域は、環境美化活動等に熱心である」では、旧小宅小学校区で「あまり思わない」と「思わない」の合計の方が高くなっています。

「自分の地域は、伝統文化を継承できていると思う」では、益子西小学校区と七井小学校区で「あまり思わない」と「思わない」の合計の方が高くなっています。

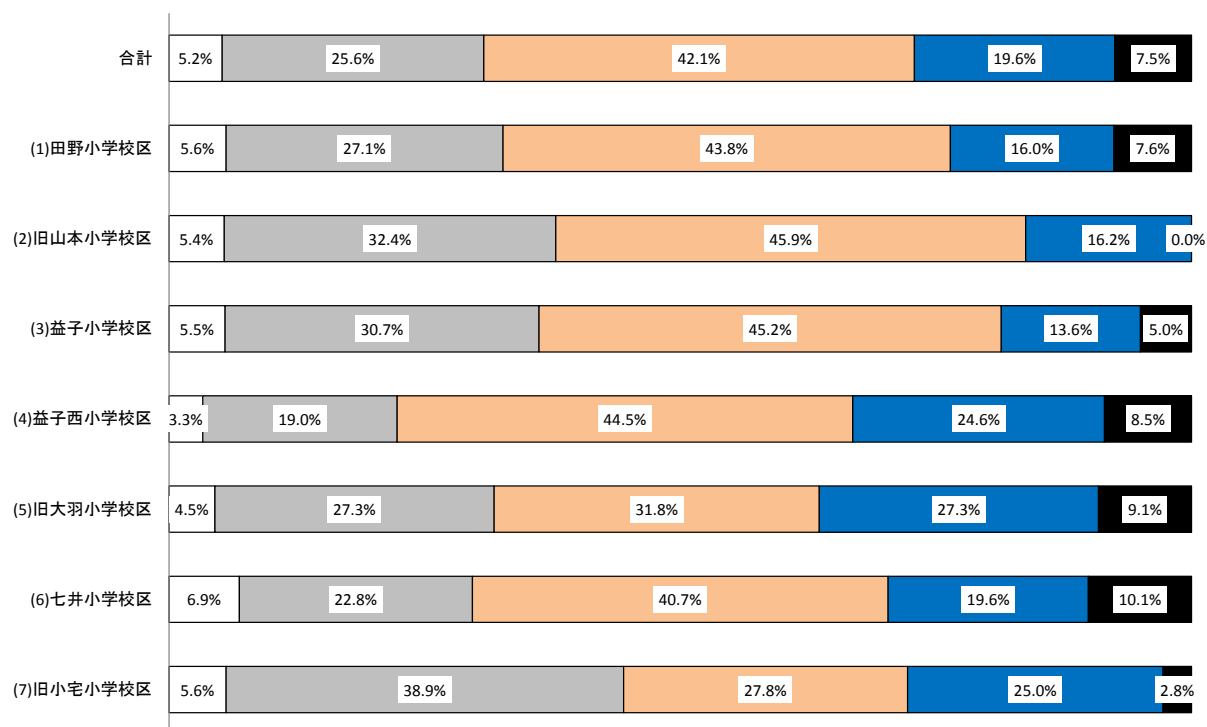
住んでいる地域の活動についてどう感じるか（居住小学校区別）

1 自分の地域では、地域活動が活発



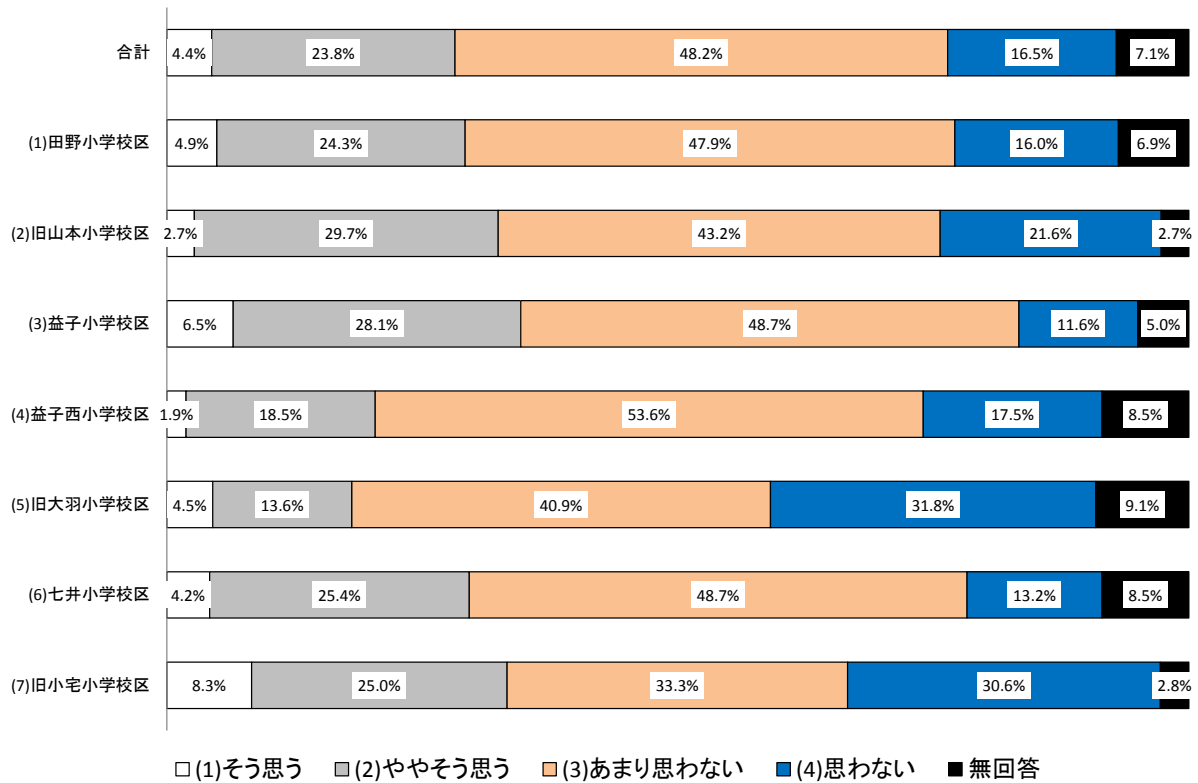
□ (1) そう思う □ (2) ややそう思う □ (3) あまり思わない ■ (4) 思わない ■ 無回答

2 自分の地域では、困っている人を助ける仕組みができている

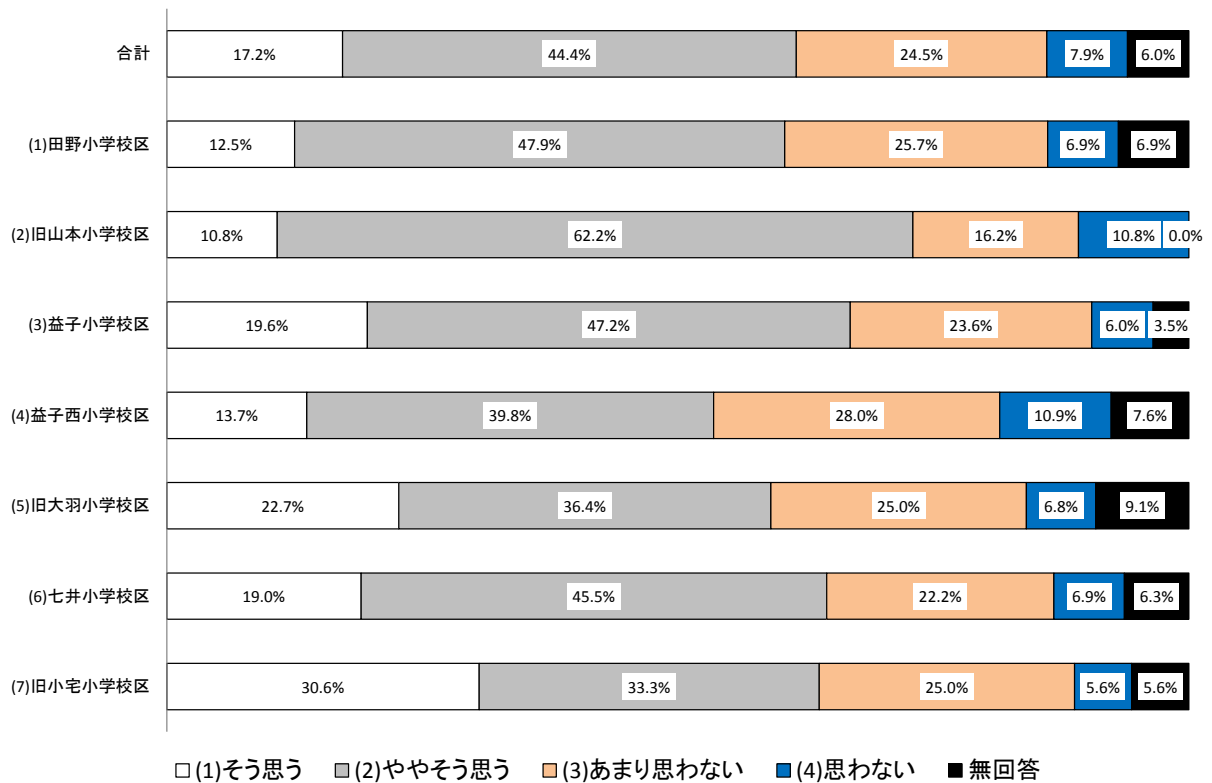


□ (1) そう思う □ (2) ややそう思う □ (3) あまり思わない ■ (4) 思わない ■ 無回答

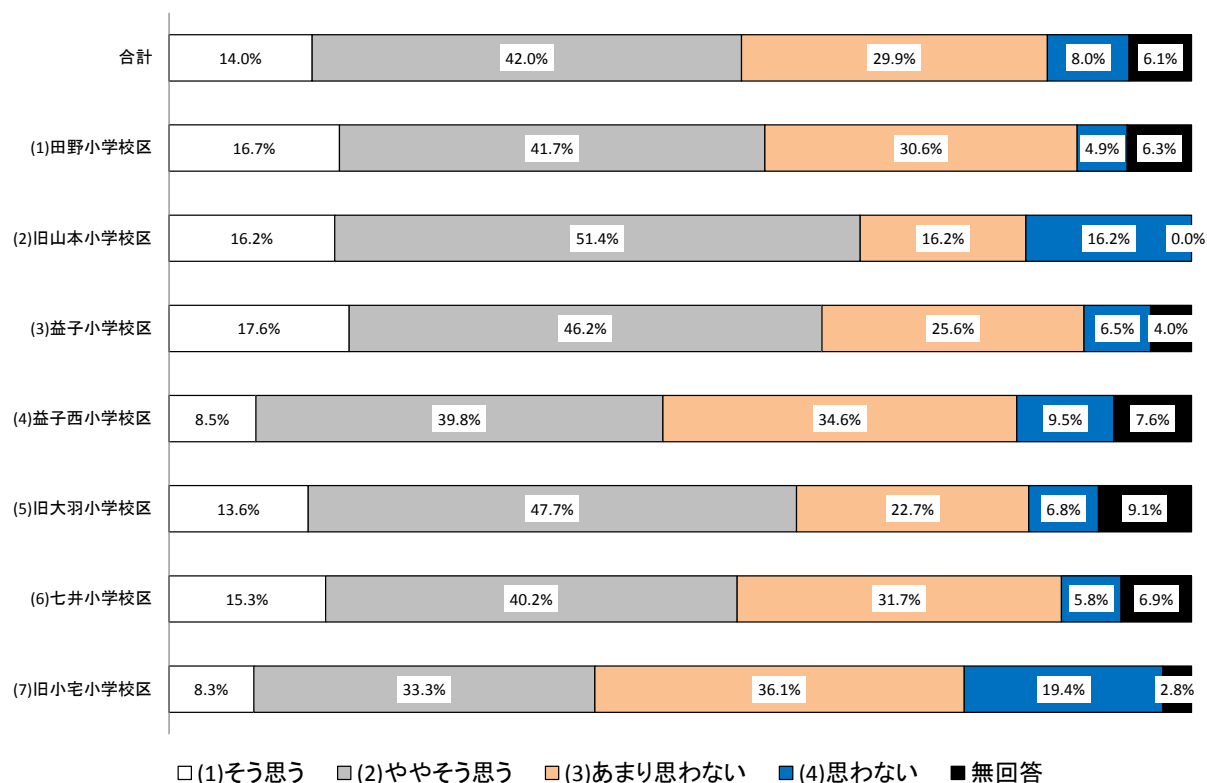
3 自分の地域では、日ごろから防犯のための目配りができている



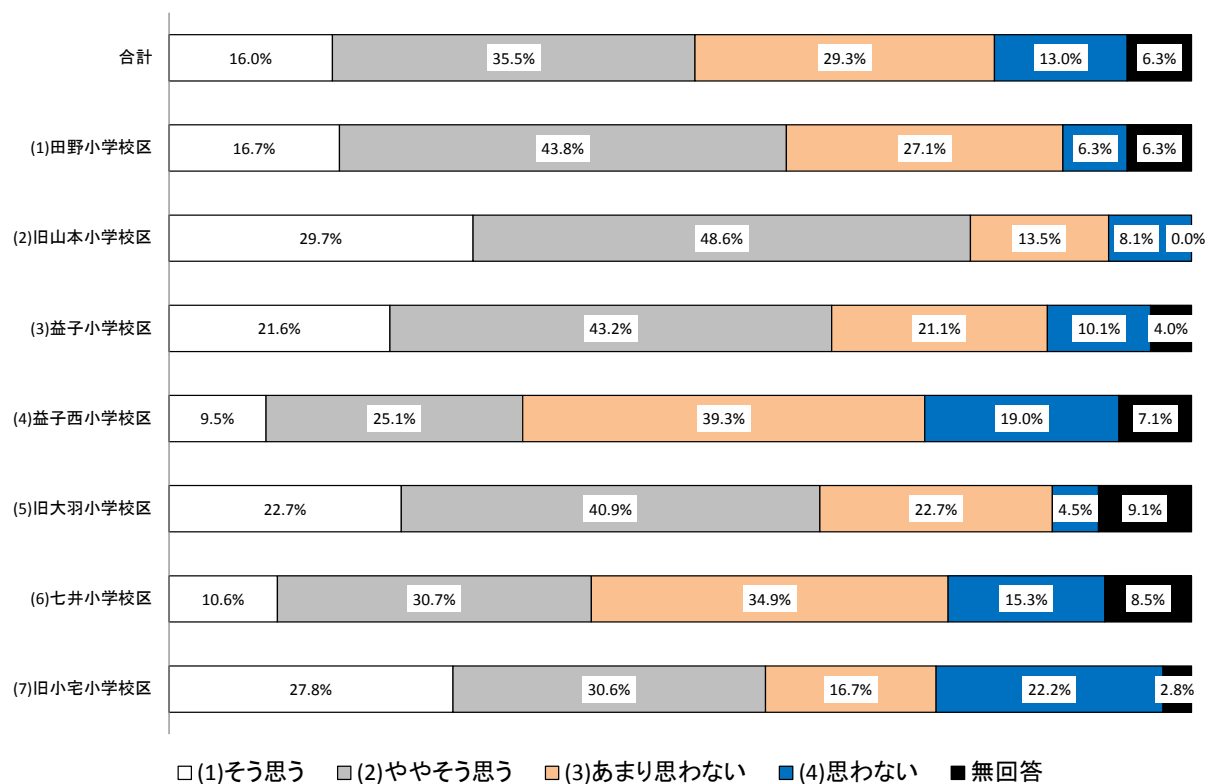
4 自分の地域では、災害が起きてもみんなで助け合えると思う



5 自分の地域は、環境美化活動に熱心である



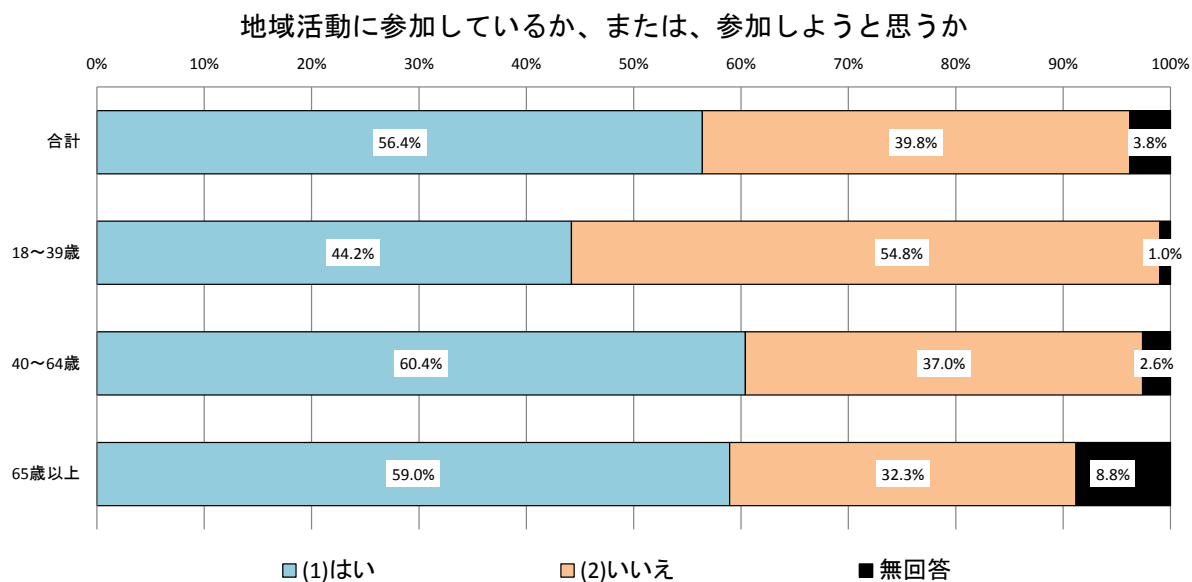
6 自分の地域は、伝統文化を継承できていると思う



問 12 あなたは、地域活動に参加していますか。または、参加しようと思いますか。【○は1つだけ】

	年齢（再区分）						合計	
	18～39歳		40～64歳		65歳以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
(1)はい	87	44.2%	274	60.4%	128	59.0%	491	56.4%
(2)いいえ	108	54.8%	168	37.0%	70	32.3%	347	39.8%
無回答	2	1.0%	12	2.6%	19	8.8%	33	3.8%
合計	197	100.0%	454	100.0%	217	100.0%	871	100.0%

地域活動に参加しているかどうか、または参加しようと思うかどうかについては、全体では「はい」と答えた方が56.4%、「いいえ」と答えた方が39.8%となっています。
年齢区分でみると、40歳以上では約6割が参加の意思があるのに対し、39歳以下では、「はい」と答えた方よりも「いいえ」と答えた方が上回っています。

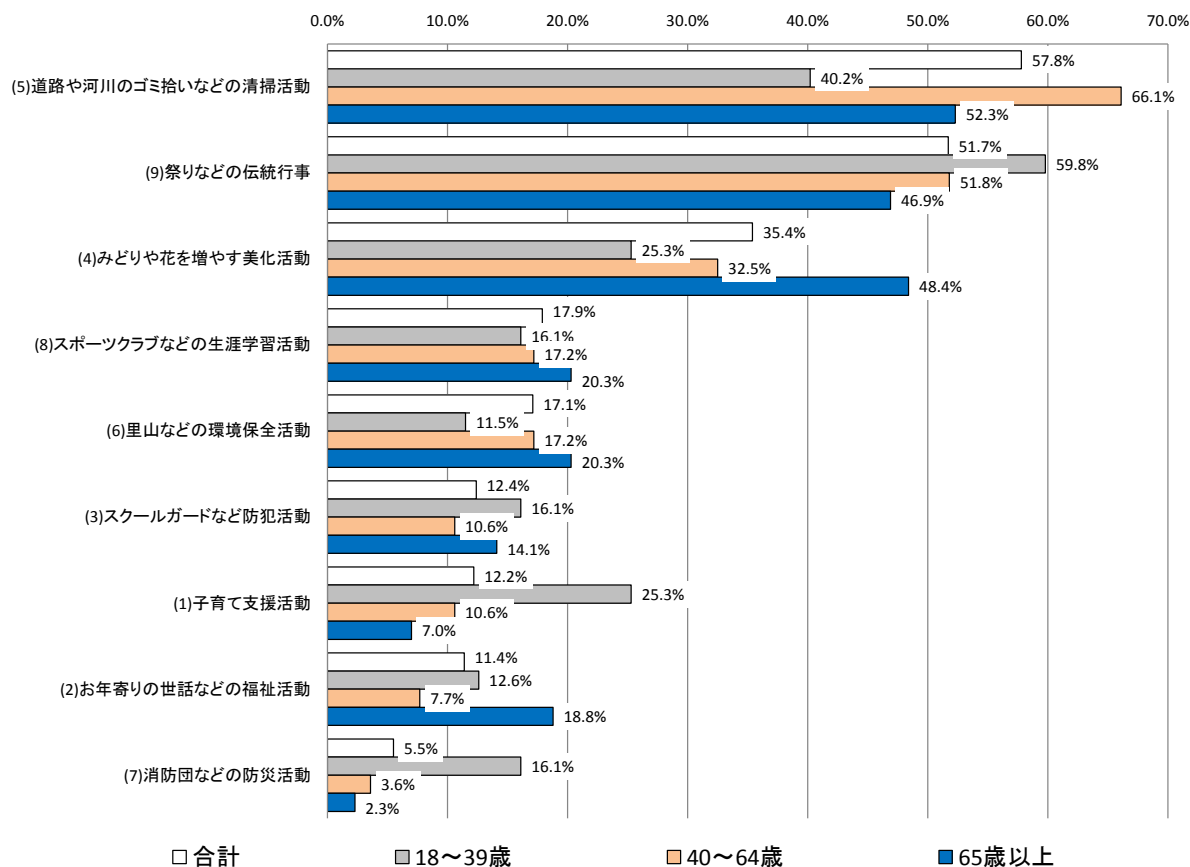


問 12-1 あなたが参加している、または参加しようと思う地域活動を、次の中から選んでください。【〇はいくつでも】（問 12 で「1 はい」と答えた方のみ回答）

	年齢（再区分）						合計	
	18～39歳		40～64歳		65歳以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
(1) 子育て支援活動	22	25.3%	29	10.6%	9	7.0%	60	12.2%
(2) お年寄りの世話などの福祉活動	11	12.6%	21	7.7%	24	18.8%	56	11.4%
(3) スクールガードなど防犯活動	14	16.1%	29	10.6%	18	14.1%	61	12.4%
(4) みどりや花を増やす美化活動	22	25.3%	89	32.5%	62	48.4%	174	35.4%
(5) 道路や河川のゴミ拾いなどの清掃活動	35	40.2%	181	66.1%	67	52.3%	284	57.8%
(6) 里山などの環境保全活動	10	11.5%	47	17.2%	26	20.3%	84	17.1%
(7) 消防団などの防災活動	14	16.1%	10	3.6%	3	2.3%	27	5.5%
(8) スポーツクラブなどの生涯学習活動	14	16.1%	47	17.2%	26	20.3%	88	17.9%
(9) 祭りなどの伝統行事	52	59.8%	142	51.8%	60	46.9%	254	51.7%
(10) その他	0	0.0%	12	4.4%	7	5.5%	19	3.9%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	1.6%	2	0.4%
合計	87	100.0%	274	100.0%	128	100.0%	491	100.0%

参加している、または参加しようと思う地域活動については、「道路や河川のゴミ拾いなどの清掃活動」（57.8%）が最も多く、次いで「祭りなどの伝統行事」（51.7%）、「緑や花を増やす美化活動」（35.4%）などとなっています。

参加している、または、参加しようと思う地域活動（複数回答）

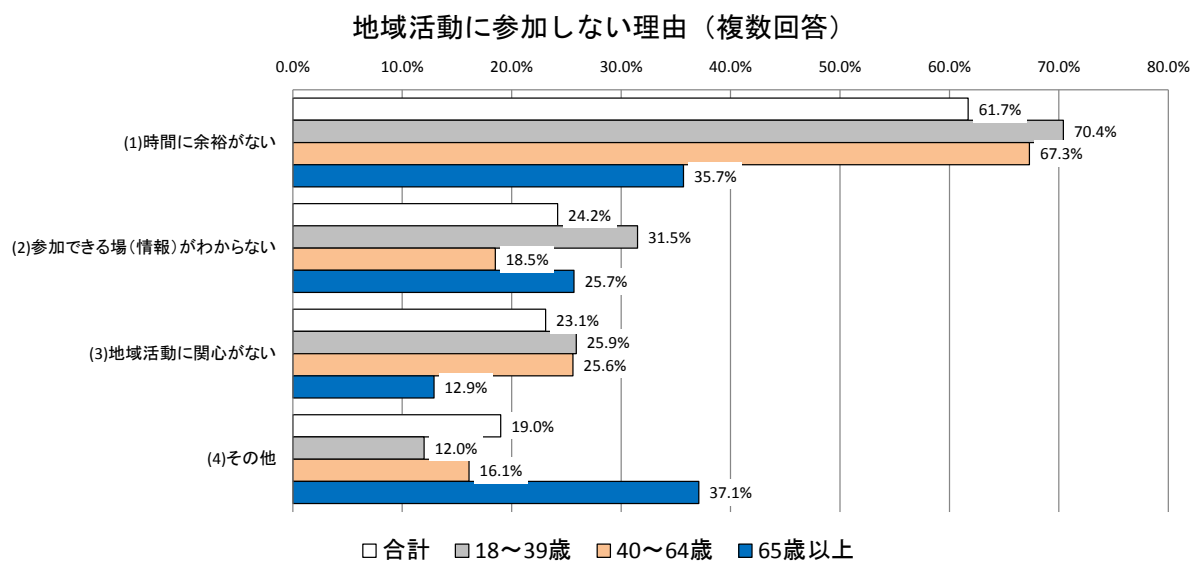


問 12-2 あなたが地域活動に参加しない理由を、次の中から選んでください。【〇はいくつでも】
(問 12 で「2 いいえ」と答えた方のみ回答)

	年齢（再区分）						合計	
	18～39歳		40～64歳		65歳以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
(1)時間に余裕がない	76	70.4%	113	67.3%	25	35.7%	214	61.7%
(2)参加できる場（情報）がわからない	34	31.5%	31	18.5%	18	25.7%	84	24.2%
(3)地域活動に関心がない	28	25.9%	43	25.6%	9	12.9%	80	23.1%
(4)その他	13	12.0%	27	16.1%	26	37.1%	66	19.0%
無回答	0	0.0%	3	1.8%	2	2.9%	5	1.4%
合計	108	100.0%	168	100.0%	70	100.0%	347	100.0%

地域活動に参加していない、または参加しようと思わない方の、参加しない理由については、「時間に余裕がない」（61.7%）が最も多くなっています。

年齢区分でみると、18～39歳では「参加できる場（情報）がわからない」（31.5%）の割合が全体よりも高くなっています。また、65歳以上では「その他」（37.1%）が最も多くなり、健康上の理由などが挙げられています。



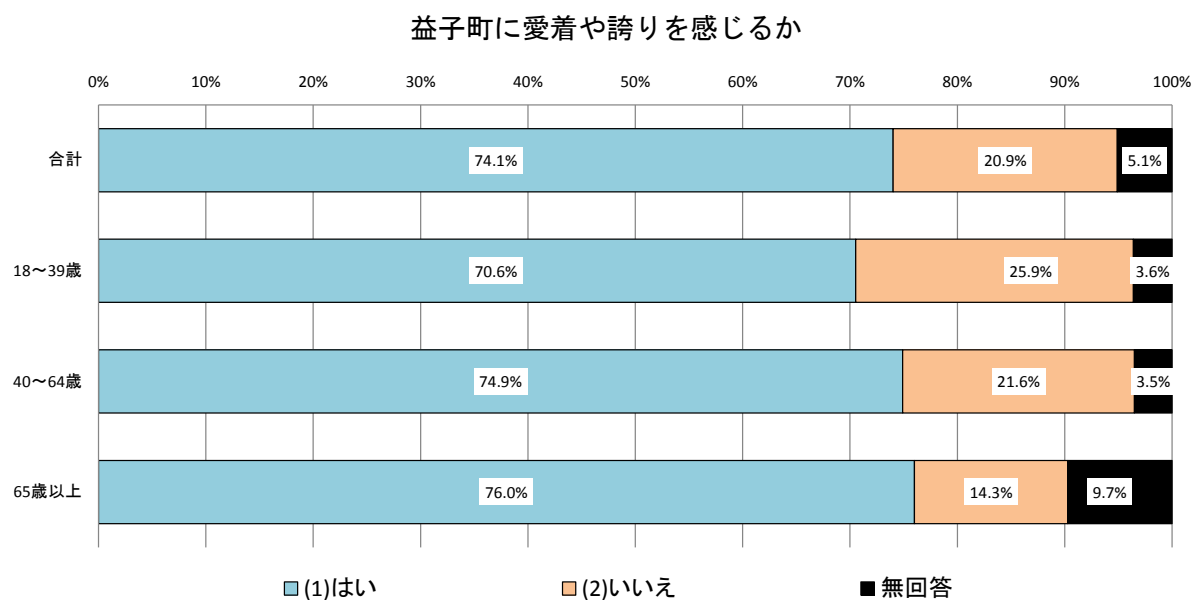
第3節 益子町への愛着・誇りについて

問 13 あなたは、益子町に愛着や誇りを感じますか。【○は1つだけ】

	年齢（再区分）						合計	
	18～39歳		40～64歳		65歳以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
(1) はい	139	70.6%	340	74.9%	165	76.0%	645	74.1%
(2) いいえ	51	25.9%	98	21.6%	31	14.3%	182	20.9%
無回答	7	3.6%	16	3.5%	21	9.7%	44	5.1%
合計	197	100.0%	454	100.0%	217	100.0%	871	100.0%

益子町に愛着や誇りを感じるかどうかについては、4人のうち3人が「はい」と答えています。

年齢区分でみると、年齢が上がるほど「はい」と答えた方の割合が高く、逆に年齢が下がるほど「いいえ」と答えた方の割合が高くなっています。



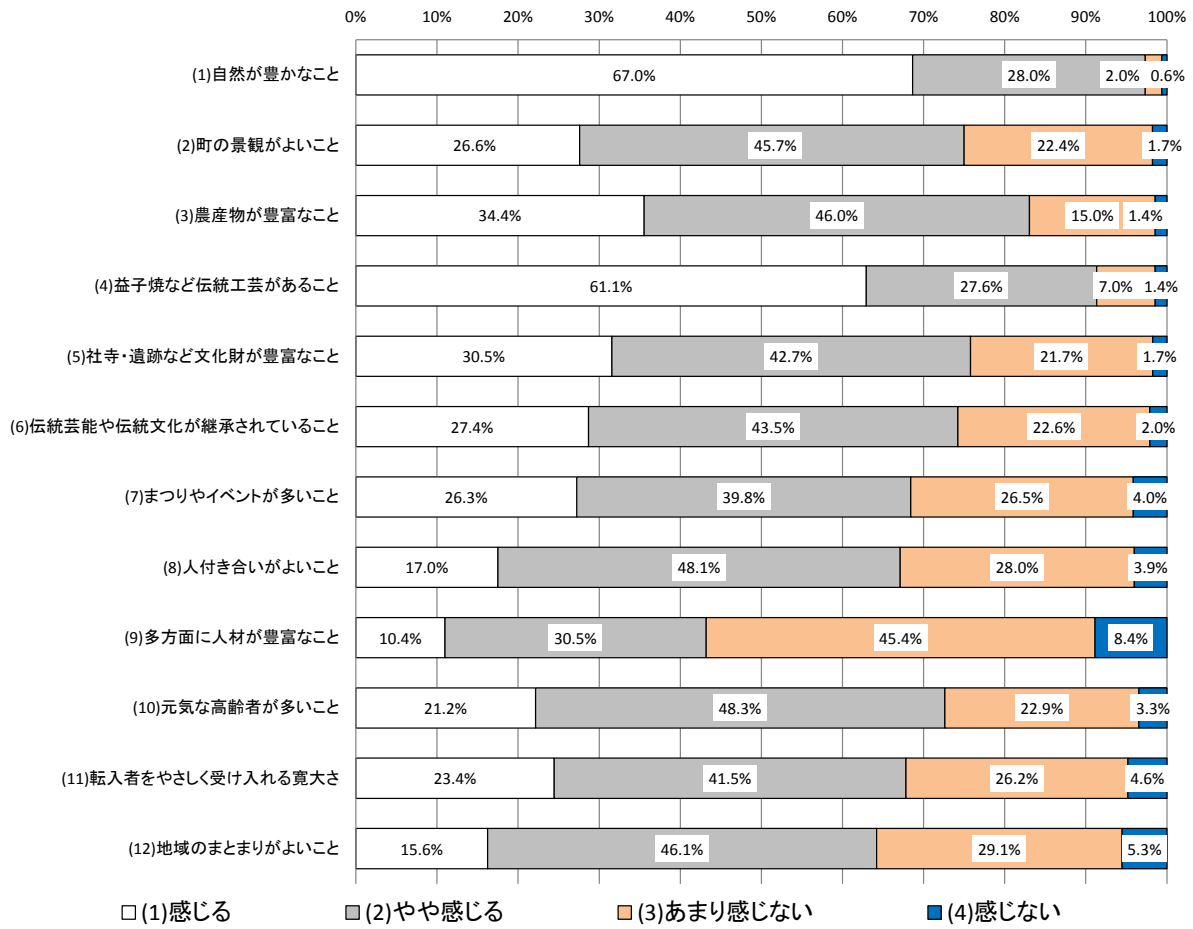
問 13-1 あなたは、益子町のどのようなことに愛着や誇りを感じていますか。【それぞれ1つに○】（問 13 で「1 はい」と答えた方のみ回答）

	(1) そう思う		(2) ややそう思う		(3) あまり思わない		(4) 思わない		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
(1) 自然が豊かなこと	433	67.0%	181	28.0%	13	2.0%	4	0.6%	15	2.3%	646	100.0%
(2) 町の景観がよいこと	172	26.6%	295	45.7%	145	22.4%	11	1.7%	23	3.6%	646	100.0%
(3) 農産物が豊かなこと	222	34.4%	297	46.0%	97	15.0%	9	1.4%	21	3.3%	646	100.0%
(4) 益子焼など伝統工芸があること	395	61.1%	178	27.6%	45	7.0%	9	1.4%	19	2.9%	646	100.0%
(5) 社寺・遺跡など文化財が豊かなこと	197	30.5%	276	42.7%	140	21.7%	11	1.7%	22	3.4%	646	100.0%
(6) 伝統芸能や伝統文化が継承されている	177	27.4%	281	43.5%	146	22.6%	13	2.0%	29	4.5%	646	100.0%
(7) まつりやイベントが多いこと	170	26.3%	257	39.8%	171	26.5%	26	4.0%	22	3.4%	646	100.0%
(8) 人付き合いがよいこと	110	17.0%	311	48.1%	181	28.0%	25	3.9%	19	2.9%	646	100.0%
(9) 多方面に人材が豊かなこと	67	10.4%	197	30.5%	293	45.4%	54	8.4%	35	5.4%	646	100.0%
(10) 元気な高齢者が多いこと	137	21.2%	312	48.3%	148	22.9%	21	3.3%	28	4.3%	646	100.0%
(11) 転入者をやさしく受け入れる寛大さ	151	23.4%	268	41.5%	169	26.2%	30	4.6%	28	4.3%	646	100.0%
(12) 地域のまとまりがよいこと	101	15.6%	298	46.1%	188	29.1%	34	5.3%	25	3.9%	646	100.0%

愛着や誇りを「感じる」と答えた方の割合が高いのは、「自然が豊かなこと」(67.0%) が最も多く、次いで「益子焼など伝統工芸があること」(61.1%)、「農産物が豊かなこと」(34.4%) となっています。

愛着や誇りを「あまり感じない」、「感じない」と答えた方を合わせた割合が高いのは、「多方面に人材が豊かなこと」(53.8%) となっています。

益子町のどのようなことに愛着や誇りを感じるか



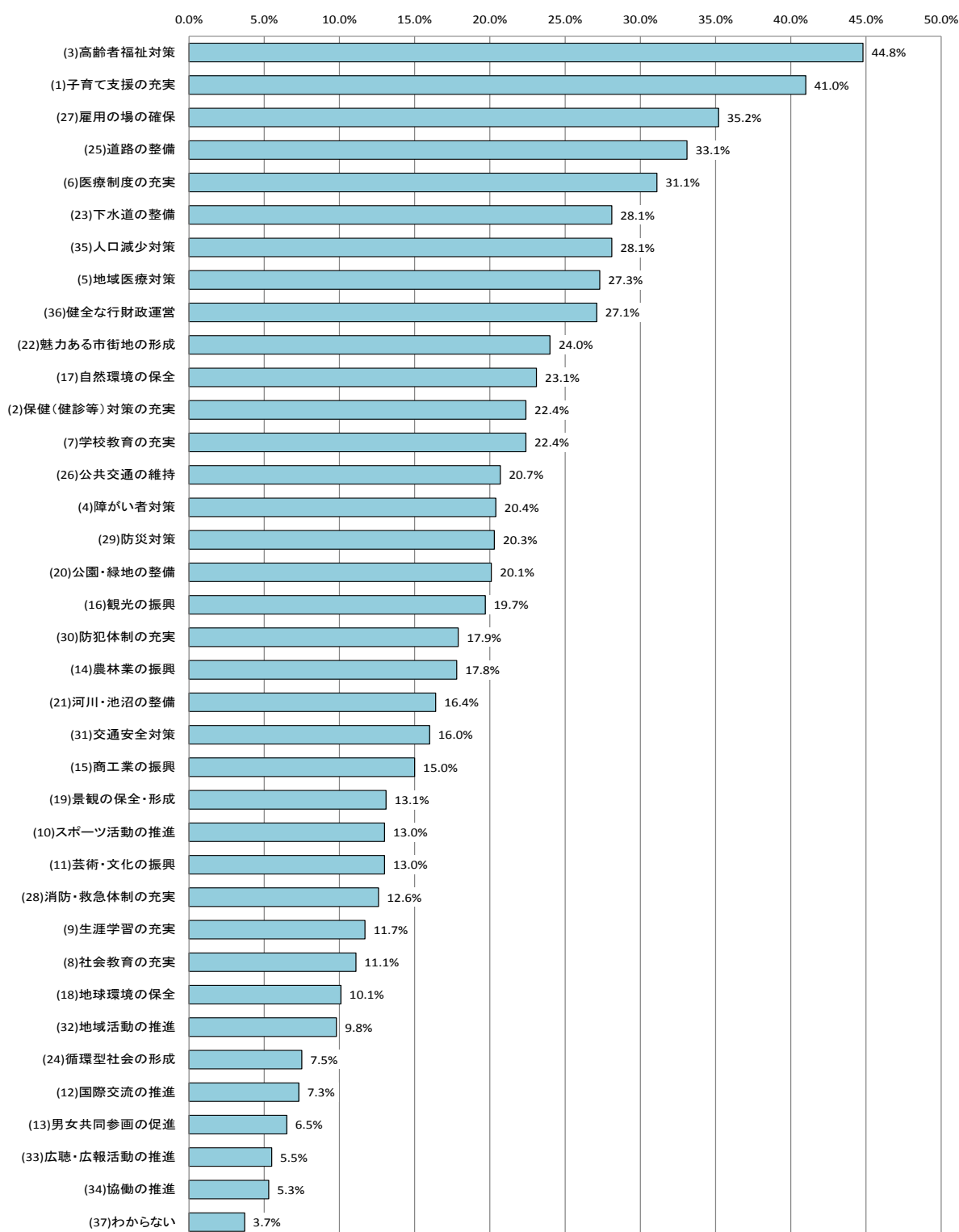
第4節 未来の益子町について

問 14 あなたは、これからの益子町には、どのようなことが必要だと思いますか。【〇はいくつでも】

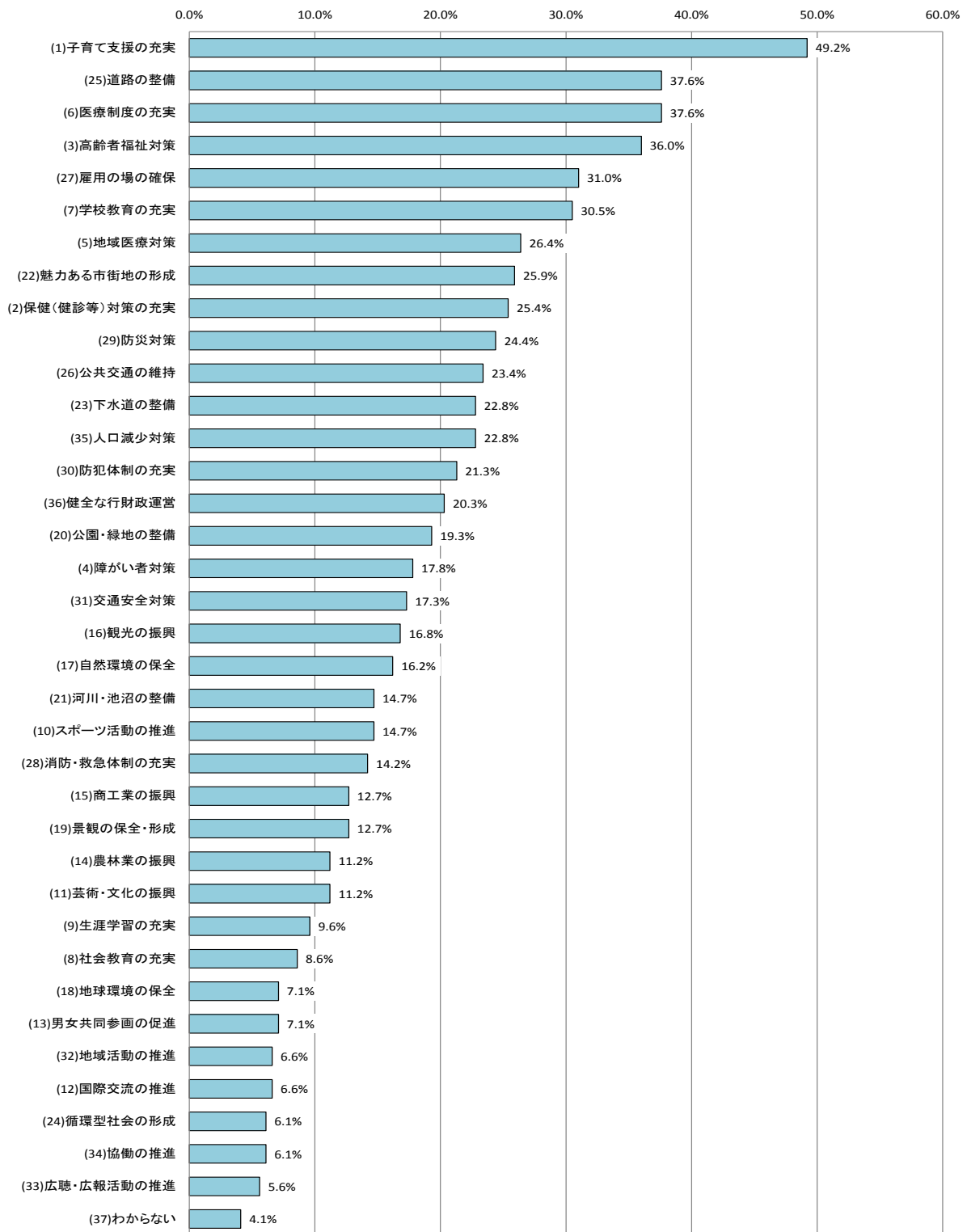
	年齢（再区分）						合計	
	18～39歳		40～64歳		65歳以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
(1)子育て支援の充実	97	49.2%	182	40.1%	77	35.5%	357	41.0%
(2)保健（健診等）対策の充実	50	25.4%	104	22.9%	40	18.4%	195	22.4%
(3)高齢者福祉対策	71	36.0%	209	46.0%	110	50.7%	390	44.8%
(4)障がい者対策	35	17.8%	94	20.7%	49	22.6%	178	20.4%
(5)地域医療対策	52	26.4%	132	29.1%	53	24.4%	238	27.3%
(6)医療制度の充実	74	37.6%	141	31.1%	54	24.9%	271	31.1%
(7)学校教育の充実	60	30.5%	99	21.8%	36	16.6%	195	22.4%
(8)社会教育の充実	17	8.6%	54	11.9%	26	12.0%	97	11.1%
(9)生涯学習の充実	19	9.6%	55	12.1%	28	12.9%	102	11.7%
(10)スポーツ活動の推進	29	14.7%	60	13.2%	24	11.1%	113	13.0%
(11)芸術・文化の振興	22	11.2%	60	13.2%	31	14.3%	113	13.0%
(12)国際交流の推進	13	6.6%	35	7.7%	16	7.4%	64	7.3%
(13)男女共同参画の促進	14	7.1%	26	5.7%	17	7.8%	57	6.5%
(14)農林業の振興	22	11.2%	87	19.2%	46	21.2%	155	17.8%
(15)商工業の振興	25	12.7%	73	16.1%	33	15.2%	131	15.0%
(16)観光の振興	33	16.8%	94	20.7%	45	20.7%	172	19.7%
(17)自然環境の保全	32	16.2%	106	23.3%	63	29.0%	201	23.1%
(18)地球環境の保全	14	7.1%	47	10.4%	26	12.0%	88	10.1%
(19)景観の保全・形成	25	12.7%	59	13.0%	30	13.8%	114	13.1%
(20)公園・緑地の整備	38	19.3%	96	21.1%	41	18.9%	175	20.1%
(21)河川・池沼の整備	29	14.7%	68	15.0%	46	21.2%	143	16.4%
(22)魅力ある市街地の形成	51	25.9%	100	22.0%	58	26.7%	209	24.0%
(23)下水道の整備	45	22.8%	133	29.3%	65	30.0%	245	28.1%
(24)循環型社会の形成	12	6.1%	37	8.1%	16	7.4%	65	7.5%
(25)道路の整備	74	37.6%	144	31.7%	69	31.8%	288	33.1%
(26)公共交通の維持	46	23.4%	93	20.5%	41	18.9%	180	20.7%
(27)雇用の場の確保	61	31.0%	180	39.6%	64	29.5%	307	35.2%
(28)消防・救急体制の充実	28	14.2%	47	10.4%	35	16.1%	110	12.6%
(29)防災対策	48	24.4%	91	20.0%	38	17.5%	177	20.3%
(30)防犯体制の充実	42	21.3%	83	18.3%	31	14.3%	156	17.9%
(31)交通安全対策	34	17.3%	72	15.9%	33	15.2%	139	16.0%
(32)地域活動の推進	13	6.6%	50	11.0%	22	10.1%	85	9.8%
(33)広聴・広報活動の推進	11	5.6%	24	5.3%	13	6.0%	48	5.5%
(34)協働の推進	12	6.1%	19	4.2%	15	6.9%	46	5.3%
(35)人口減少対策	45	22.8%	130	28.6%	70	32.3%	245	28.1%
(36)健全な行財政運営	40	20.3%	127	28.0%	67	30.9%	236	27.1%
(37)わからない	8	4.1%	14	3.1%	10	4.6%	32	3.7%
(38)その他	7	3.6%	26	5.7%	9	4.1%	42	4.8%
無回答	19	9.6%	37	8.1%	21	9.7%	77	8.8%
合計	197	100.0%	454	100.0%	217	100.0%	871	100.0%

これからの益子町に必要なだと思うことについては、全体では「高齢者福祉対策」(44.8%)と「子育て支援の充実」(41.0%)が4割を超えて最も回答者の割合が高くなっています。続いて30%台には「雇用の場の確保」(35.2%)、「道路の整備」(33.1%)、「医療制度の充実」(31.1%)が並んでいます。

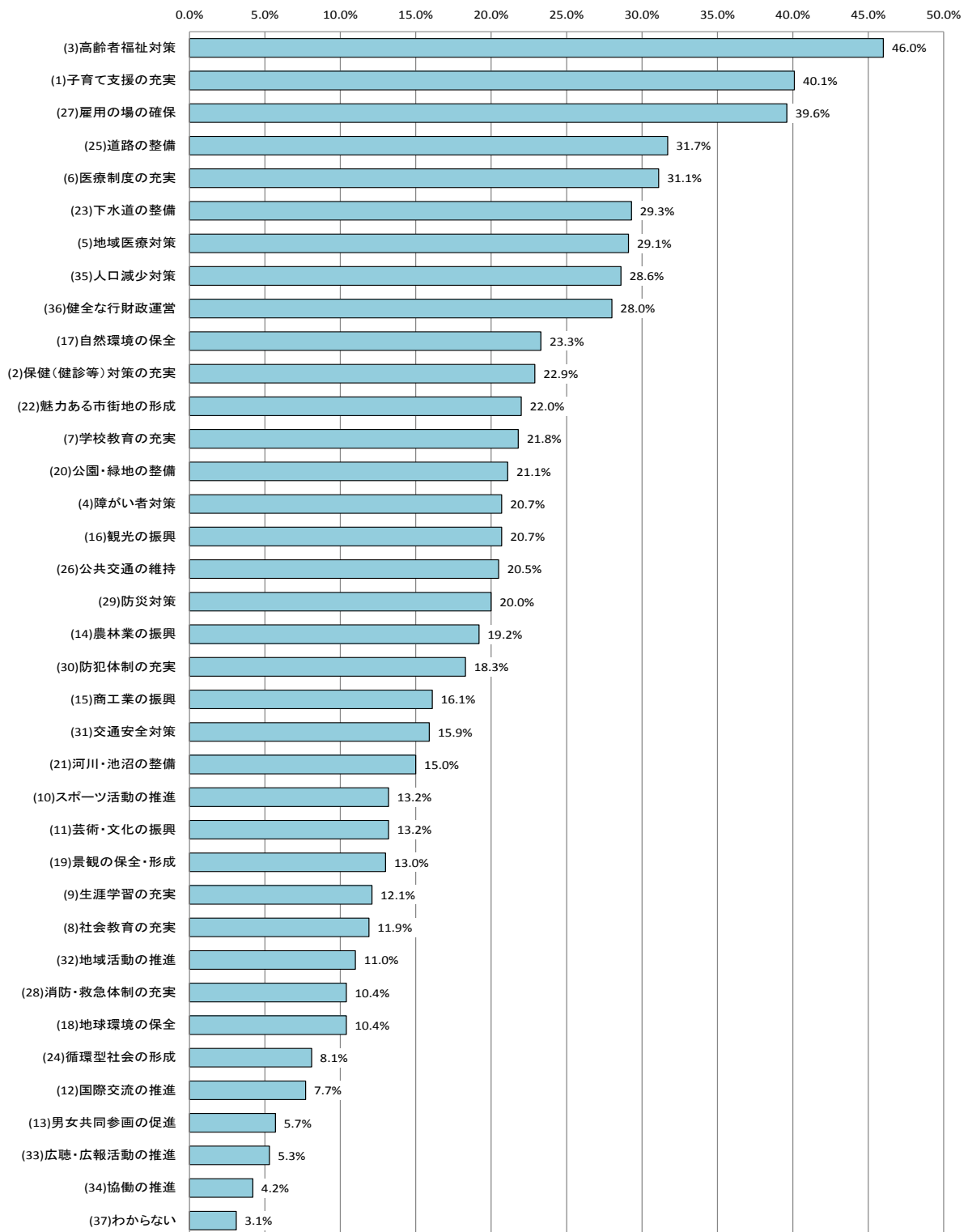
これからの益子町に必要なだと思うこと（全体：複数回答）



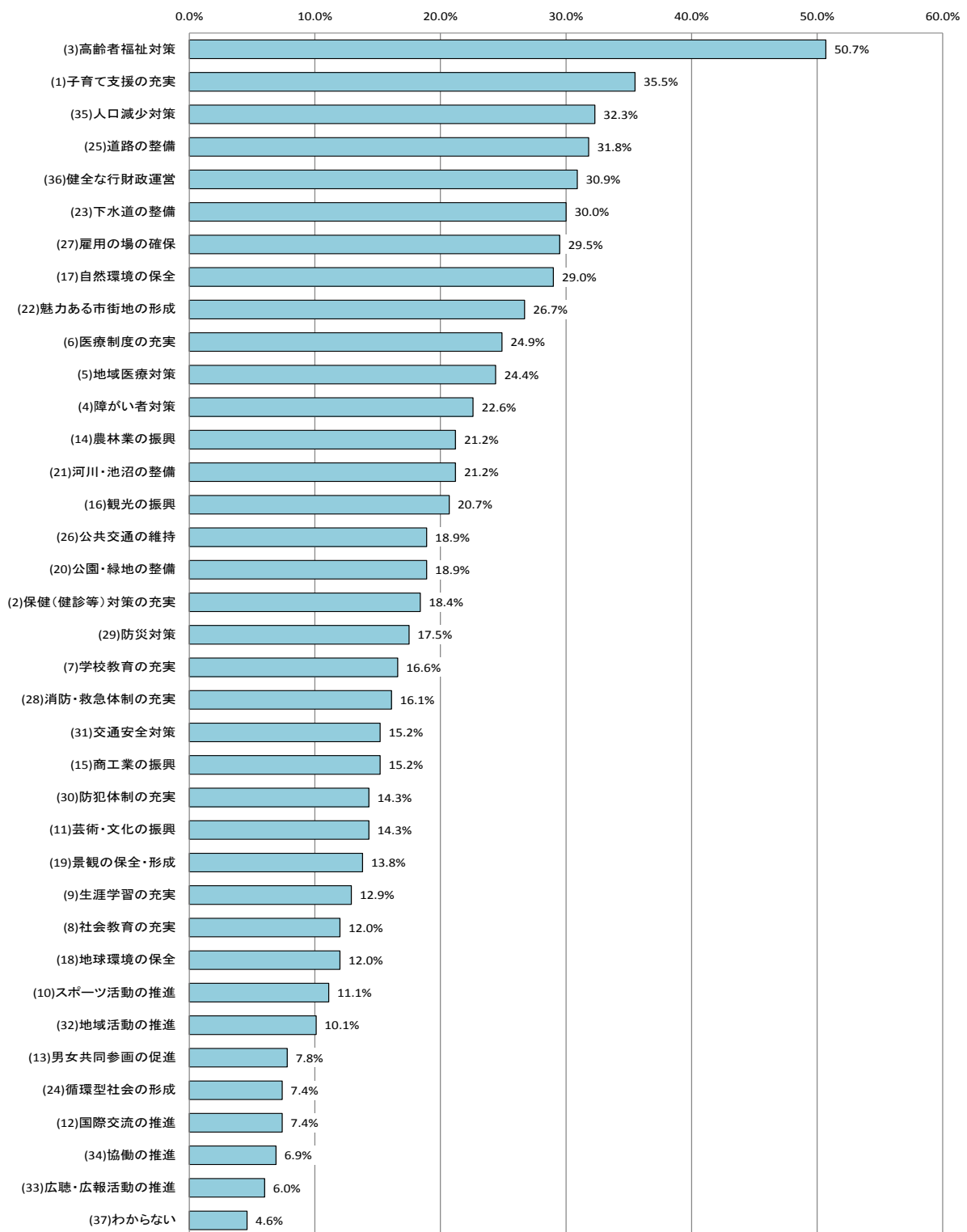
これからの益子町に必要なと思うこと（18～39 歳：複数回答）



これからの益子町に必要だと思うこと（40～64 歳：複数回答）



これからの益子町に必要なと思うこと（65歳以上：複数回答）

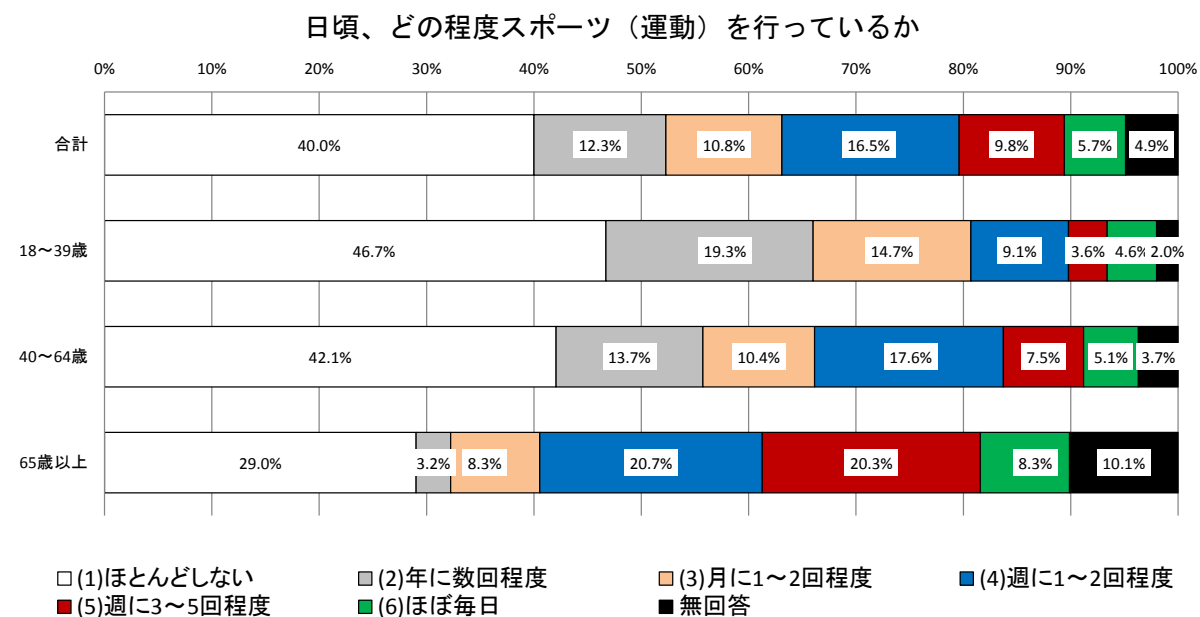


第5節 その他

問 15 あなたは日頃、どの程度スポーツ（運動）を行っていますか。【〇は1つだけ】

	年齢（再区分）						合計	
	18～39歳		40～64歳		65歳以上		人数	割合
	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
(1) ほとんどしない	92	46.7%	191	42.1%	63	29.0%	348	40.0%
(2) 年に数回程度	38	19.3%	62	13.7%	7	3.2%	107	12.3%
(3) 月に1～2回程度	29	14.7%	47	10.4%	18	8.3%	94	10.8%
(4) 週に1～2回程度	18	9.1%	80	17.6%	45	20.7%	144	16.5%
(5) 週に3～5回程度	7	3.6%	34	7.5%	44	20.3%	85	9.8%
(6) ほぼ毎日	9	4.6%	23	5.1%	18	8.3%	50	5.7%
無回答	4	2.0%	17	3.7%	22	10.1%	43	4.9%
合計	197	100.0%	454	100.0%	217	100.0%	871	100.0%

スポーツ（運動）をする頻度については、「ほとんどしない」（40.0%）が最も多く、続いて「週に1～2回程度」（16.5%）、「年に数回程度」（12.3%）となっています。
65歳以上では、「ほとんどしない」（29.0%）に次いで「週に1～2回程度」（20.7%）、「週に3～5回程度」（20.3%）となっています。



第3章 自由記述内容

第1節 地域での課題や問題等を解決するアイデア

問10 問9で答えた課題・問題等を地域で解決するアイデアはありますか。

※本質問については、誤字・脱字を訂正し、代表的な意見の要旨のみ記載しています。また、問9の中で設定した下記13項目に対する直接的な意見以外にも様々な記述がありましたが、本報告書では省略しています。

1. 「隣近所の顔がわからない」に対して

- ◇最近の長野県での地震時の自治会での助け合いのような形での組織化が必要。自治会内の一家庭の人数ぐらいは自治会でも把握したいが、町から自治会長へ報告・連絡ぐらいはできるとよい。
- ◇みんな急がしい日々を送っているが、何かもっと参加したくなる活動があれば足を運んで顔見知りになるのではないかな。
- ◇人との関わりは難しいものがあるが、家にこもらないとか、挨拶をするとか、個人の努力と地域のやる気かと思う。
- ◇地域での交流活動を活発に行なう。隣近所の助け合い。
- ◇隣・近所が毎日健康で生活しているのかどうか、生活をのぞきこむ必要はないと思うが、おせっかいにならない程度に家の中がのぞける様なことも、必要かなと思う。

2. 「自治会未加入者の増加」に対して

- ◇各地域（自治会等）で何度か集まって皆の意見を聞き、よいアイデアをまとめることが必要。
- ◇近所付き合いが全く無いにもかかわらず自治会への加入は納得できない。
- ◇古くから住んでいる人は、「アパートの人は借住まいだから、すぐ入れ替わるので自治会には入れない」と言うが、自治会に加入し、旧新住民の接点を増やすのが良いのではないかな。
- ◇自治会の加入者と未加入者を比較すると、どういう事が違ってくるのか不明瞭のため、自治会に入らなくても、困まらないのが現状なのでは。
- ◇町の条例等で、自治会に加入しないことを禁止することはできないかな。

3. 「自治会行事への参加者の減少」に対して

- ◇自治会でのPR活動をもっと積極的に行う。
- ◇各自治会楽しいイベントをする。
- ◇各地域（自治会等）で何度か集まって皆の意見を聞き、良いアイデアをまとめることが必要。
- ◇呼びかけ、行事の実施をし、楽しさを伝えて、地域の方々とのコミュニケーションを高める。
- ◇組内の新年会や盆踊りの反省会を年に1～2回行いいろいろな話をし出し合うのがよいと思う。

4. 「若い世代が自治会行事へ参加しない」に対して

- ◇自治会を運営している、父親世代の皆が、それぞれ自分の子どもたちへ声がけして、20代、30代の皆を巻きこんでいけばよいと思う。数人の若い世代が参加するようになれば、誘い合って皆が参加するようになるかもしれない。
- ◇自治会行事に関しては年配の人が多く若い人が参加しづらい。年齢を決めて世代交替してもらいたい。
- ◇自治会行事等は、高齢者が仕切りがちなので若い世代も参加できるよう、形にこだわらない行事でもあれば、距離が近くなるような気がする。
- ◇若い世代が少なくなり子供も回りにいなくなっている。そのため自治会行事の参加も減少してしまう。若い人達が住みやすく、子育てしやすい環境を作ること。若い人達に子供の数が増えるような資源を町、全体で取り組んでほしい。
- ◇若い人たち（老人たちも）が参加してみようと思うような自治会の企画。

5. 「高齢者世帯の増加」に対して

- ◇高齢者が集える場所と活動をつくる。
- ◇若者が住みたいと思う環境の整備。
- ◇高齢になっても健康で過ごせるように隣近所の関わりとかが密になるような、老人クラブなどの行事をふやしていけばいいのかなと思う。けっこう、高齢者の引きこもりもみられる。
- ◇高齢者世帯への定期的な巡回制度を地域ごとにつくる。
- ◇日頃から近所付き合いをして、困った事などを相談できるようにする（高齢者の世帯は助け合いができるよう）。

6. 「家の後継者がいない」に対して

- ◇若い人が「結婚しない」or「結婚出来ない」ことに原因があるので、出会いの場を設ける。ただし、仕事の関係で、時間が取れないor休みがない等、職場の環境を考慮することが大切。
- ◇外へ家庭を持って独立した子供達に誰か、帰って来てもらって後を継いでもらわなければと考えているが（家の後継者がいないで）それぞれに生活があるのでうまくいくといいのだが。
- ◇後継者が結婚できない家が多くなってきていると思う。
- ◇親子で世代交代なされていない家庭があるから親子で話し合いをする。
- ◇雇用の促進（仕事がないと、後継者が町外・県外に出てしまう）。

7. 「避難場所が整備されていない」に対して

- ◇避難場所が公園だが、小さいため、ちゃんとした避難場所を造ってほしい。
- ◇益子町防災マップに指定避難場所が18カ所指定してあるが、場所が片寄りすぎている。場所を追加して、2km以内で行けるようにしてほしい。
- ◇他の市町村から転入してきた人たちへの避難場所のマップを作って配布等。
- ◇地域の防災マップを作成し、独居老人の世帯などを把握する。
- ◇避難場所が少ない。いざという時のマニュアルがない。リーダーとなる人物がいない。

8. 「下水道が整備されていない」に対して

- ◇下水道の整備。
- ◇現段階では、各家庭が環境保全に努める。
- ◇山の中に家があるため浄化槽、井戸水で生活している。整備の話があってもお金のかかる事と思う。
- ◇地域で解決できる問題ではないと思う。
- ◇下水道がないのに大きなアパートをつくったり、各個人が自由に自由な場所へ家づくりしている。受け入れる場所を決めて受け入れ下水道なども前もって整備する。

9. 「道路（歩道）が整備されていない」に対して

- ◇自転車道の整備、道幅の拡大。
- ◇町の中心部では観光地として優遇され歩道の整備がなされているが、実際に日々使う頻度が高い所、子供の安全を考えて優先してほしい。
- ◇歩道がない登下校の道路に、子供達が気をつけるように・ドライバーが気遣うように、看板を立てる。
- ◇城内坂ばかり整備していないで、通学路に歩道をつくってほしい。子供達の登下校が危険。街灯の設置。
- ◇道路の整備については、それぞれの地域をまわって、実際に目で見て頂けるとよい。

10. 「空き家（空き店舗）の増加」に対して

- ◇町で出来るだけ、リフォームをして都会からの入居者を受け入れ、若者の人口を増す。
- ◇益子町以外の子育て家族に向けて空家のあっせん。高齢者の生きがい若い世代のためになるシステムづくり（料理を作って昔ながらの　たごはんの足しになるとか）。
- ◇家を探している若い人に借りてもらったり、出来ないものかな…と思う。手続きや、感情面で難しいのだろうか。東京辺りの定年夫婦への「土、日、田舎暮らし」のすすめなんかもいいのでは…と考える。
- ◇空き店舗などに何ができればいいのか（地域住民のために活用できないか）、アンケートをとったりする。
- ◇ある程度まとまった地域に住居ゾーンを設定して公共サービスを集中する。そのために空き家への転居促進を自治体として取組む。10年～20年ぐらいの長い期間をかけて、住居地域以外のゾーンのサービスを効率化（道路メンテナンス等、道を最低限にし、下水道、電気も最低限のメンテナンスにする）。

11. 「耕作放棄地の増加」に対して

- ◇草むら無くすためには、空地を無償で貸し出しにして畑を作るようにする。
- ◇専業農家の方をお願いすると良いと思う。
- ◇営農集団など、組織化して町の特産物などをつくれればよい。
- ◇耕作放棄地を町が管理し太陽光発電を行なう。
- ◇草刈りぐらいだろう。とはいえ、人の耕作地の中までやるわけには、いかないだろう。

12. 「鳥獣害の増加」に対して

- ◇鳥獣害被害減少のための補助金。
- ◇捕獲や危険でないワナの講習会、と猪の買い取り、を実施する。
- ◇イノシシ対策の勉強会。

◇わなや山の整備をし、荒らさない。

◇耕作放棄地の増加とともに猪の被害も増加している。地主の責任を求める。茂木、市貝でも里山の整備等活動している。

13. 「医療施設の減少」に対して

◇3地区に訪問医療できる医者を配置する。自分で動けなくなるまで、自宅で過せるような環境を作る。

◇町が主体となって、医療（介護をふくめた）施設の誘致か設置をする。

◇耳鼻科、眼科、外科があると助かる。

◇真岡の病院もデマンドタクシーが、利用できたらいいと思う。

◇夜間の診療がしてもらえず、宇都宮、自治医大等車で往復して夜中に帰宅する事が多いので近くで夜間の受付ができるようにしていただきたい。

第2節 「幸せ」を感じる時間や場所・場面

※（ ）には同じ趣旨・内容の記述の数を表しています。また、各項目について、これらの他にも様々な記述がありましたが、本報告書では、それらのうち、主だったものについてのみ、記載しています。

問8-1 あなたは、今「幸せ」を感じる時間や場所・場面はなんですか。

1. 自宅で過ごす、家族と過ごす

◇家族で一緒にいる時、家族団らん（193）

◇家にいる時（77）

◇趣味など好きなことをしている時（27）

◇おいしい物を食べている時、おやつを食べている時、お茶の時間（17）

◇家族が笑顔でいる時（14）

◇就寝する・している時、睡眠（14）

2. 自分の健康・家族の健康

◇家族全員が健康でいること（22）

◇自分が健康でいられること（12）

◇家族が元気に帰宅する時（2）

3. 子ども・孫の顔を見る

◇子や孫が遊びにきた時（12）

◇子や孫の成長を感じた時（7）

◇子や孫の顔を見ている時（4）

◇子供が楽しそうに遊んでいる時（3）

◇仕事から帰宅すると孫が出迎えてくれる事（2）

4. 友人と過ごす

◇友人などと食事など一緒に過ごす時（41）

5. 余暇・休日

◇温泉（17）

◇サークル活動、ボランティア、イベント参加など人との交流（17）

◇休みで家に居る時（16）

◇ペットと触れ合う（15）

◇旅行に行く時（14）

◇スポーツ（14）

6. 仕事・職場

◇仕事をしている時（6）

◇農作業に従事してる時間（3）

◇仕事及びその成果（2）

◇職場（2）

7. 益子町

◇豊かな自然（8）

◇良い景色（3）

◇災害が他より少ない（2）

第3節 各設問の「その他」への記載内容

○には同じ趣旨・内容の記述の数を表しています。

問4 あなたの職業はどれですか。

◇看護師（2）
◇会社役員
◇介護職
◇准看護師

◇講師
◇福祉施設（作業所）入所（通い）
◇シルバー作業
◇作業所

問7 あなたの家族構成はどれですか。

◇4世代（7）
◇5世代（2）
◇東京で会社の代表している自分だけが益子に税金支払っている。

◇子、祖母、兄弟
◇すぐ後に長男夫婦と子ども
◇祖母、夫婦、子

問9 あなたが住んでいる地域（自治会または旧小学校区の範囲）での課題や問題点、将来への不安を、次の中から選んでください。

※本質問に対しては、これらの他にも様々な記述がありましたが、本報告書では、それらのうち、主だったものについてのみ、記載しています。

◇街灯が少ない、暗い（12）
◇ガソリンスタンドやコンビニ、スーパーなどがない（9）
◇人口の減少（5）
◇働く場所がない（3）

◇家のまわりにおちて来る木々や葉の始末。冬場は特に陽が当たらず日影になる。せめて家の回りの木々の枝だけでも切ってほしい（3）

問12-1 あなたが参加している、または参加しようと思う地域活動を、次の中から選んでください。

◇自治会行事（8）
◇ボタリング、ウルトラマラソン、トレラン朝市
◇ボランティア
◇ボランティアガイド等
◇読みきかせボランティア
◇ましこふれあいサロン
◇共有財産管理活動

◇子供、特に小学生とのふれあいがあるとよい。ただし年齢的に除外される
◇小泉・梅ヶ内女性会の事業に参加
◇障害者スポーツ関係
◇茶道をしているので行事ごとのもてなし
◇文化活動

問12-2 あなたが地域活動に参加しない理由を、次の中から選んでください。

※本質問に対しては、これらの他にも様々な記述がありましたが、本報告書では、それらのうち、主だったものについてのみ、記載しています。

◇健康上の理由（15）
◇自治体活動には家族の別の者が参加している（6）
◇身体に障がいがある（7）

◇体力的に無理（4）
◇知的障害のため参加できない（3）
◇めんどくさい（3）

問13-1 あなたは、益子町のどのようなことに愛着や誇りを感じていますか。

※本質問に対しては、これらの他にも様々な記述がありましたが、本報告書では、それらのうち、主だったものについてのみ、記載しています。

◇益子焼（8）
◇生まれ育った所だから（7）
◇周りに良い人がいっぱい居るから（7）

◇自然が豊かだから（4）
◇全国や世界に益子町の名が知っている事（3）
◇のんびりしている感じ（2）

問 14 あなたは、これからの益子町には、どのようなことが必要だと思いますか。

※本質問については、誤字・脱字を訂正し、代表的な意見の要旨のみ記載しています。

◇焼き物にこだわりすぎ。(3)

◇安全な通学路。(3)

◇街灯の整備。(3)

◇図書館の設置。(2)

◇観光立町をめざすなら道路の整備必要。裏道も、すれ違い
できるよう。(3)

◇大型企業の誘致。(2)

第4節 巻末自由意見

※巻末自由意見については、特定の個人や民間事業所、団体への誹謗・中傷を削除するとともに、誤字・脱字を訂正したうえで、代表的な意見の要旨のみ記載しています。

また、町政に関わる下記の6分野以外にも様々な記述がありましたが、本報告書では省略しています。

問16 町政に関するご意見やご要望など、どんなことでも結構ですので、お書きください。

1. 教育・文化関連

- ◇益子地区の小・中学校に冷暖房の設備を、ちゃんとしてほしい。特に冷房。
- ◇学童スポーツ・中学スポーツに対して、もっと支援して頂きたい。
- ◇生涯学習、教室、を充実させてほしい。
- ◇中学生、高校生が勉強できる図書館を充実させてほしい。図書室に勉強に行った高校生が空いてる場所がなく帰った子どもがいる。益子駅内のデマンド前のホールで勉強している真女生がいるが、寒いし、暗いし何とか場所を提供してあげてほしい。
- ◇子育て、教育はいつの時代も重要なことだが、特に人としてのあたりまえなことが身につく学校教育が必要。

2. 保健・医療・福祉関連

- ◇益子町の財政等詳しくは分からないが、これから結婚・出産・子育てする立場としては、少子化が進む中で、“子どもを産んで育てる”ことは町にとっても大切なことだと思う。未来の子どもたちが安全で且つ健やかに成長できるよう手厚い援助・手助けをしてほしい。
- ◇医療施設を増やしてほしい。特に皮膚科とか耳鼻咽喉科。せっかくの住みよい町なのに内科と歯科ばかりが多く、皮膚科と耳鼻咽喉科がない。車を運転できる方は良いかもしれないが、高齢者の方が不便で可哀想だと思う。もっと、高齢者の方のことを考えほしい。
- ◇精神障害者に寛大なまちづくりをさらに拡充してほしい。
- ◇車がなくても安心して病院に行ける医療制度（対策）訪問看護の充実。
- ◇老後は、ゆったりと自宅で過ごせ、できれば自宅で安心して、死んでいける体制（医療、介護など）ができることを望む。

3. 地球環境・自然環境・防犯・防災関連

- ◇竹が山に生えている所が増加しているのを、なんとかしてほしい。
- ◇子ども達が安心して通学するための歩道の整備、街灯の設置を望む。災害に遭った時のフォロー。何に困っていて、何が必要かを把握して速やかな対処してほしい。
- ◇防災放送時、風向きによって聞きにくい時があるのでスピーカーの数を増やすことはできないか（外にいる時）。
- ◇災害時等、11月の長野県での地震の際、地域でもマニュアル等により助け合いができたとのニュースを聞いた。昨年から避難訓練が実施されているが、このようなことを継続してほしい。
- ◇益子の自然をもっと活用できると良い。里山があるので棚田オーナーなど。川が荒れているので水をきれいにゴミを少なくする活動をしたい。

4. 産業・雇用関連

- ◇工場を誘致、雇用の場を確保し人口の減少に歯止めをかける。高齢者を農林業に雇用できる場を提供し、健康増進を図るシステムをつくる。
- ◇観光について益子焼ばかりに片寄りすぎていると思われるので、若い世代も集まるような施設・設備等を充実してもらいたい（アウトレットなど）。
- ◇新しく「道の駅」ができるということ、とても楽しみ。これを機会に道路が整備され人々の交流が盛んになることを望む。色々なことへの発達の舞台になればと思う。
- ◇道の駅には反対。必要ない町財産の無駄遣い。
- ◇農業者の減少で、現在の農地を整備しないと畑の利用価値がなくなってしまう。農業にとって、無限の資産。観光振興と併わせて推進してほしい。

5. 都市基盤整備関連

- ◇公共交通機関の不便さを感じる。
- ◇一部地域ではなく歩道を整備してほしい。小中学生や、年齢の高い人にやさしい町づくりをしてほしい。色々な計画は、今だけでなく、将来を見据えて、困らないようなものにしてほしい。
- ◇益子町は、インフラ整備が不十分と思う。特に道路と下水道。
- ◇駅前から城内坂迄の区間はまるでゴースタウンみたいで非常にさみしくもあり残念な風景。駅前からもっと前向きに開発していくべきだと思う。
- ◇子ども達が安全に遊べる場所をもっと増やしてほしい。

6. 行財政運営・地方自治・協働関連

- ◇バランスのとれた予算管理。不公平のない・差別のない行政運用。相談しやすい行政運用。広報活動の定着化。
- ◇自治会に入らないとか、あるいは隣の地区の自治会に入っていると、新しく来た時、行政上では何ともならないのか。少数であるうちは問題でもないが、だんだんそういう人達が増えると色々と支障が出てくる。
- ◇行政はあまり欲ばらずコンパクトに。その中で、できる限りの国際感覚も取り入れ、日々無駄がないか考えて、益子町のために働いてほしい。
- ◇次世代に負の財産を少しでも残さないような財政づくり。
- ◇新しく転入してきた人に向けたサポートや情報をもっと整えてほしい。おそらく、これから益子町はそのようなニーズは増えるのではないと思う。

7. 複数の分野にまたがるもの

- ◇「ぜひ益子に住みたい」と言う人がもっと増えるようにしてほしい。
- ◇益子町は自然、文化財、工芸等を継承できる環境づくり。老若男女が差別なく健全な生活ができる明るい町づくり。
- ◇自分の育った地元でこれからも生活していこうと考えたこともあるが、下水道や上水道が整備されていない地域もあり、区画整理や分譲されていてもそういった整備をされていないと、他の市町村で家を建てようかと思う。子育てがしやすいか、防犯がしっかりしているか住みやすいかがしっかりしていないと人口は増えないと思う。
- ◇年寄りの住みやすい町、若い人の仕事のある町、若い人の学べる町、子どもが安全に遊べる町、子育てしやすい町、富裕層の人が移転したくなるような町になってほしい。ネイティブアメリカンの人達のように何代も先の益子の民がくらしやすいように町政が行われることを望む。

第3部 中高生アンケート集計結果

第1章 調査の概要

第1節 調査の目的

本調査は、益子町内の中学校・高校に通う学生を対象に、まちづくりについてのニーズなどを把握し、「新ましこ未来計画」の策定にむけた基礎資料とするために実施しました。

第2節 調査の実施内容

対象者、配布・回収方法、回収数などは以下のとおりです。

調査の対象	中学生：益子中学校 100 人 田野中学校 40 人 七井中学校 48 人 高校生：益子芳星高校 148 人
調査方法	各学校において配布・回収
回収数	中学生 188 件、高校生 148 件
回収率	100.0%

第3節 集計結果の見方

- 設問には1つのみ答えるもの（シングルアンサー）と複数回答のもの（マルチアンサー）があり、マルチアンサーの設問では、構成比の合計は 100%を超えます。
- 構成比は選択肢ごとに小数点第2位で四捨五入しているため、その構成比の合計は 100%にならないところがあります。
- 性別クロス集計は、年齢無回答分は表記していません。また、グラフは、「その他」の選択肢や「無回答」などの表記を省略しているところがあります。

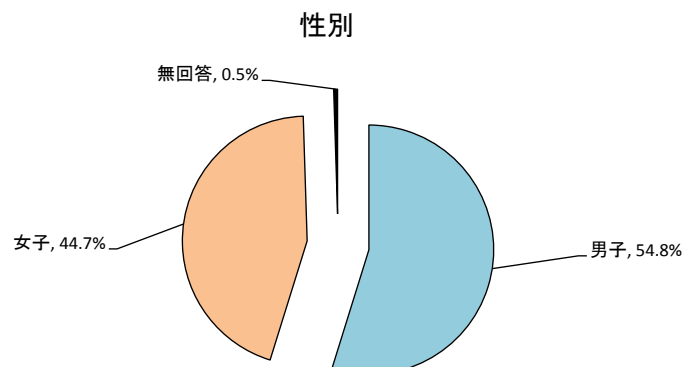
第2章 中学生アンケート集計結果

第1節 属性

問1 あなたの性別を教えてください。【〇は1つだけ】

	人数	割合
男子	103	54.8%
女子	84	44.7%
無回答	1	0.5%
合計	188	100.0%

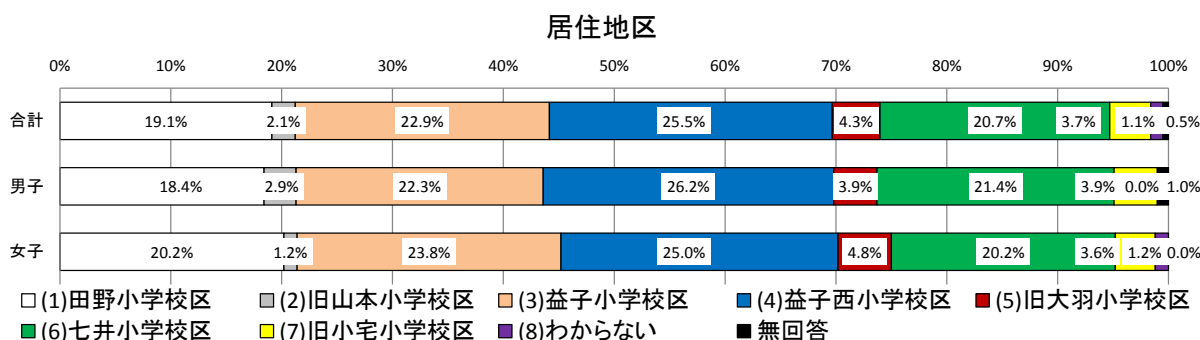
回答者の性別は、男子 54.8%、女子 44.7%となっています。



問2 あなたのお住まいの地区はどちらですか？【〇は1つだけ】

	性別				合計	
	男子		女子		人数	割合
	人数	割合	人数	割合		
(1) 田野小学校区	19	18.4%	17	20.2%	36	19.1%
(2) 旧山本小学校区	3	2.9%	1	1.2%	4	2.1%
(3) 益子小学校区	23	22.3%	20	23.8%	43	22.9%
(4) 益子西小学校区	27	26.2%	21	25.0%	48	25.5%
(5) 旧大羽小学校区	4	3.9%	4	4.8%	8	4.3%
(6) 七井小学校区	22	21.4%	17	20.2%	39	20.7%
(7) 旧小宅小学校区	4	3.9%	3	3.6%	7	3.7%
(8) わからない	0	0.0%	1	1.2%	2	1.1%
無回答	1	1.0%	0	0.0%	1	0.5%
合計	103	100.0%	84	100.0%	188	100.0%

回答者の居住地区は、益子西小学校区 (25.5%) が最も多く、次いで益子小学校区 (22.9%)、七井小学校区 (20.7%) の順になっています。



第2節 放課後・休日の過ごし方

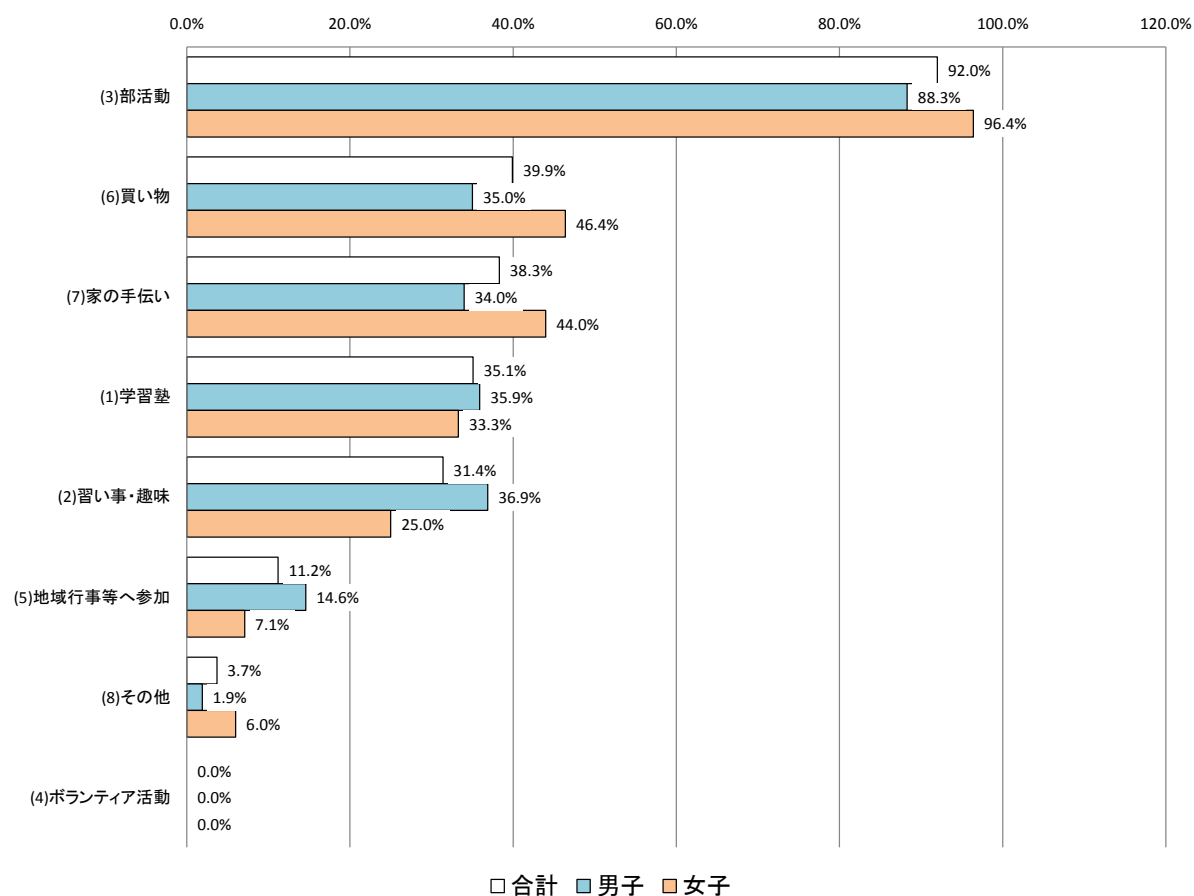
問3 あなたが放課後や休日に益子町でしていることは何ですか？【〇はいくつでも】

	性別				合計	
	男子		女子		人数	割合
	人数	割合	人数	割合		
(1)学習塾	37	35.9%	28	33.3%	66	35.1%
(2)習い事・趣味	38	36.9%	21	25.0%	59	31.4%
(3)部活動	91	88.3%	81	96.4%	173	92.0%
(4)ボランティア活動	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
(5)地域行事等へ参加	15	14.6%	6	7.1%	21	11.2%
(6)買い物	36	35.0%	39	46.4%	75	39.9%
(7)家の手伝い	35	34.0%	37	44.0%	72	38.3%
(8)その他	2	1.9%	5	6.0%	7	3.7%
無回答	0	0.0%	1	1.2%	1	0.5%
合計	103	100.0%	84	100.0%	188	100.0%

放課後や休日に益子町でしていることについては、全体では「部活動」(92.0%)が最も多く、次いで「買い物」(39.9%)、「家の手伝い」(38.3%)の順になっています。

男女別にみると、「部活動」に次いで、男子では「習い事・趣味」(36.9%)、女子では「買い物」(46.4%)が多くなっています。

放課後や休日に益子町でしていること（複数回答）



■「その他」の記述内容

◇友達と遊ぶ（3）
◇PC、3DS、猫と遊ぶ

◇家庭学習
◇ゲーム

◇テレビを見る。

第3節 益子町が好きか

問4 あなたは、益子町が好きですか？

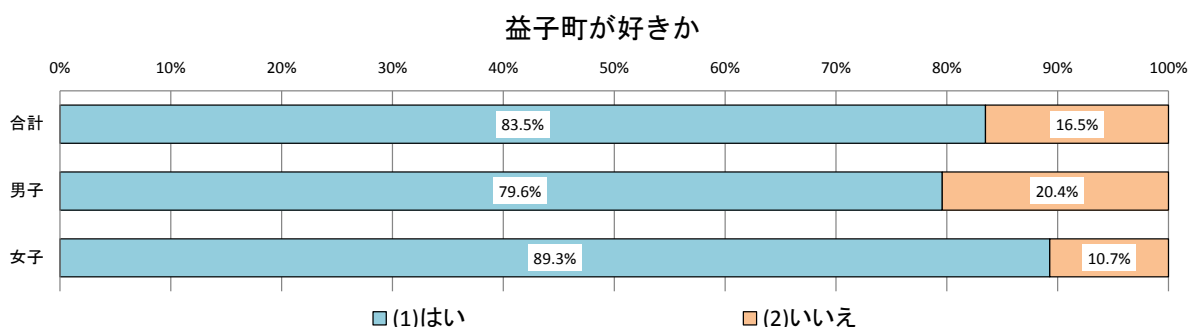
	性別				合計	
	男子		女子		人数	割合
	人数	割合	人数	割合		
(1) はい	82	79.6%	75	89.3%	157	83.5%
(2) いいえ	21	20.4%	9	10.7%	31	16.5%
合計	103	100.0%	84	100.0%	188	100.0%

益子町が好きかどうかについては、「はい」と答えた割合が83.5%、「いいえ」と答えた割合が16.5%となっています。

男女別では、「はい」と答えた割合が男子（79.6%）よりも女子（89.3%）の方が多くなっています。

益子町が好きな理由としては、自然環境が豊か、益子焼や文化財など誇れるものがある、周りの人が優しい、などが挙げられています。

一方で、益子町が好きでない理由としては、遊ぶ場所や店が少ない、不便、町に何も無い、などが挙げられています。



■好きな理由（（）内は同様の趣旨の記述の数を示す）

※本質問に対しては、これらの他にも様々な記述がありましたが、本報告書では、それらのうち、主だったものについてのみ、記載しています。

◇山や川などの自然がたくさんあり、自然環境が豊かだから。（90）

◇益子焼や文化財など、日本全国や世界に誇れるものが沢山あるから。（20）

◇周りの人がみんな優しいから。（17）

◇色々な行事があって楽しい。（祭り、駅伝、地区ぐるみなど）（13）

◇自分が今まで過ごしてきた所だから。（9）

■好きではない理由（（）内は同様の趣旨の記述の数を示す）

※本質問に対しては、これらの他にも様々な記述がありましたが、本報告書では、それらのうち、主だったものについてのみ、記載しています。

◇遊ぶ所や、店が少ないから。（11）

◇田舎すぎるから。（4）

◇不便だから（5）

◇特に何も無いから。（5）

◇町で行う行事などばかりにお金を使うのではなく、町の人々皆が望んでいることにお金をかけてほしい。（2）

◇住んでいて楽しくないから。（2）

第4節 益子町を良くしていくために必要だと思うこと

問5 あなたは、益子町をもっと良くしていくためには何が必要だと思いますか？【〇はいくつでも】

	性別				合計	
	男子		女子		人数	割合
	人数	割合	人数	割合		
(1)山や川などの自然環境を大事に 守り育てること	83	80.6%	61	72.6%	144	76.6%
(2)人や自転車などが安心して通行 できる道路を整備すること	70	68.0%	61	72.6%	131	69.7%
(3)学習施設（図書館や公民館など） が充実していくこと	33	32.0%	43	51.2%	76	40.4%
(4)体育施設（運動公園や体育館 など）が充実していくこと	46	44.7%	28	33.3%	75	39.9%
(5)スポーツ活動、サークル活動 などが充実していくこと	35	34.0%	14	16.7%	49	26.1%
(6)子どもが安心して遊べる場が充実 していくこと	63	61.2%	50	59.5%	113	60.1%
(7)子どもが参加しやすいイベント （ボランティア活動）などが充実して いくこと	39	37.9%	17	20.2%	56	29.8%
(8)高齢者や障がい者が安心して 暮らせるまちにしていくこと	55	53.4%	56	66.7%	111	59.0%
(9)若い人たちが暮らせるよう、 働く場や住まいを確保していくこと	63	61.2%	39	46.4%	102	54.3%
(10)健康づくりの場や医療体制などが 充実していくこと	41	39.8%	42	50.0%	83	44.1%
(11)ごみの減量化やリサイクルなどの 環境対策を進めていくこと	53	51.5%	42	50.0%	95	50.5%
(12)消防・防災対策を充実していく こと	44	42.7%	29	34.5%	73	38.8%
(13)交通事故や犯罪がない安全・安心 なまちにしていくこと	70	68.0%	65	77.4%	135	71.8%
(14)その他	10	9.7%	4	4.8%	15	8.0%
合計	103	100.0%	84	100.0%	188	100.0%

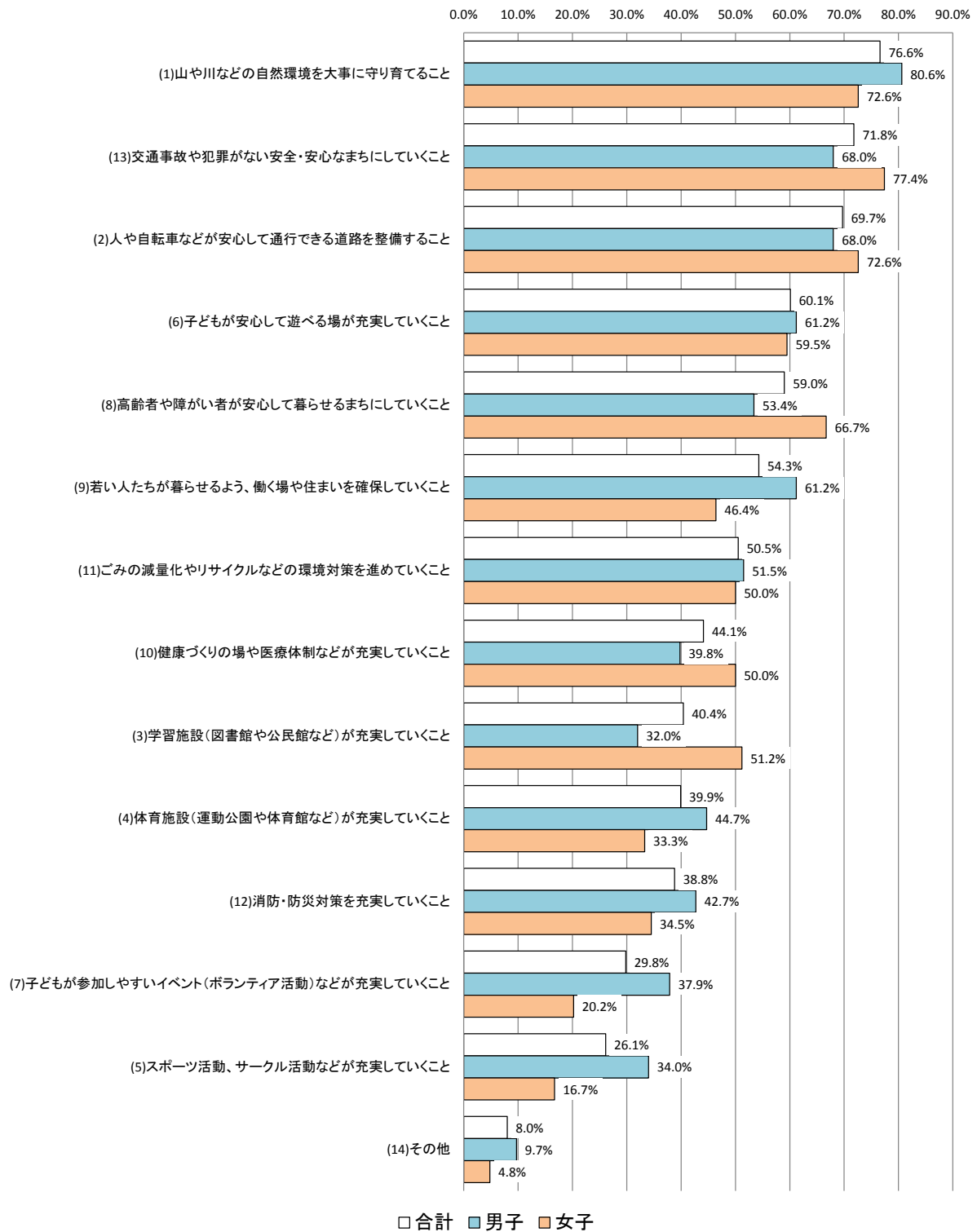
益子町をもっとよくしていくために必要だと思うことについては、全体では「山や川などの自然環境を大事に守り育てること」(76.6%)が最も多く、次いで「交通事故や犯罪がない安全・安心なまちにしていくこと」(71.8%)、「人や自転車などが安心して通行できる道路を整備すること」(69.7%)の順になっています。

女子では、「交通事故や犯罪がない安全・安心なまちにしていくこと」(77.4%)が最も多くなっています。

■「その他」の記述内容（()内は同様の趣旨の記述の数を示す）

- ◇本屋やコンビニ、飲食店、スーパーマーケットなどお店やレジャースポットを増やしていくこと（8）
- ◇観光客がたくさん来るので安全な駐車場
- ◇ごみ拾い
- ◇ごみ屋敷、迷惑な工場について厳しい対応をする。
- ◇信号を増やしてほしい。
- ◇住みやすくしてほしい。不便
- ◇道の駅の問題の決着
- ◇焼物の町であることが薄れないように余計な建物を増やさない。

益子町を良くしていくために必要だと思うこと（複数回答）



問6 あなた自身は、益子町を良くするために何ができると思いますか？

益子町を良くするために自分自身でできると思うことについては、ごみ拾い、ボランティアなどに積極的に参加する、ごみのポイ捨てをしない、などの意見が出されています。

■益子町を良くするために自分でできると思うこと

- ◇ごみ拾い。(35)
- ◇ボランティアなどに積極的に参加する。(33)
- ◇ごみのポイ捨てをしない。(28)
- ◇自然環境を大切に。(25)
- ◇ごみの減量・リサイクル(20)
- ◇地域のイベント・行事に参加する。(14)
- ◇ごみを分別する。(12)
- ◇挨拶をする。(10)
- ◇交通安全を守る。(6)
- ◇川や森をきれいに。(5)
- ◇木や草などの自然を育てる。(3)
- ◇益子焼を広める(3)
- ◇人に優しくする、親切にする。(3)
- ◇植物を大切に。(2)
- ◇募金をする。(2)
- ◇益子町の文化を大切に、次の世代へ伝える。(2)
- ◇無駄な所で金を使わない。(2)
- ◇個人では何もできないと思う(2)
- ◇生きる
- ◇高齢者をサポートする人を増やしてほしい。
- ◇水や電気の使いすぎをやめる。
- ◇スポーツでの活躍
- ◇益子町の文化にふれる。
- ◇自然をなくさないで地域活性化。
- ◇将来益子を活性化させるための取り組み
- ◇人口を増やす。
- ◇たくさんお店をつくる。
- ◇楽しく遊ぶことができる施設などを作る。
- ◇他力本願
- ◇地域の交流する機会を増やす。
- ◇益子町の行事を増やす。
- ◇益子町ならではの行事を開く。
- ◇近場なら車を使わずに歩きや自転車で行く。
- ◇犯罪などを防止する。
- ◇人が歩くスペースをもう少し増やす。
- ◇他の市や町からすごいと思われることをたくさんする。
- ◇益子のキャラクターをデザインする。
- ◇益子町のルールを守る。
- ◇益子を有名にする。
- ◇もう少しみんなが遊べたり、買い物できる楽しい施設を増やす。
- ◇有名な物を増やす。
- ◇焼物以外の人を呼び込む品を作る。
- ◇やるべき事をしっかりやる。
- ◇良くない所はなおし、良い所はもっとアピールすればいいと思う。
- ◇わからない(2)

第5節 大人になっても益子町に住み続けたいと思うか

問7 あなたは、大人になっても益子町に住み続けたいと思いますか？

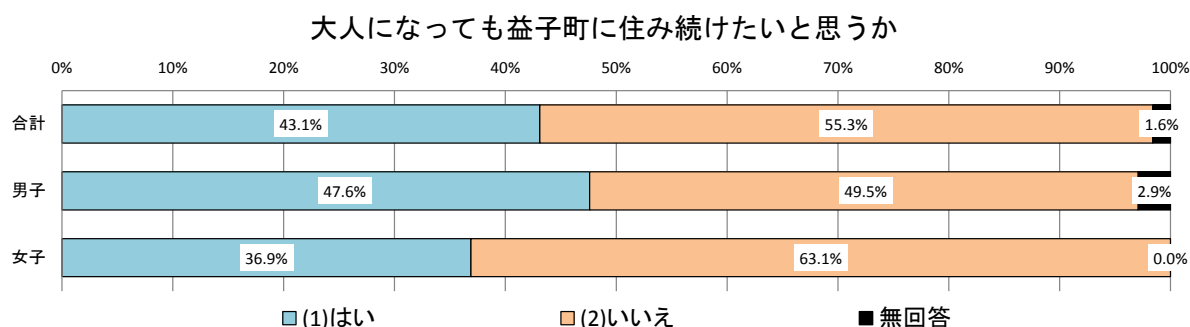
	性別				合計	
	男子		女子		人数	割合
	人数	割合	人数	割合		
(1) はい	49	47.6%	31	36.9%	81	43.1%
(2) いいえ	51	49.5%	53	63.1%	104	55.3%
無回答	3	2.9%	0	0.0%	3	1.6%
合計	103	100.0%	84	100.0%	188	100.0%

大人になっても益子町に住み続けたいと思うかどうかについては、「はい」と答えた方が43.1%、「いいえ」と答えた方が55.3%となっています。

男女別では、「はい」と答えた割合が男子（47.6%）の方が女子（36.9%）よりも多く、「いいえ」と答えた割合が女子（63.1%）の方が男子（49.5%）よりも多くなっています。

住み続けたい理由については、自然が豊かだから、住み慣れているから、住みやすいから、などが挙げられています。

一方、住み続けたくない理由については、買い物や交通が不便だから、働く場所が少ないから、違う場所にも住みたい、都会で暮らしてみたい、などが挙げられています。



■住み続けたい理由（（）内は同様の趣旨の記述の数を示す）

※本質問に対しては、これらの他にも様々な記述がありましたが、本報告書では、それらのうち、主だったものについてのみ、記載しています。

- ◇自然が豊かだから。（12）
- ◇安全で安心していただけるから。（6）
- ◇住み慣れているから。（8）
- ◇生まれ育った場所だから。（5）
- ◇住みやすいから。（8）
- ◇益子町が好きだから。（5）
- ◇自分が育った町だから。（6）
- ◇地域に優しい人が多いから。（5）

■住み続けたくない理由（（）内は同様の趣旨の記述の数を示す）

※本質問に対しては、これらの他にも様々な記述がありましたが、本報告書では、それらのうち、主だったものについてのみ、記載しています。

- ◇交通や買い物が不便だから。（30）
- ◇都会で暮らしたい・暮らしてみたいから。（20）
- ◇働く場所が少ないから。（21）
- ◇夢を叶えるため。（7）
- ◇違う所にも住みたい、いろいろな所を回って体験したいから。（20）
- ◇田舎だから。（4）
- ◇何もないから（4）

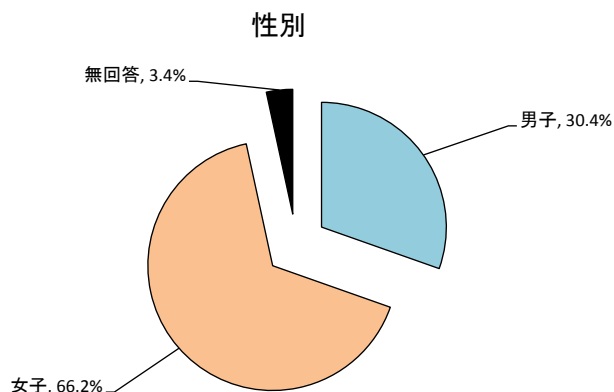
第3章 高校生アンケート集計結果

第1節 属性

問1 あなたの性別を教えてください。【〇は1つだけ】

	人数	割合
男子	45	30.4%
女子	98	66.2%
無回答	5	3.4%
合計	148	100.0%

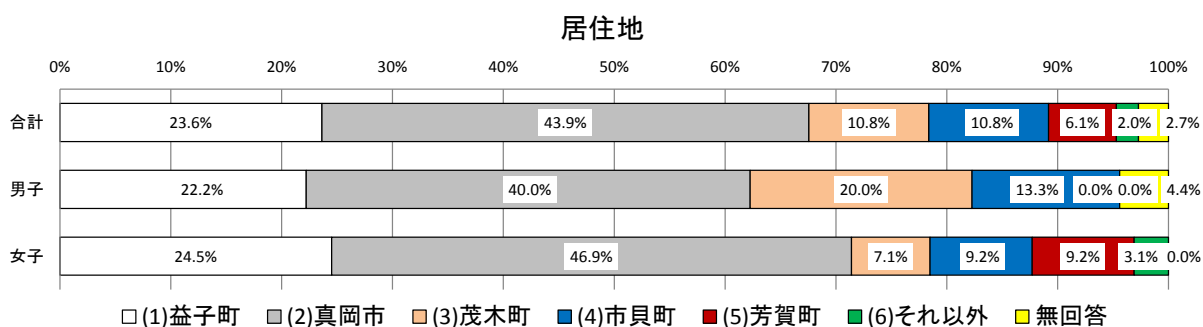
回答者の性別は、男子 30.4%、女子 66.2%となっています。



問2 あなたのお住まいはどちらですか？【〇は1つだけ】

	性別				合計	
	男子		女子		人数	割合
	人数	割合	人数	割合		
(1) 益子町	10	22.2%	24	24.5%	35	23.6%
(2) 真岡市	18	40.0%	46	46.9%	65	43.9%
(3) 茂木町	9	20.0%	7	7.1%	16	10.8%
(4) 市貝町	6	13.3%	9	9.2%	16	10.8%
(5) 芳賀町	0	0.0%	9	9.2%	9	6.1%
(6) それ以外	0	0.0%	3	3.1%	3	2.0%
無回答	2	4.4%	0	0.0%	4	2.7%
合計	45	100.0%	98	100.0%	148	100.0%

回答者の居住地は、真岡市（43.9%）が最も多く、次いで益子町（23.6%）、茂木町・市貝町（それぞれ 10.8%）の順になっています。「それ以外」の3名は、宇都宮市です。



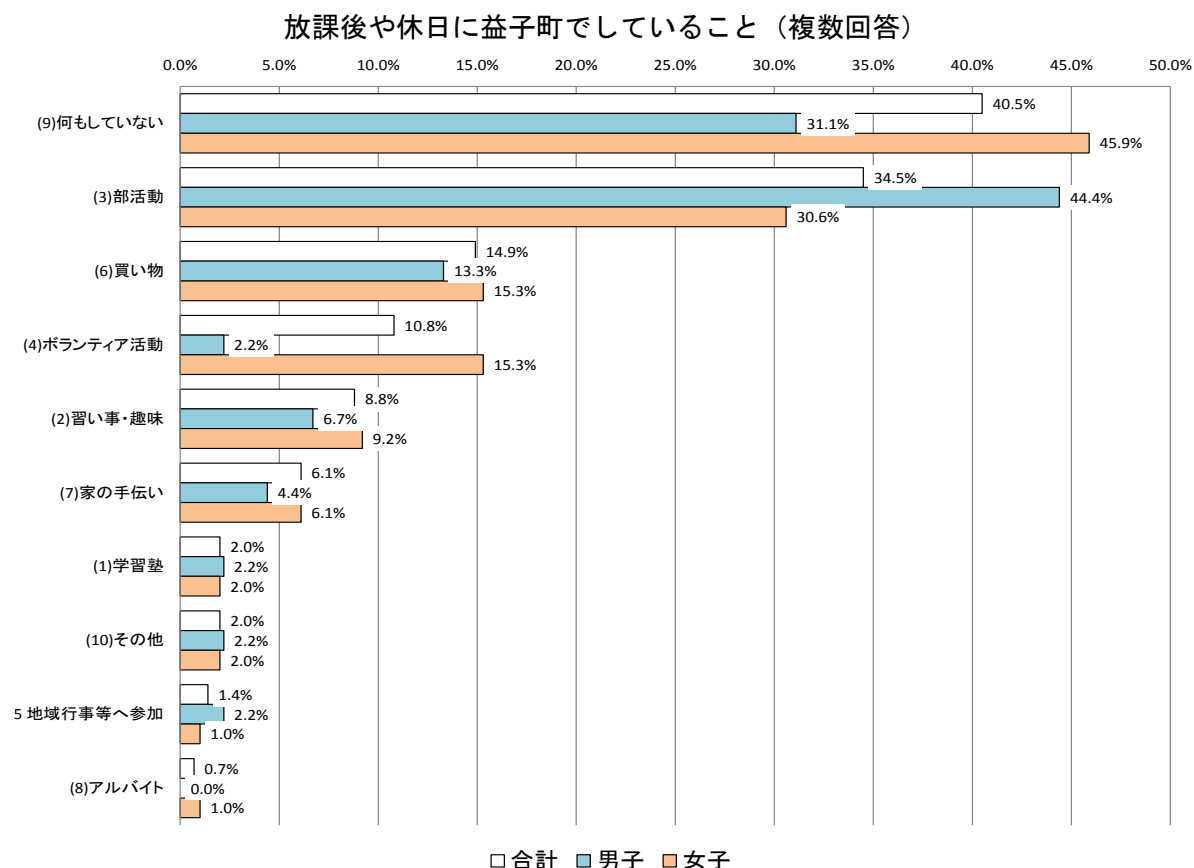
第2節 放課後・休日の過ごし方

問3 あなたが放課後や休日に益子町でしていることは何ですか？【〇はいくつでも】

	性別				合計	
	男子		女子		人数	割合
	人数	割合	人数	割合		
(1)学習塾	1	2.2%	2	2.0%	3	2.0%
(2)習い事・趣味	3	6.7%	9	9.2%	13	8.8%
(3)部活動	20	44.4%	30	30.6%	51	34.5%
(4)ボランティア活動	1	2.2%	15	15.3%	16	10.8%
(5)地域行事等へ参加	1	2.2%	1	1.0%	2	1.4%
(6)買い物	6	13.3%	15	15.3%	22	14.9%
(7)家の手伝い	2	4.4%	6	6.1%	9	6.1%
(8)アルバイト	0	0.0%	1	1.0%	1	0.7%
(9)何もしていない	14	31.1%	45	45.9%	60	40.5%
(10)その他	1	2.2%	2	2.0%	3	2.0%
無回答	1	2.2%	2	2.0%	5	3.4%
合計	45	100.0%	98	100.0%	148	100.0%

放課後や休日に益子町でしていることについては、全体では「何もしていない」(40.5%)が最も多く、次いで「部活動」(34.5%)、「買い物」(14.9%)の順になっています。

男女別にみると、男子では「部活動」(44.4%)が最も多くなっています。また、女子では「ボランティア活動」(15.3%)が男子よりも多くなっています。



■「その他」の記述内容

◇遊ぶ

◇益子に来ない

第3節 益子町が好きか

問4 あなたは、益子町が好きですか？

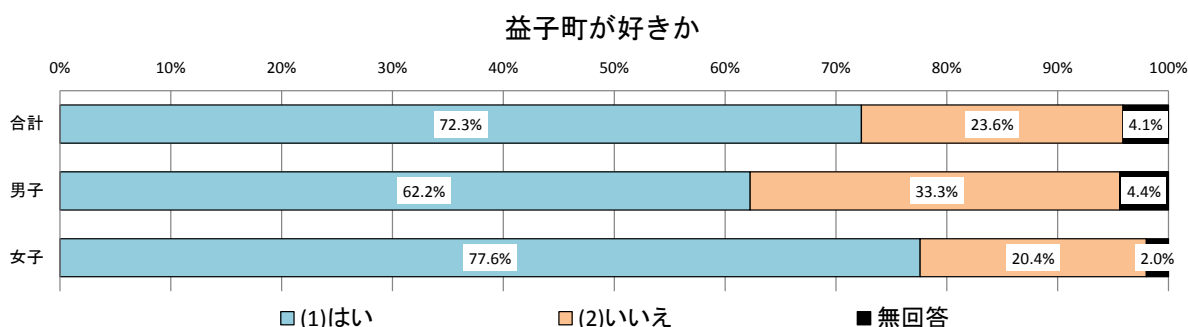
	性別				合計	
	男子		女子		人数	割合
	人数	割合	人数	割合		
(1) はい	28	62.2%	76	77.6%	107	72.3%
(2) いいえ	15	33.3%	20	20.4%	35	23.6%
無回答	2	4.4%	2	2.0%	6	4.1%
合計	45	100.0%	98	100.0%	148	100.0%

益子町が好きかどうかについては、「はい」と答えた方が 72.3%、「いいえ」と答えた方が 23.6%となっています。

男女別では、「はい」と答えた方が男子(62.2%)よりも女子(77.6%)の方が多くなっています。

益子町が好きな理由については、自然が豊かだから、益子焼やいちごなど全国的にも有名なものがあるから、地域の人たちが優しいから、などが挙げられています。

一方、好きではない理由については、何もないから、お店が少ないなど不便だから、遊ぶところが少ないから、などが挙げられています。



■好きな理由（○内は同様の趣旨の記述の数を示す）

※本質問に対しては、これらの他にも様々な記述がありましたが、本報告書では、それらのうち、主だったものについてのみ、記載しています。

◇自然が豊かだから。(47)

◇陶器市などのイベントもあるから。(8)

◇益子焼やいちごなど全国的にも有名な物があるから。(16)

◇地元だから。(6)

◇地域の人たちが親切で優しいから。(10)

◇特にはない、なんとなく(6)

◇空気がきれいだから。(9)

■好きではない理由（○内は同様の趣旨の記述の数を示す）

※本質問に対しては、これらの他にも様々な記述がありましたが、本報告書では、それらのうち、主だったものについてのみ、記載しています。

◇何もないから。(10)

◇益子に住んでないから。(3)

◇お店が少ないなど不便だから。(7)

◇理由なし。(2)

◇遊ぶところが少ないから。(3)

第4節 益子町を良くしていくために必要だと思うこと

問5 あなたは、益子町をもっと良くしていくためには何が必要だと思いますか？【〇はいくつでも】

	性別				合計	
	男子		女子		人数	割合
	人数	割合	人数	割合		
(1)山や川などの自然環境を大事に 守り育てること	19	42.2%	52	53.1%	72	48.6%
(2)人や自転車などが安心して通行 できる道路を整備すること	21	46.7%	57	58.2%	79	53.4%
(3)学習施設（図書館や公民館など） が充実していくこと	6	13.3%	26	26.5%	32	21.6%
(4)体育施設（運動公園や体育館 など）が充実していくこと	14	31.1%	18	18.4%	32	21.6%
(5)スポーツ活動、サークル活動など が充実していくこと	16	35.6%	17	17.3%	33	22.3%
(6)子どもが安心して遊べる場が 充実していくこと	13	28.9%	40	40.8%	53	35.8%
(7)子どもが参加しやすいイベント などを実施していくこと	11	24.4%	20	20.4%	31	20.9%
(8)高齢者や障がい者が安心して 暮らせるまちにしていくこと	13	28.9%	38	38.8%	51	34.5%
(9)若い人たちが暮らせるよう働く場 や住まいを確保していくこと	17	37.8%	40	40.8%	57	38.5%
(10)健康づくりの場や医療体制などが 充実していくこと	11	24.4%	17	17.3%	29	19.6%
(11)ごみの減量化やリサイクルなどの 環境対策を進めていくこと	17	37.8%	25	25.5%	44	29.7%
(12)消防・防災対策を充実していく こと	10	22.2%	11	11.2%	21	14.2%
(13)交通事故や犯罪がない安全・ 安心なまちにしていくこと	22	48.9%	39	39.8%	63	42.6%
(14)その他	2	4.4%	4	4.1%	6	4.1%
無回答	2	4.4%	1	1.0%	5	3.4%
合計	45	100.0%	98	100.0%	148	100.0%

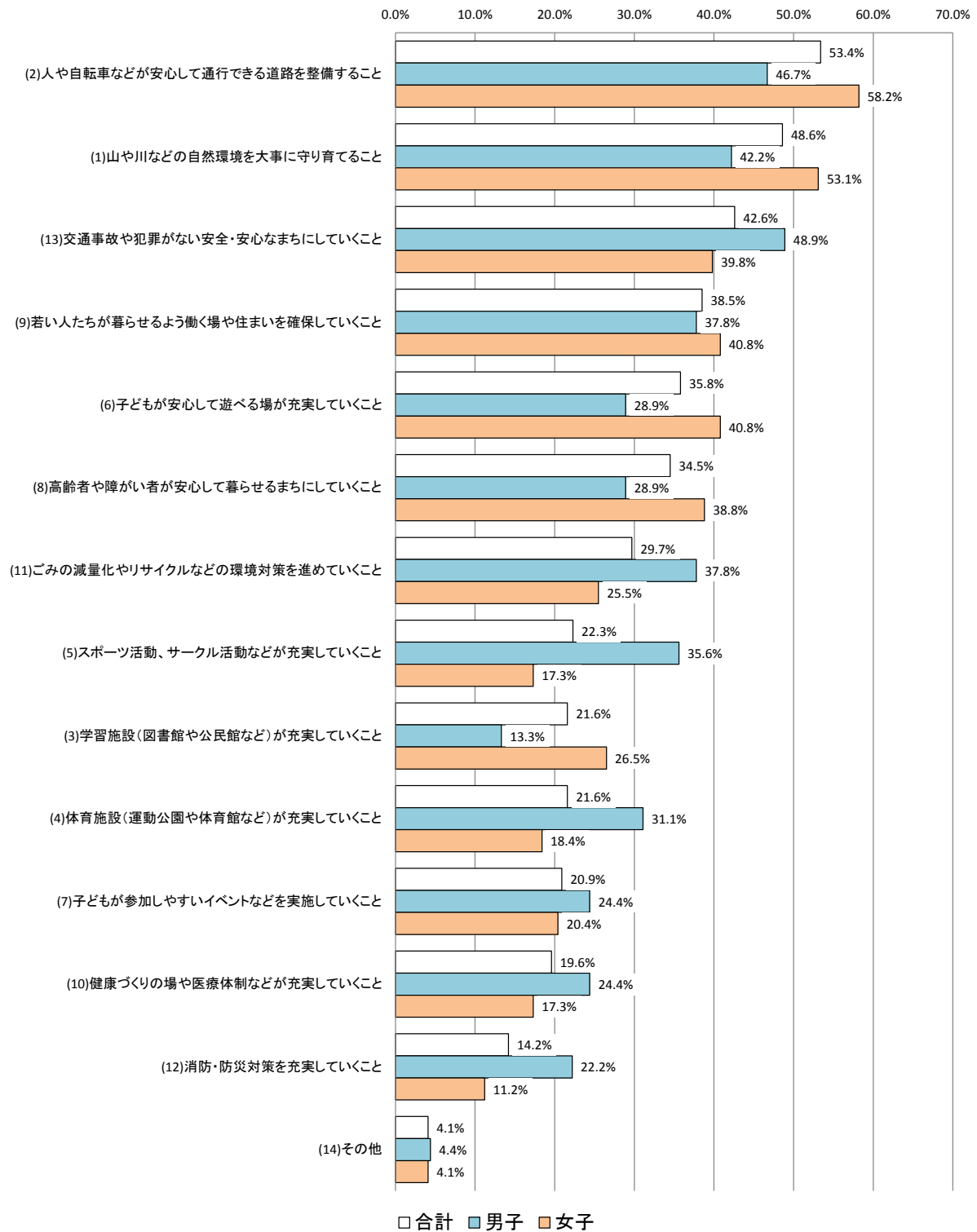
益子町をもっとよくしていくために必要だと思うことについては、全体では「人や自転車などが安心して通行できる道路を整備すること」（53.4%）が最も多く、次いで「山や川などの自然環境を大事に守り育てること」（48.6%）、「交通事故や犯罪がない安全・安心なまちにしていくこと」（42.6%）の順になっています。

男子では、「交通事故や犯罪がない安全・安心なまちにしていくこと」（48.9%）が最も多くなっています。

■「その他」の記述内容

- ◇遊び場。
- ◇大きなデパートやお店を作ればいい。
- ◇街灯をもっと増やすべき。
- ◇コスプレのイベントをいれてほしい。
- ◇ファミレスやカラオケなどゆったりした遊べる場がほしい。
- ◇他の地域から来る人達もいるので観光できる場所を充実していくこと。

益子町を良くしていくために必要だと思うこと（複数回答）



問6 あなた自身は、益子町を良くするために何ができると思いますか？

益子町を良くするために自分自身でできると思うことについては、ごみ拾い、ボランティアに参加する、イベント、行事への参加、などの意見が出されています。

■益子町を良くするために自分でできると思うこと

- ◇ごみ拾い。(45)
- ◇色々なボランティアに参加する(38)。
- ◇イベント、行事への参加。(12)
- ◇ポイ捨てをしない。(11)
- ◇町の人たちとの交流を深めていく。(5)
- ◇挨拶をする。(5)
- ◇きれいにするために掃除をする。(4)
- ◇ごみの減量・リサイクル(4)
- ◇ごみの分別。(4)
- ◇自然を大切にする。(3)
- ◇特になし。(3)
- ◇何もできない。(3)
- ◇安全に生活していく。
- ◇応援。
- ◇お店を増やす。
- ◇交通事故を起こさない。
- ◇道路整備が狭いので広くしたい。
- ◇充分。
- ◇困っている人がいたら声をかけて助ける。
- ◇バリアフリーをもっと増やすこと。
- ◇募金。
- ◇益子焼など古い伝統を続けていくのはもちろん、もっと新しいことも取り入れた方がいいと思う。(個人として、益子＝益子焼のイメージしかない)
- ◇マナーやルールをよく守る。
- ◇もっと住みやすくする。

第5節 大人になったら益子町に住みたい(住み続けたい)と思うか

問7 あなたは、大人になったら益子町に住みたい(住み続けたい)と思いますか？

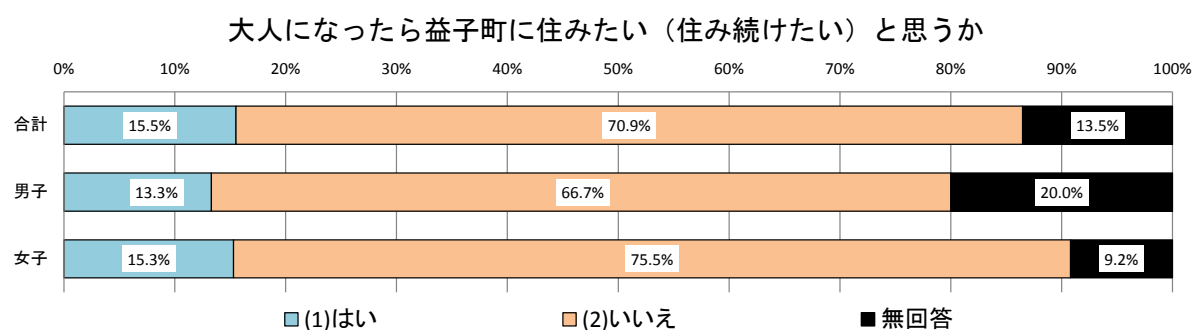
	性別				合計	
	男子		女子		人数	割合
	人数	割合	人数	割合		
(1) はい	6	13.3%	15	15.3%	23	15.5%
(2) いいえ	30	66.7%	74	75.5%	105	70.9%
無回答	9	20.0%	9	9.2%	20	13.5%
合計	45	100.0%	98	100.0%	148	100.0%

大人になったら益子町に住みたい(住み続けたい)と思うかどうかについては、「はい」と答えた割合が15.5%、「いいえ」と答えた割合が70.9%となっています。

男女別では、「はい」と答えた割合が女子(15.3%)の方が男子(13.3%)よりも多く、「いいえ」と答えた割合も女子(75.5%)の方が男子(66.7%)よりも多くなっています。

住みたい(住み続けたい)理由については、自然が豊かで住みやすい、住み慣れている、自分が育った町だから、などが挙げられています。

一方、住みたくない(住み続けたくない)理由については、今住んでいる地域で満足している、買い物や交通などが不便、働くところがない、などが挙げられています。



■住みたい(住み続けたい)理由(○内は同様の趣旨の記述の数を示す)

※本質問に対しては、これらの他にも様々な記述がありましたが、本報告書では、それらのうち、主だったものについてのみ、記載しています。

◇自然が豊かで住みやすい環境であるから。(6)
◇住み慣れているから。(5)

◇自分が育った町だから。(4)
◇のどかだから。(2)

■住みたくない(住み続けたくない)理由(○内は同様の趣旨の記述の数を示す)

※本質問に対しては、これらの他にも様々な記述がありましたが、本報告書では、それらのうち、主だったものについてのみ、記載しています。

◇今住んでいる地域で満足しているから。(21)
◇買い物や交通などに不便を感じるから。(19)
◇働く所が少ないから。(9)
◇大人になったら都会に住んでみたいから。(9)

◇特にない、なんとなく。(9)
◇将来は別の場所に住みたいから。(8)
◇自分の夢があるから。(6)
◇何もないから。(6)

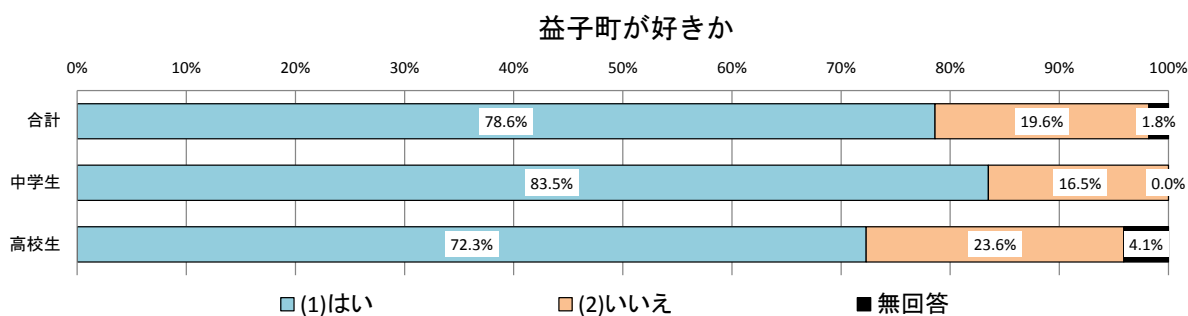
第4章 中学生／高校生アンケート結果の比較

第1節 益子町が好きか

問4 あなたは、益子町が好きですか？

	中高区分				合計	
	中学生		高校生		人数	割合
	人数	割合	人数	割合		
(1)はい	157	83.5%	107	72.3%	264	78.6%
(2)いいえ	31	16.5%	35	23.6%	66	19.6%
無回答	0	0.0%	6	4.1%	6	1.8%
合計	188	100.0%	148	100.0%	336	100.0%

益子町が好きかどうかについては、「はい」と答えた割合が中学生（83.5%）の方が高校生（72.3%）よりも高くなっています。



第2節 益子町を良くしていくために必要だと思うこと

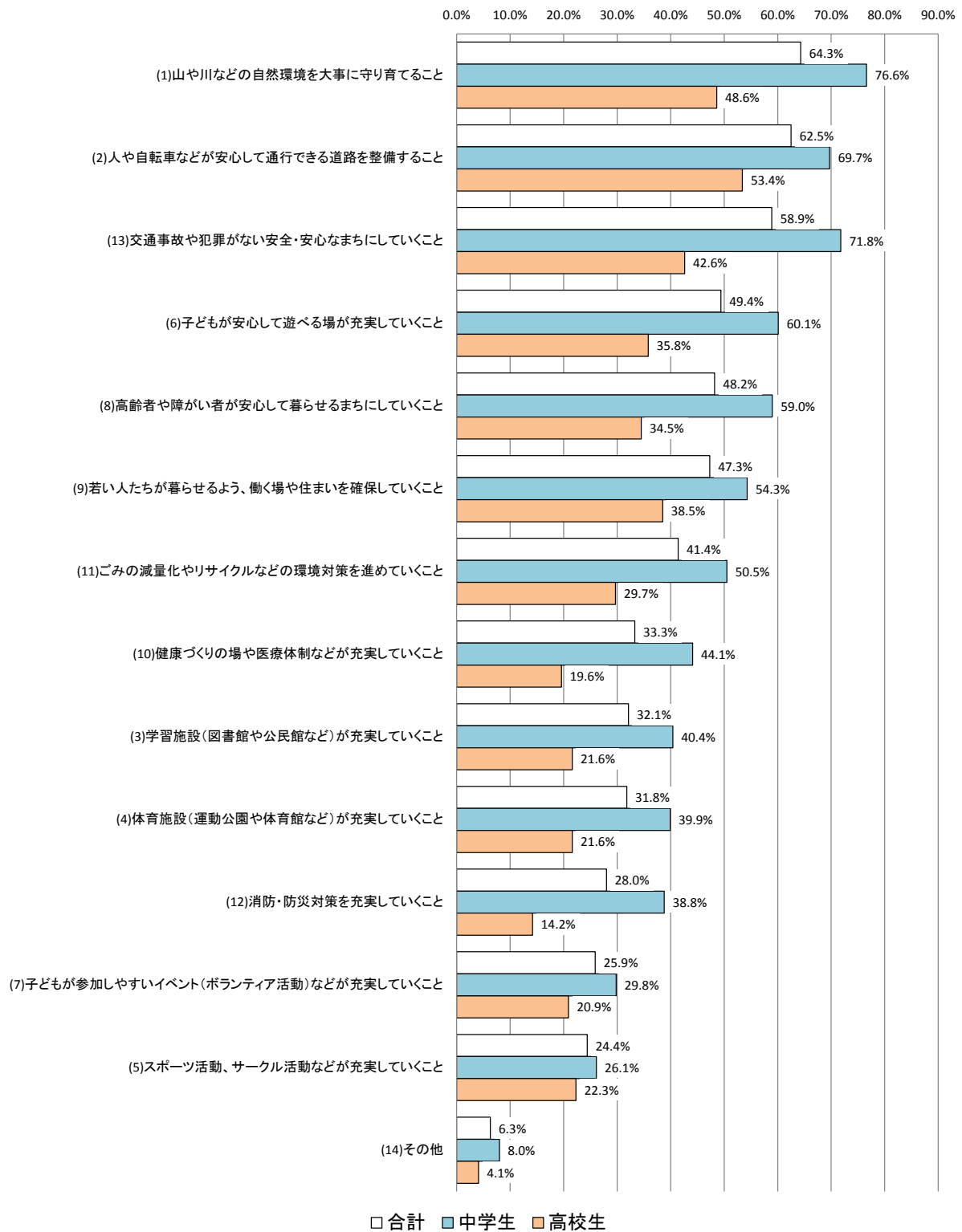
問5 あなたは、益子町をもっとよくしていくためには何が必要だと思いますか？【〇はいくつでも】

	中高区分				合計	
	中学生		高校生		人数	割合
	人数	割合	人数	割合		
(1)山や川などの自然環境を大事に守り育てること	144	76.6%	72	48.6%	216	64.3%
(2)人や自転車などが安心して通行できる道路を整備すること	131	69.7%	79	53.4%	210	62.5%
(3)学習施設（図書館や公民館など）が充実していくこと	76	40.4%	32	21.6%	108	32.1%
(4)体育施設（運動公園や体育館など）が充実していくこと	75	39.9%	32	21.6%	107	31.8%
(5)スポーツ活動、サークル活動などが充実していくこと	49	26.1%	33	22.3%	82	24.4%
(6)子どもが安心して遊べる場が充実していくこと	113	60.1%	53	35.8%	166	49.4%
(7)子どもが参加しやすいイベント（ボランティア活動）などが充実していくこと	56	29.8%	31	20.9%	87	25.9%
(8)高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちにしていくこと	111	59.0%	51	34.5%	162	48.2%
(9)若い人たちが暮らせるよう、働く場や住まいを確保していくこと	102	54.3%	57	38.5%	159	47.3%
(10)健康づくりの場や医療体制などが充実していくこと	83	44.1%	29	19.6%	112	33.3%
(11)ごみの減量化やリサイクルなどの環境対策を進めていくこと	95	50.5%	44	29.7%	139	41.4%
(12)消防・防災対策を充実していくこと	73	38.8%	21	14.2%	94	28.0%
(13)交通事故や犯罪がない安全・安心なまちにしていくこと	135	71.8%	63	42.6%	198	58.9%
(14)その他	15	8.0%	6	4.1%	21	6.3%
無回答	0	0.0%	5	3.4%	5	1.5%
合計	188	100.0%	148	100.0%	336	100.0%

益子町をもっとよくしていくために必要だと思うことについては、全体では「山や川などの自然環境を大事に守り育てること」（64.3%）が最も多く、次いで「人や自転車などが安心して通行できる道路を整備すること」（62.5%）、「交通事故や犯罪がない安全・安心なまちにしていくこと」（58.9%）の順になっています。

中学生では「交通事故や犯罪がない安全・安心なまちにしていくこと」（71.8%）が2番目に、高校生では「人や自転車などが安心して通行できる道路を整備すること」（53.4%）が最も多くなっています。

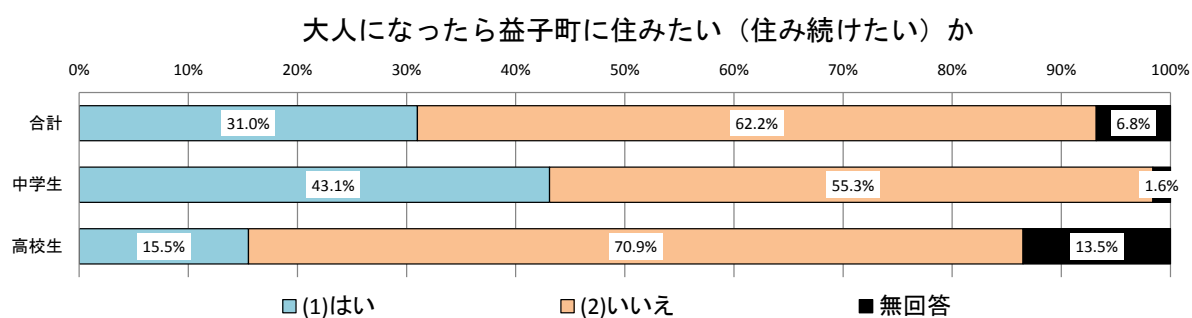
益子町を良くしていくために必要だと思うこと（複数回答）



第3節 大人になったら益子町に住みたい（住み続けたい）か

	中高区分				合計	
	中学生		高校生		人数	割合
	人数	割合	人数	割合		
(1)はい	81	43.1%	23	15.5%	104	31.0%
(2)いいえ	104	55.3%	105	70.9%	209	62.2%
無回答	3	1.6%	20	13.5%	23	6.8%
合計	188	100.0%	148	100.0%	336	100.0%

大人になったら益子町に住みたい（住み続けたい）かどうかについては、「はい」と答えた割合が中学生（43.1%）の方が高校生（15.5%）よりも高くなっています。



第5章 自由意見

※自由意見については、誤字・脱字を訂正したうえで、代表的な意見の要旨のみ、記載しています。また、下記に分類した7項目以外にも様々な記述がありましたが、本報告書では省略しています。

第1節 中学生

問8 自由意見 * 益子町の未来に向けて、あなたの思いをお聞かせください。

1. きれいなまちに

- ◇今の益子町よりも環境や美化などを良くしたり、交通の方も便利になるといい。今の自然を大切に、今の若い世代の人たちも暮らしやすい益子町を町長さんをはじめ、益子町民皆の力で作ってきたい。
- ◇川が昔のようにきれいになってると良いと思う。
- ◇公園の整備や、使っていない大きな建物のある土地の整備、自然を整えたりすればきれいになると思う。

- ◇もっとゴミの少ない、きれいな町にしたい。
- ◇もっと町をきれいに、今のままの自然な感じを残していきたい。また、自分も何か益子町に協力できるようになりたい。今のままでもいい町だと思います。

2. 楽しいまちに

- ◇すべての場所で多くの人が楽しく暮らせるように頑張ってください。
- ◇学生とかが遊べる所も作ってほしいです。(ゲームセンターなど) 益子にそういう所は、なんとなく似合わないけど、あったら嬉しいです。
- ◇映画館をつくってほしいです。

- ◇益子町には、小さなお店しかなく、子供達が楽しめる場所も少ないと思います。だから、大きなお店や楽しめる施設が増えれば、よりよい町になると思いました。
- ◇もう少しイベントを増やしてほしい。ゲームセンターを作してほしい。

3. 便利なまちに

- ◇色々な施設を増やして、都市的にして行ってほしいです。
- ◇大きい図書館がほしいです。
- ◇お店などを増やした方がいいと思いました。

- ◇電車の料金が安い。道路が整備されていない所や狭い所が多い。
- ◇便利でもあり、自然が豊かな町になってほしい。

4. 安全・安心なまちに

- ◇安心して暮らせて、今よりもっと自然がきれいになってほしいです。
- ◇外灯を増やして、道路を安全に走れるようにしてほしい。
- ◇事件や事故のない安全な町にしたいと思う。

- ◇道路の整備をしっかりとの方がいいと思います。
- ◇犯罪が少なく、自然が多くて、とても住みやすい町にしたい。

5. 自然を大切にするまちに

- ◇産業の発展と自然の保護を上手く両立させてほしい。
- ◇自然がいつまでも豊かで、住みやすい町になれば良いなあと思います。
- ◇自然環境を大切にしつつ、色々な施設を充実させてほしい。

- ◇益子町の豊かな自然をのこして行ってほしい。益子町に訪れた人がのどかでほっとするいい場所だと思えるような居心地の良い場所になってほしい。
- ◇山や川などの環境をきれいに守るのが大切だなと思います。

6. 文化を発信するまちに

- ◇あまり益子町の益子焼など知らない人がいると思うので、広告などを使ってもっと益子町の益子焼を伝えた方がいいと思います。
- ◇益子には「益子焼」という世界に誇れる文化財があります。それを、後世に伝えていくために、益子町民が協力していかなければならないと思います。
- ◇益子町は焼物で有名なので、それを生かした産業などが発展するととても良いと思います。それ以外にもたくさんの

- ことで益子町が有名になってもらえるとうれしいです。益子町は住みやすく静かで過ごしやすい地域だと思います。この静かで豊かな環境を守りながらさらに発展するとうれしいです。
- ◇益子焼以外では観光客が来ないので、そのほかの事業にも力をいれて、誰でも来やすい町をつくっていったほうがいいのではないかと思います。
- ◇益子町のことを日本中に知ってもらいたい。

7. やさしいまちに

- ◇お年寄りが安心して暮らせる町にしてください。
- ◇観光で来る人達などが優先ではなく、益子町に住んでいる人達の事も考え、学校などの施設にも力を入れてほしい。
- ◇たくさんの人が自己主張して、いろんな意見を出し合い、

- 大きな声で挨拶ができる町。笑顔があふれる、生き生きとした自然環境が保たれている町にしていきたいと思う。
- ◇将来の子供達も住みやすいような環境。
- ◇みんなが安心できる所を増やせばいいと思う。

第2節 高校生

問8 自由意見 * 益子町の未来に向けて、あなたの思いをお聞かせください。

1. きれいなまちに

◇今以上にもっとキレイになっていることを願います。
◇これからも自然豊かで住みやすい益子町でいられるように

掃除をしたりして協力していきたいと思いました。

2. 楽しいまちに

◇地元ではないため、益子に遊びに行きたくなるような施設があるといいと思う。(茂木住人ですが、益子に遊びに行くことがないので)
◇イベントがたくさんあるのに、若い人達にあまり情報が届

かないでいるので届くようにしたらもっと活気がつくと思います。
◇お店が充実して、楽しい町になってほしいです。
◇もっと学生が楽しめる場所を作ってもらえると嬉しいです。

3. 便利なまちに

◇少しお店が少なすぎではないでしょうか。駅の近くにも、もっとたくさんのお店があれば人はたくさん来ると思います。例えば、ゲームセンターを作れば益子の小中学生は電車を使うことなく益子でゲームセンターに通うことができます。小中学生の目線になって考えてもらうことが一番の改善案なのかなと思います。

◇体育館の設備をもっと良くしてほしい。
◇とにかくお店を増やしてほしいです。
◇もう少し均等に店をならべてください。何も無い所は本当に何もなくてとても不便です。
◇もっと服とか買えるショッピングモールがほしい。

4. 安全・安心なまちに

◇観光客が安全に通れる歩道、また子供達の登下校の歩道の整備をしてほしいです。
◇交通事故や犯罪がない、安全な町にしたいです。誰もが暮らしやすい町にしたいです。

◇道路が狭いので、交通事故にあわないように道路を整備してほしい。
◇病院がもう少しあると良いと思いました。
◇街灯や歩道を増やしてほしい。

5. 自然を大切にするまちに

◇このまま自然環境を大切にしていってほしい。
◇山、川など自然が豊かなので、もっとよくなるために守り続けること。
◇益子町とにかく自然が豊かで空気がとてもキレイだと思います。これからももっと自然環境を意識して生活していけば、未来の益子町はより良くなっていくと思いました。
◇益子町は、たくさんの取り組みをされていてすごいと思いま

す。以前、益子町でボランティアをした時に益子町の方々優しくいろんなことを教えてくださっていい方々たちだなと思いました。これからも、自然を大切に、益子町ならではの伝統を受け継いでいったらいいのではないかと思います。
◇益子町は本当に自然豊かな町なので、これからも続いてほしいです。

6. 文化を発信するまちに

◇観光客にもっと益子町を知ってほしいです。
◇益子焼という素晴らしいものが益子町にはあるので、それをいつまでも守り続けてほしいと思います。
◇文化財がいくつかあるので、その文化財が世界遺産に登録できるように活動でキレイば良いなと思います。そして、益子町は焼き物が有名な町なので、そういったものでもっと益

子町を他の県などに知られたらいいかなと思います。
◇益子町はとても自然豊かで、いい所がたくさんあるので、そういうところをもっとアピールしていけばいいと思う。また、陶器市なども、もっとアピールして人を寄せ集められるような企画を考えれば今よりもさらに来る人が多くなると思います。

7. やさしいまちに

◇子供も大人も住みやすい町になってほしい。
◇これからも人が住みやすいようにしていったほうがいい。

第4部 益子町第5次総合振興計画後期基本計画の施策検証結果

第1章 施策検証の概要

第1節 実施目的

益子町第5次総合振興計画後期基本計画に掲載されている123の施策について、これまでの取り組みや積み残した内容等を把握し、今後の施策の方向を検討するための基礎資料として活用することを目的とします。

第2節 検証の視点

益子町第5次総合振興計画後期基本計画においては、多岐にわたる施策の方向性や実施予定の取り組みが記載されており、それらを実施したのかどうか、成果・効果の有無について確認し、今後の必要性を見直し・検討することで、「新ましこ未来計画」における「選択と集中」による施策整理・立案を行うための参考とします。

また、庁内における連携体制の構築・情報共有のための役割も果たし、職員に日常業務の再確認を促すこと、数値的な現状把握を行うことにより、指標設定の基礎資料とします。

第3節 実施内容

まず、庁内各課に対する各課施策状況調査票により、書面調査を実施しました。
次に、この各課施策状況調査票をもとに、各課へのヒアリングを実施しました。

○平成27年2月2日：産業建設部観光商工課・農政課、民生部住民課・高齢者支援課・健康福祉課

○平成27年2月3日：産業建設部建設課、教育委員会生涯学習課・学校教育課

○平成27年2月4日：総務部総務課・税務課・企画課、民生部環境課

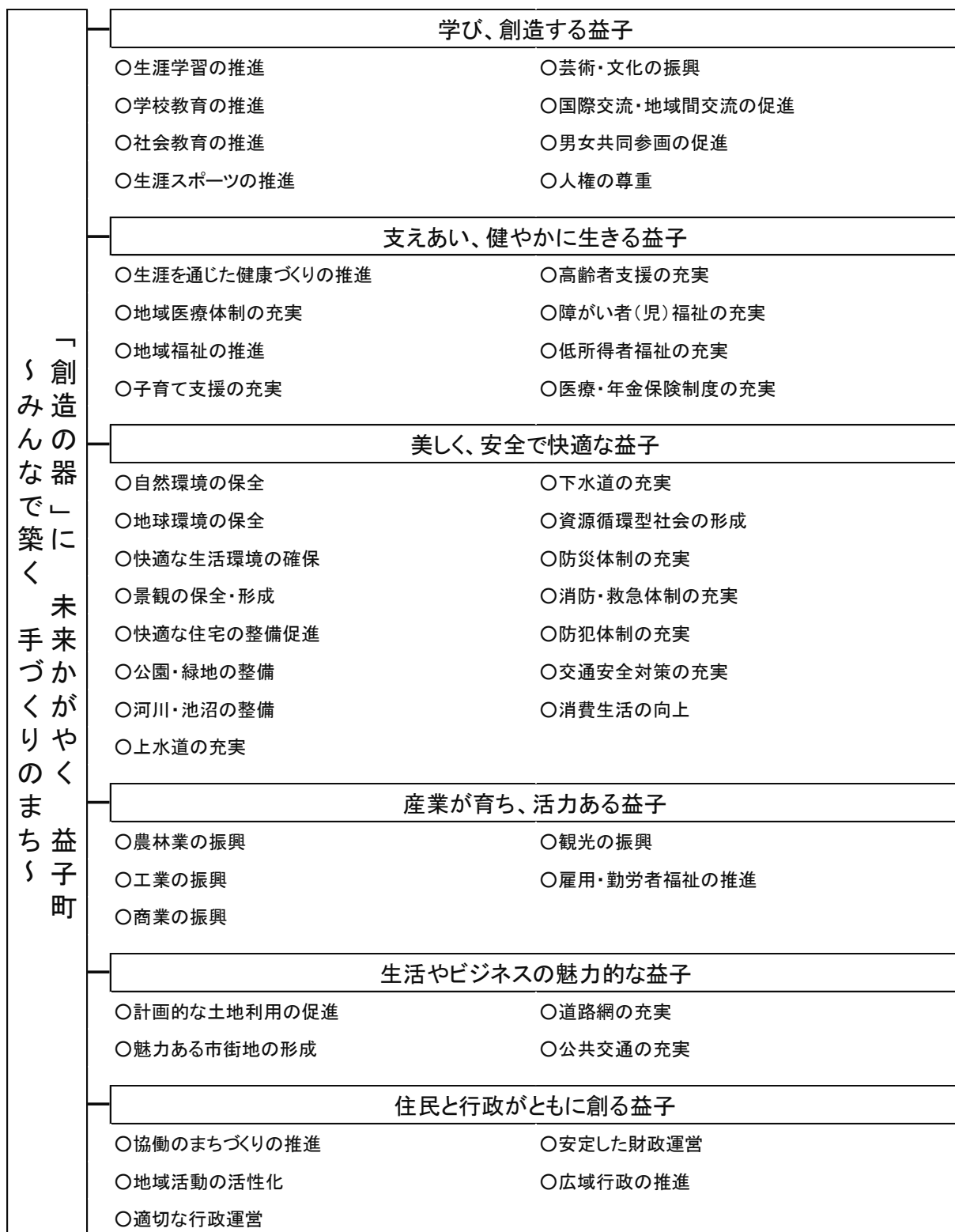
各課施策状況調査票への記入内容をベースに、ヒアリング結果による補足修正を行い、次章に整理しました。

第4節 益子町第5次総合計画後期基本計画の施策体系図

益子町第5次総合振興計画後期基本計画では、以下のような体系に基づき計画を推進しました。

将来像

基本目標と基本施策



第2章 施策検証結果

第1節 学び、創造する益子

(1) 生涯学習の推進

生涯学習の推進のため、以下のような2つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば生涯学習推進体制の強化では、ましこいきい講座で登録した町民の数が減り、年齢も上がってきているなど、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
1	生涯学習推進体制の強化	生涯学習課	・生涯学習推進員・地区推進会の合同研修の開催 ・生涯学習推進協議会の開催 ・「ましこいきい講座」及び「自主教室」の開催を支援 ・学習ガイドブックや広報ましこ、町ホームページ等による情報の発信 ・生涯学習ボランティアやボランティアコーディネーター養成講座受講費補助 ・中央公民館や改善センター、あぐり館など既存施設の有効活用	・ましこいきい講座は登録した町民58名が講師となっているが、数が減り、年齢も上がってきているため、若い人に入ってもらいたい(町からお願いしているのではなく、手を挙げた方に登録していただいている)。 ・生涯学習ボランティアや学校支援ボランティアコーディネータを育成、増やしていく必要がある。また、若返り、世代交代も課題。
2	生涯学習によるまちづくりの推進	生涯学習課	・生涯学習推進員・地区推進会の合同研修の開催 ・「ましこいきい講座」の開催 ・悠楽塾への支援 ・生涯学習振興大会「町民のつどい」の開催	・町民大学卒業生で悠楽塾が組織され、ボランティアをやっているが、後継者育成が課題。

(2) 学校教育の推進

学校教育の推進のため、以下のような4つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば学校教育内容の充実では、キャリア教育について拡大の余地があると考えられるため、今後検討する必要があるなど、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
3	幼児教育の推進	学校教育課	・幼稚園就園奨励費補助金による保護者への経済的負担の軽減 ・私立幼稚園地域子育て推進事業費補助金を活用した中学校や老人ホーム等との交流活動、親子体験事業等の実施	・幼保・小・中の連携は、これまで通り継続する必要がある。
4	学校教育内容の充実	学校教育課	・町独自学力調査の実施(平成26年度小3・中2実施) ・職場体験学習マイチャレンジ事業の実施 ・特別支援教育への就学指導(平成26年度75名) ・小・中学校社会科副読本の編集	・キャリア教育については、拡大の余地があると考えられるため、要検討。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
5	学校教育環境の充実	学校教育課	・スクールガードの協力を得て登下校時の見守り、交差点付近での立哨等を実施した。また、関係機関と連携して危険箇所の合同検査を実施した。 ・教員対象の外国語活動研修会（平成26年度 4回） ・学力調査結果報告会（年 1 回） ・学校訪問（平成26年度 13回）	・学校施設の耐震改修は平成27年度で終わり、今後5年で大規模改修は必要ないが、10年スパンでは必要になる可能性がある。
6	開かれた学校づくりの推進	学校教育課	・地域の人材や学校支援ボランティアの活用等、地域と連携した教育を推進するとともに、学校施設の開放や学校評議員による外部評価の推進等、地域との交流活動を実施。 ・地域連携教諭を配置した（平成26年度～）。	・余裕教室の活用。

（3）社会教育の推進

社会教育の推進のため、以下のような5つの施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば家庭や地域の教育力の向上では、家庭教育学級を開催していますが、家庭教育を必要とする人がいても参加しないなど、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
7	家庭や地域の教育力の向上	生涯学習課	・家庭教育学級の開催	・家庭教育を必要としている人がいても、参加しないというのが課題。保健センターなどと連携しての訪問により、ニーズを引き出すことなども必要と考えられる。
8	社会教育活動の促進	生涯学習課	・「ましこいきいき講座」及び「自主教室」の開催 ・青少年、女性関係等の講演会の開催 ・育成会長研修会の開催 ・オピニオンリーダー研修会の情報提供 ・町女性団体連絡協議会会議の開催	・継続的な事業の実施。
9	青少年教育の推進	生涯学習課	・町・県イベントへのジュニアリーダー、ユースリーダーの参加 ・ジュニアリーダー・ユースリーダー研修会への参加 ・地域懇談会の開催	・会員の確保。
10	図書サービスの充実	生涯学習課	・在庫がない蔵書についてリクエストカードによる対応 ・ボランティアによる開館時間の延長 ・絵本の読み聞かせの実施（年10回） ・移動読書教室の実施	・蔵書の充実。 ・図書館整備への住民ニーズの高まりへの対応。
11	社会教育施設の整備・充実	生涯学習課	・バリアフリー化（トイレの洋式化） ・老朽化対策（照明器具修繕・ブラインド修繕・建具修繕・畳表張替） ・施設の有効活用（合唱や楽器演奏 リハーサル室のほか、視聴覚室で対応等）	・社会教育施設等の計画的な修繕・耐震化や充実、施設の有効活用や機能的な運営方法の検討が必要。

(4) 生涯スポーツの推進

生涯スポーツの推進のため、以下のような3つの施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えばスポーツ施設の整備・充実面では、老朽化などの問題もあり、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
12	スポーツ・レクリエーション活動の推進	生涯学習課	・H25年2月益子町総合地域スポーツ（まじこチャレンジクラブ）設立 H23年3月北公園にターゲットバードゴルフ場を整備を契機に町ターゲットバードゴルフクラブの設立、H25年10月にグランドゴルフ協会の設立等、軽スポーツの普及に努めた。 ・H25年総合型地域スポーツクラブの設立（H26年、580名）により、子供から高齢者までの様々なスポーツ教室が開催されるようになった。子供たちに夢、目標をもってもらうことを目的に一流アスリートを講師迎え、小・中学生を対象に「少年スポーツ教室」を8種目を毎年開催している。また、ニュースポーツの出前講座を行い小中学校や、自治会へのスポーツへの参加意識を高めている。	・継続的な事業の実施。
13	スポーツ団体への支援と指導者の育成	生涯学習課	・H23年9月ターゲットバードゴルフクラブ設立（30名）、H25年10月グランドゴルフ協会設立（120名）。いずれも町体育協会に加盟。 ・スポーツ推進委員の研修会等への参加や、各スポーツ少年団の認定指導員の研修会への参加支援を行った。	・就学前の子どもがスポーツにアクセスしやすくする支援を検討していく必要がある。
14	スポーツ施設の整備・充実	生涯学習課	・H24年2月南運動公園テニスコートにナイト照明設備を設置、H23年7月町民びわこ体育倉庫建替を行った。 ・北公園や南運動公園等の施設の適切な維持管理と有効利用に努めた。	・各種施設の老朽化への対応。

(5) 芸術・文化の振興

芸術・文化の振興のため、以下のような4つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば文化施設の充実では、町民会館の老朽化が進むなど、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
15	文化財の保護と継承	生涯学習課	・文化財ガイド養成講座の開設（H24年198名、H25年258名、H26年271名）：歴史めぐり（H26年2回64名）講演会（51名） ・文化財パトロール年間12回：発掘・試掘調査（H24年3件、H25年3件、H26年1件） ・民俗芸能維持等保存交付金（3万円：10件、2万円：11件）	・文化財ガイド養成講座の継続。 ・発掘した文化財の管理・活用。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
16	文化・芸術活動の促進	生涯学習課	- 文化祭参加者（H23 年 405 人、H24 年 570 人、H25 年 558 人、H26 年 519 人） - 芸術祭を毎年1～2部門円滑に実施 - 住民参加型の事業を実施（アマチュアバンドコンサート、音楽祭、第九合唱団 H25 年～）、若手音楽家支援コンサートの実施（H26 年～） - 文化協会への継続的支援の実施	継続的な事業の実施。
17	文化施設の充実	生涯学習課	- H23 年災害復旧関連 50,135 千円、ホワイエ天井雨漏り工事 870 千円 - H24 年音響設備改修 2,890 千円、雨樋修繕 777 千円、冷暖房用ポンプ修繕 767 千円 - H25 年楽屋トイレ洋式化 1,050 千円、自動火災報知器更新 1,680 千円、雨樋修繕 966 千円、冷暖房用ポンプ修繕 - H26 年トイレ改造工事 5,076 千円、ボイラー燃焼系・電装系部品交換 931 千円、フェンス修繕 856 千円	町民会館の老朽化への対応。
18	新たな文化の創造	生涯学習課	里山芸術祭の開催（H24 年 4 会場 1,527 人、H25 年 3 会場 1,466 人、H26 年 1 会場 1,000 人）	- 日本遺産認定に向け、歴史文化基本構想の策定などの取組強化。 - 中世遺産についての情報発信（住民も含めて）に力を入れていく必要がある。

（6）国際交流・地域間交流の促進

国際交流・地域間交流の促進のため、以下のような3つの施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば地域間交流の促進では、今後、陶芸美術館企画と交流館事業の相互補完による事業効果を考えながら展覧会内容を考えていく必要があるなど、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
19	国際交流の促進	学校教育課	- H23～25 年度では毎年、4 小学校に 2 名、3 中学校に 2 名、 - H26 年度は 4 小学校に 3 名、3 中学校に 2 名の外国語指導助手（ALT）の派遣を実施。 - 中学生海外派遣は、H23 年：オーストラリア、H24・25 年：イギリスへ中学生 12 名を派遣。H25 年からは、小学生のイングリッシュキャンプを実施。	継続的な事業の実施。
20	外国人への支援の充実	総務部総務課	- 外国人来庁者窓口応対用、指差し会話板作成 - 外国人生徒（中国）に対して住民や宇都宮大学の学生ボランティアを活用した。	町内在住外国人の町への要望把握。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
21	地域間交流の促進	産業建設部観光商工課	・H23 年度は国際交流の一環として年間 4 つの海外陶芸家紹介企画展を開催。 ・H24 年度濱田が出会った魅惑の近代において濱田のグローバリズムを紹介。 ・H25 年度益子&セント・アイヴス友好都市締結記念 REACH SCHOOL 展を開催し、国際交流を美術館として推進補助出来た。 ・H26 年度 敷地内に益子国際工芸交流館を建設し、H26 年度と 27 年度を交流館の周知期間として英国の作家を招聘。12 月までに 2 名のイギリス人陶芸家を招待して順調に交流館が動き出した。 ＊美術館における企画展は各年ごとのスケジュールに従い順調に実施されている。	・交流館事業は周知期間ということで、これから本格的に招聘事業を始めるということは、人を預かる体制を本格的に整えるということも必要。 ・陶芸美術館企画と交流館事業の相互補完による事業効果を考えながら展覧会内容を考えていく必要がある。

(7) 男女共同参画の促進

男女共同参画の促進のため、以下のような3つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば男女共同参画意識の醸成では、平成 24 年 3 月に男女共同参画プランを策定しましたが、周知の面など、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
22	男女共同参画意識の醸成	生涯学習課	・ポスター・リーフレットの掲示 ・みんなのつどい（講演会）の開催 ・町主催事業による学習機会の提供	・全体的な男女共同参画意識の醸成。 ・男女共同参画プランの周知。 ・子育て世代への働きかけ。
23	男女共同参画の環境づくり	民生部健康福祉課・高齢者支援課、生涯学習課	・延長保育や一時的保育など保育サービスの実施やファミリーサポートセンターの開設 ・地域密着型特別養護老人ホームの開設 ・意識啓発等のポスター・リーフレットの掲示 ・ワーク・ライフ・バランスを含め、男女共同参画について広報紙に掲載 ・DVについて、ポスター・リーフレットの掲示や県の機関との連携・相談体制の充実	・継続的な事業の実施。
24	女性が活躍するまちづくり	生涯学習課	・委員会での女性の登用 ・女性講座の開催 ・県次世代人材づくり事業、オピニオンリーダー研修会など学習機会の提供	・学習講座などでの託児サービスの展開等。

(8) 人権の尊重

人権の尊重を促進するため、以下のような2つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。今後も、これまでの取り組みを継続していくことが必要とされます。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
25	人権意識の高揚	総務部総務課	- 毎年、小学校1校で人権の花運動を実施（2回）。 - 毎年、中学校1校で人権映画会を実施。 - 一般を対象にした人権講演会の開催（平成24年度）。 - イベント会場などでの人権啓発活動。 - 人権啓発ポスターやパンフレット等の配布。	活動を継続していく必要がある。
26	人権擁護体制の充実	総務部総務課	- 特設人権相談所の開設 - イベント時の人権相談所開設（H24年度） - 社会福祉施設での人権相談所開設（H23年度、H25年度）	継続的な事業の実施。

第2節 支えあい、健やかに生きる益子

(1) 生涯を通じた健康づくりの推進

生涯を通じた健康づくりの推進のため、以下のような4つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できた。今後の課題として、主体的な健康づくりの促進では、自主グループに新しく加入する方々をどう巻き込んでいくかなど、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
27	主体的な健康づくりの促進	民生部健康福祉課	・笑いヨガ自主グループの育成（H25年～）	・自主グループの育成と活動支援。
28	健康増進支援事業の充実	民生部健康福祉課	・任意ワクチン助成開始：H24年4月～成人肺炎球菌、H25年4月～水痘、成人風疹（MR）、H26年10月～任意インフルエンザ ・新型インフルエンザ行動計画策定（H25年） ・土曜、日曜健診の日数増加 ・増進計画中間評価 ・歯科条例制定準備	・健康診査の充実と受診者数の増。 ・若い人（30歳）の歯科検診の町単独実施。 ・糖尿病予防・歯周病予防のため、「噛む」パワーアップ事業の推進。
29	母子保健事業の充実	民生部健康福祉課	・Nobody's Perfect（H23年～：養成） ・育てにくい子対策としての療育環境の拡充（H25年～：指導員2人体制）、リトミック教室（H24～）。	・療育指導者の専門指導員の確保（心理士、言語療法士など）。 ・専門的療育機関の不足。
30	健康増進体制の充実	民生部健康福祉課	・保健センターの修繕・工事に努めた。 ・研修会等に参加し、専門職員の資質向上に努めた。	・専門職員の資質向上。

(2) 地域医療体制の充実

地域医療体制の充実のため、以下のような2つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、地域医療体制の充実では、医療・介護・福祉の連携強化が必要です。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
31	地域医療体制の充実	民生部健康福祉課	・かかりつけ医啓発チラシの配布、HPへの掲載によるかかりつけ医の普及に努めた。	・在宅医療充実のため、医療・介護・福祉の連携強化。
32	救急医療体制の充実	民生部健康福祉課	・休日担当医のお知らせ版、HPへの掲載による休日当番の医療体制を紹介してきた。	・休日・夜間救急医療体制の充実。

(3) 地域福祉の推進

地域福祉の推進のため、以下のような2つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、今後はより一層の取り組みが必要です。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
33	地域福祉の推進体制づくり	民生部健康福祉課	・社会福祉協議会へ補助金を交付	・社会福祉協議会の体制強化。
34	地域福祉意識の醸成と活動の促進	民生部健康福祉課	・毎年、福祉まつりの実施。 ・毎年、心身障がい児者ふれあい事業の実施。 ・中高生を対象にボランティア初歩講座を開催。 ・各学校等に出張しボランティア事業を実施。	・各種ボランティアグループの育成・支援。

(4) 子育て支援の充実

子育て支援の充実のため、以下のような4つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、今後はより一層の取り組みが必要です。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
35	子育て支援の強化	民生部健康福祉課	・障がい児に対応する専門職員の配置が今年度3箇所になり、より個別に保育できることで、さらに安心して過ごせる居場所づくりを確保することができた。 ・待機児童ゼロ。	・さらに安心して過ごせる居場所づくり。
36	子育て支援の強化	民生部健康福祉課	・児童手当の支給やこども医療費の助成を図るなど、子育て家庭を支援。 ・既存の保育サービスの一層の充実を図るとともに、保育所の定員の見直しや新たな保育ニーズへの対応に努めた。 ・認可外保育施設や民間の保育サービスとの連携や活用に努めた。 ・子育てや家庭での子どもに関する不安や悩みを解消するため、地域子育て支援センター等における情報提供・相談体制の充実を図った。 ・子育てサークル等での子育て交流活動を促した。 ・児童虐待の発生防止と早期発見、被害児童への迅速な対応を図るため、関係機関との連携強化を進めた。	・子育てに関する新たなニーズの発見と対応。 ・子ども子育て支援法に基づく新制度でのサービスの展開。
37	ひとり親家庭への支援	民生部健康福祉課	・ひとり親になってしまった家庭に対して、児童扶養手当・ひとり親家庭医療費助成制度について100%の周知をして、申請を促している。また、経済的自立と生活の安定を図るため、県が行っている貸付制度の周知及び就労支援の相談をうけ、ひとり親家庭と県をつなぐ架け橋の役割ができた。	・関係機関の連携及び相談体制の充実。
38	少子化問題への対応	民生部健康福祉課	・平成26年度縁結びIT広域ネットワーク協議会の設立ができた。また、結婚相談・セミナーの開催もできた。	・実施施策の充実。

(5) 高齢者支援の充実

高齢者支援の充実のため、以下のような3つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば介護保険サービスの充実では、生活圏域ニーズ調査において、調査票が戻ってこなかった方へのケアができなかったなど、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
39	介護保険サービスの充実	民生部高齢者支援課	・通い、泊り、訪問介護といった一貫したサービスが提供できるよう、「小規模多機能型通所介護事業所」を設置したほか、施設入所待機者解消のため、「地域密着型特別養護老人ホーム」を設置した。 ・予防事業については、生活圏域ニーズ調査を基に予防事業対象者を抽出し、予防の意識高揚と普及啓発ができた。 ・認定審査員と認定調査員の自己研さんを図るため、県が実施する研修会への参加、e-ラーニングによるトレーニングを積んだほか、厚生労働省の適正化事業を実施し、アドバイスをいただくことができた。 ・適切なケアマネジメントの推進を図るため、居宅支援事業所への立入調査を行い、支給限度額に対して一定以上の割合を利用している方のプランを検証し、必要に応じてケアマネジャーに指導・改善のお願いをしてきた。 ・高齢者が抱える様々な問題については、包括支援センターと連携を取りながら解決方法を見出すことができた。	・生活圏域ニーズ調査において、調査票が戻ってこなかった方へのケア。調査票の戻ってこなかった方が、包括支援センターにおいてケアされているかどうかを確認しつつ、ケアの必要な方の掘り下げをし、町との間でケアの充実を図っていくための情報のやり取りが必要。 ・包括支援センターが抱える高齢者の問題は、年を重ねるごとに増している状況。これに耐えるだけの人員の確保が課題。 ・認知症について住民に知識を持ってもらう必要がある。 ・H18年度から包括支援センターが中心となって地域ケア会議を構築したが、今般の法整備によって内容が追加されて担う内容も広がったため、枠組みを修正しながら益子に合ったものを構築していく必要がある。 ・小規模特養の稼働。 ・成年後見について、町内で扶助・助成が必要な方がいるが、町がどの時点から介入することができるのか、迅速化を図るためにも、マニュアルを整備する必要がある。
40	生活支援の充実	民生部高齢者支援課	・いきいき在宅生活支援事業及びゆうあい訪問事業により、一人暮らし高齢者への見守りや訪問を実施。 ・見守り給食サービス事業により昼食用弁当を高齢者宅へ配達。 ・緊急通報システムの機器を、一人暮らし高齢者で体に不安のある希望者へ貸し出した。	・日常的な生活支援について、生活に不安のある高齢者に対し、事業所や住民ボランティア等、地域で支えていく仕組みづくりを進めること。
41	社会参加の促進	民生部高齢者支援課	・高齢者の社会参加の促進として、ましこふれあいサロンの整備やましこチャレンジクラブの設立、生涯学習として高齢者学級等の充実を図った。シルバー人材センターの会員数を増やしてきた。	・老人クラブ会員減少への対応。

(6) 障がい者（児）福祉の充実

障がい者（児）福祉の充実のため、以下のような4つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば自立支援対策の推進では、地域移行のためのグループホームが芳賀郡全体でも少ないなど、個別施策では課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
42	自立支援対策の推進	民生部健康福祉課	・障がい者が地域で自立した日常生活や社会生活を送れるよう障がい福祉サービス等の充実に努めた。	・地域移行のためのグループホームの充実。 ・芳賀地区自立支援協議会の場を用いて関係機関等が連携して、整備を推進していく。 ・より一層の、職業訓練機会の充実、的確な就労が確保できるよう相談体制や情報提供の充実が必要。
43	就学・就労支援の充実	民生部健康福祉課	・H25年に就労継続支援A型が設立され福祉的就労の場が確保できた。 ・H24年、26年に相談支援事業所が設立され相談支援体制の充実が図られた。 ・障がい児に対する専門職員の配置が今年度3か所になり、より個々の障がいの特性に配慮した保育が受けられるようになった。	・県東圏域障害者就業・生活支援センターや関係機関との連携の強化。
44	社会参加活動への支援	民生部健康福祉課	・毎年、福祉まつりの開催。 ・栃木県障がい者スポーツ大会への参加。 ・H24年デマンドタクシーの運行開始。	・社会参加しやすい環境の整備。
45	人にやさしいまちづくりの推進	民生部健康福祉課	・福祉センター1F多目的トイレにH23年オストメイト対応器具の設置。	・福祉教育の充実。

(7) 低所得者福祉の充実

低所得者福祉の充実のため、以下のような2つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。今後も、これまでの取り組みを継続していくことが必要です。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
46	福祉サービスの充実	民生部健康福祉課	・生活保護の申請の受付を行い、福祉事務所の保護決定に協力し、生活保護制度の適正な運用を図った。	・福祉事務所との連携強化。
47	生活自立への支援	民生部健康福祉課	・関係機関との連携のもと、生活や就学・就労等の助言・指導を行った。平成27年4月1日に生活困窮者自立支援法が施行され、就労その他の自立に関する相談支援や、生活困窮家庭の子どもへの学習支援を行う予定。	・生活困窮世帯の早期発見と相談支援体制の充実。

(8) 医療・年金保険制度の充実

医療・年金保険制度の充実のため、以下のような2つの主要施策に取り組んでまいりましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば医療保険制度の運営では、特定健診の受診率が30%台にとどまっているなど、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
48	医療保険制度の運営	民生部住民課	・収納率の向上については税務課主導のもと国保税滞納者に対して早期対応するため、管理職も含めた特別徴収班を編制し、休日夜間の訪問徴収、滞納分析による適切な納税相談を実施するほか、短期被保険者証の交付を積極的に活用し収納率の向上対策に努めた。 ・特定健診専任保健師の採用（H25年度）・長期未受診者への家庭訪問（H25年度115人、H26年度16人） ・未受診者への電話勧奨（H25年度662人、H26年度363人） ・対象者を絞った受診勧奨（H26年度393人） ・レセプト点検外部委託（H24年度） ・ジェネリック医薬品利用希望カードの全被保険者配付（H26年度） ・継続的な広報によるPR（H24年度国保税、H25年度国保制度、H26年度特定健診）	・特定健診の受診率が30%台にとどまっているため、特定健診等実施計画に沿った目標値に向けた取り組み。 ・ジェネリック医薬品利用率の向上。
49	国民年金制度の趣旨普及の促進	民生部住民課	・国民健康保険加入時に国民年金への同時加入手続きの実施。 ・納付方法の案内、免除制度の説明を行い、未納者の増加を防ぐ。 ・年金事務所へ所得のデータを送り、免除基準に該当する方へ個別通知。 ・制度の改正について町広報紙へ記事を掲載。 ・成人式でリーフレット配付による制度周知。 ・毎週金曜日午後7時までの窓口延長による年金届出、相談の実施。 ・福祉係との情報交換により障害年金受給へ繋げた。	・国民年金制度の周知。 ・納付率の向上。

第3節 美しく、安全で快適な益子

(1) 自然環境の保全

自然環境保全のため、以下のような2つの主要施策に取り組んでいましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば自然とふれあう機会の拡大では、環境Weeksの参加者数が伸び悩んでいるなど、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
50	自然環境の保全・回復・創造	民生部環境課	・土地利用事前協議による各種規制等と整合性のとれた土地利用の実施。 ・下水道や合併浄化槽の普及促進。 ・農地・水保全管理支払交付金等による水生生物の生息空間の整備・復元等。 ・ふるさとの川一斉除草の実施。 ・森づくり県民税を使った里山の下草刈などの整備。	・継続的な事業の実施。
51	自然とふれあう機会の拡大	民生部環境課	・ふるさとの川・里山フェスティバルの実施 ・百目鬼川をきれいにする会の支援 ・水生生物調査 ・ボランティア学校 ・里山芸術祭での展示 ・環境Weeks	・環境Weeksの参加者数が伸び悩んでいる。 ・山の下草刈りができないため、イノシシが人家に出てくる。

(2) 地球環境の保全

地球環境保全のため、以下のような3つの主要施策に取り組んでいましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、エネルギーの有効活用では、公共施設等への屋根貸しによる太陽光発電事業を募集したところ、応募がなかったために、今後も引き続き募集するかどうか検討する必要があります。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
52	地球温暖化防止対策の推進	民生部環境課	・二酸化炭素等の排出削減に向けた活動の推進	・継続的な事業の実施。
53	エネルギーの有効活用	民生部環境課	・公用車や公共施設等への新エネルギーの導入 ・補助制度の実施や啓発活動の実施	・公共施設等への屋根貸しによる太陽光発電事業を引き続き募集するかどうか要検討。
54	地球環境保全活動の推進	民生部環境課	・地球環境保全のために主体的に行動できる人材や団体の育成。 ・地球環境を意識した取り組みの支援。	・継続的な事業の実施。

(3) 快適な生活環境の確保

快適な生活環境の確保のため、以下のような3つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。今後も、これまでの取り組みを継続していく必要があります。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
55	公害防止対策の推進	民生部環境課	・大気汚染や水質汚濁等に関する指導。 ・工場や事業所等への立入検査（県に同行）。 ・河川水工場排水水質検査の実施。 ・土砂条例による申請許可及び完了検査。	・継続的な事業の実施。
56	環境美化の推進	民生部環境課	・環境美化運動（年2回）の実施及び育成会の参加 ・環境美化運動の不燃ごみ排出方法の明確化 ・不法投棄監視体制の強化及び行為者の取締 ・不法投棄防止懸垂幕の設置 ・防犯カメラの設置	・継続的な事業の実施。
57	保健衛生対策の推進	民生部環境課	・春秋年2回の集合注射の実施 ・毎年10月に正しい犬の飼い方チラシ自治会回覧 ・食品衛生協会加入促進記事の掲載	・継続的な事業の実施。

(4) 景観の保全・形成

景観の保全・形成のため、以下のような3つの主要施策に取り組んできましたが、新しい景観形成制度の活用では、次計画では再検討する必要があります。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
58	新しい景観形成制度の活用	産業建設部建設課	・まちの景観形成の指針となる景観計画の策定や、規制誘導の根拠となる景観条例の制定、景観地区の設定等の検討については、具体的になし。	・景観法による施策は、その必要性も含め、要検討。
59	景観保全措置の推進	民生部環境課、産業建設部建設課	・【環境課】里山保全：とちぎの元気な森づくり事業を活用し、里山林の除伐、下刈りを実施。 ・【都市計】毎年の違法広告物パトロールの実施。（真岡土木事務所、ボランティア、土木係と合同）	・継続的な事業の実施。
60	住民参加の景観づくり	生涯学習課	・大規模花畑事業（ひまわり・コスモス祭り）、オープンガーデン、花いっぱい運動コンクール、ましこ花のまちづくり推進事業の実施 ・フラワーボランティアの募集	・花のまちづくりの一層の推進。

（５）快適な住宅の整備促進

快適な住宅の整備促進のため、以下のような２つの主要施策に取り組んでいましたが、例えば良好な住宅・住宅地の供給では、町営住宅の老朽化対策が必要になっていくなど、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
61	良好な住宅・住宅地の供給	産業建設部建設課	・建築条件等の住宅相談、問い合わせ対応の実施。開発許可の土木事務所への進達。 ・民間による良好な賃貸住宅の供給を促進します。（区画整理による住宅地の供給、民間アパートが増加した。）	・空き家が危ないという事例があったが、空き家対策について抜本的な対策、取り組みが進められていない。 ・町営住宅の老朽化対策。
62	良好な住環境づくりの促進	産業建設部建設課	・耐震診断補助金、被災住宅再建等利子補給費補助金、相談	・住宅の耐震化など、良好な住宅づくりを引き続き促進していく必要がある。

（６）公園・緑地の整備

公園・緑地の整備のため、以下のような２つの主要施策に取り組んでいましたが、おおむね計画通り推進できています。今後も、これまでの取り組みを継続していく必要があります。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
63	緑のネットワークの形成	民生部環境課、産業建設部建設課	【環境課】 ・森林の整備関係 H25 年度：前沢町有林に遊歩道の整備 ・緑化推進関係(緑の募金事業の活用、町からの助成事業) ・緑の募金事業：H23～26 年度「緑の募金公募事業」益子里山の会、H23～25 年度「緑化ボランティア助成事業」荒町みどり会 ・町緑化助成事業：町内小中学校への緑化助成 H23 年度：3 校、H24 年度：3 校、H25 年度：5 校、H26 年度：6 校 【都市計】 ・七井区画整理地内の区画公園と開発公園の維持管理	・継続的な事業の実施。
64	公園・緑地の整備・充実	産業建設部建設課	・住民と連携のもと、適切な維持管理に努める。（開発公園の維持管理）	・継続的な事業の実施。

(7) 河川・池沼の整備

河川・池沼の整備のため、以下のような3つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、個別施策では課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
65	治水機能の向上	民生部環境課 産業建設部建設課	・県管理河川の整備要望や河川堆積土砂の浚渫（しゅんせつ）	・継続的な事業の実施。
66	利水機能の向上	産業建設部農政課	・国営芳賀台地の事後評価、施設のストックマネジメント（長寿命化）事業の実施。 ・農地・水保全管理支払交付金事業（H26年からは多面的機能支払交付金事業に名称変更）により、地域住民が水路、農道、ため池等の維持管理（草刈、泥上げ等）を実施した。 ・その他、土地改良区によるため池等の整備（徳ヶ池、荒町南池ほか）に対し、支援を行った。	・農業用施設の老朽化による維持管理費用の増大。
67	親水機能の向上	民生部環境課 産業建設部建設課	・小貝川クリーン作戦実施 年1回 ・親水公園への花植え 年2回 ・ふるさとの川一斉除草 年1回 ・小学生の水生物調査 年4回 ・百目鬼川をきれいにする会支援 年12回	・自然を活かした最低限の維持管理で対応し、ソフト面を中心に、親水機能の向上を図る必要がある。

(8) 上水道の充実

上水道の充実のため、以下のような2つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。今後も、これまでの取り組みを継続していくことが必要とされます。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
68	住民の節水への協力促進	産業建設部建設課	・芳賀中部上水道企業団への補助金交付：H23年 39,813,000 円、H24年 39,902,000 円、H25年 40,298,000 円、H26年 39,914,000 円	・継続的な事業の実施。
69	安定した水道事業の運営支援	産業建設部建設課	・同上。	・継続的な事業の実施。

(9) 下水道の充実

下水道の充実のため、以下のような3つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
70	公共下水道の普及促進	産業建設部建設課	・工事請負費：H23年 85,065,363 円、H24年 115,480,840 円、H25年 132,992,837 円、H26年 158,700,000 円（予算額） ・委託料：H23年 45,336,565 円、H24年 55,806,365 円、H25年 118,283,150 円、H26年 73,720,000 円（予算額） ・生活排水処理施設普及率：H23年 57.1%、H24年 58.7%、H25年 60.9% ・水洗化促進訪問：H25年石並・新町の一部訪問、H26年 152 件	・下水道整備に係る財源の確保。 ・老朽化が進む施設の維持管理費の抑制。 ・整備済み区域内の接続率の向上。 ・使用料の未納の解消。
71	農業集落排水の安定経営	産業建設部建設課	・工事請負費：H23年 1,795,500 円、H24年 46,734,900 円、H25年 5,064,675 円、H26年 2,774,000 円（予算額） ・委託料：H23年 15,939,425 円、H24年 17,849,970 円、H25年 15,336,359 円、H26年 16,072,000 円（予算額） ・生活排水処理施設普及率：H23年 57.1%、H24年 58.7%、H25年 60.9% ・接続率：長堤上山地区 H23年 96.9%、H24年 97.0%、H25年 96.9% 小宅地区 H23年 85.0%、H24年 84.8%、H25年 88.1% 東田井地区 H23年 94.2%、H24年 94.3%、H25年 94.3% ・料金改定 基本料金 H23～25年：10 m³ 1,260 円、H26年 10 m³ 1,296 円	・老朽化が進む施設の維持管理費の抑制。 ・使用料の未納の解消。 ・公共下水道への接続の検討。
72	浄化槽の普及促進と適切な指導	産業建設部建設課	・浄化槽設置費補助金交付：H23年 32,958,000 円、H24年 33,556,000 円、H25年 37,276,000 円、H26年 34,096,000 円 82 基（予算額） 霞ヶ浦湖沼水質保全特別措置法に基づく5か年計画該当区域の上乗せ補助（本沼・原地域の一部） ・合併処理浄化槽への切り替えと合併処理浄化槽の普及促進の周知。確認検査、完成検査時の適切な点検・保守管理指導。	・引き続き合併処理浄化槽の適正な維持管理を促進していく必要がある。

(10) 資源循環型社会の形成

循環型社会の形成のため、以下のような2つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、廃棄物の適切な処理の推進では、高齢や障害などでごみ出しをできない方への対応が求められるなどの課題が残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
73	3Rの推進	民生部環境課	・生ごみ堆肥化モニター制度の実施 ・生ごみ処理事業の開始 ・資源物回収奨励金の実施 ・環境活動取組店認定制度の継続 ・各学校へ3Rポスター募集の周知	・継続的な事業の実施。
74	廃棄物の適切な処理の推進	民生部環境課	・広域のごみ処理施設の整備・稼働 ・広域化に伴う新しい分別方法の周知徹底 ・共用コンテナによるびん類の収集体制の確立 ・拠点ステーションの設置 ・芳賀広域行政事務組合によるし尿処理施設の運営	・高齢や障害などでごみ出しをできない方への対応。 ・総合的なごみの減量化。

(11) 防災体制の充実

防災体制の充実のため、以下のような3つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば災害時体制の強化では、役場庁舎の耐震化などの課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
75	地域防災体制の強化	総務部総務課	・全住民を対象とした総合防災訓練を実施（H23～26年度） ・自主防災組織を立ち上げた組織に対し防災用品購入費を助成（H23年度：2組織4自治会、H24年度：1組織1自治会、H25年度：2組織5自治会、H26年度：2組織2自治会）	・役場に非常用電源がない。 ・自主防災組織の組織化が遅れている地区の推進が必要。 ・自主防災組織で、緊急時の機器の使い方を教える必要がある。 ・定期的な消火栓等の使用方法の訓練が必要。
76	減災対策の推進	総務部総務課	・防災メールの整備（H25年度） ・防災行政無線のデジタル化（H26年度） ・防災マップ及び防災ハンドブックの作成、全戸配布（H26年度）	・新たな情報伝達手段の検討。
77	災害時体制の強化	総務部総務課	・防災備蓄倉庫の建設（H24年度） ・防災資器材、非常用食糧等の備蓄（H25年度、H26年度） ・総合防災訓練を通じ、避難場所及び避難路の周知 ・行政機関や民間事業所との協定の締結 ・避難施設の耐震化（H25年度、学校施設）完了	・早期の役場庁舎の耐震化。

(12) 消防・救急体制の充実

消防・救急体制の充実のため、以下のような3つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、消防体制の充実では、消防団への加入促進といった課題が残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
78	火災予防体制の強化	総務部総務課	- 火災予防週間時に広報ましこ、サイレン吹鳴、消防団の夜警等で啓発を実施。(H23～26年度) - 総合防災訓練のなかで避難訓練を実施。(H23～26年度)	継続的な事業の実施。
79	消防体制の充実	総務部総務課	- 消防団員等を対象としたポンプ操法競技会をはじめとする各種訓練を実施。(H23～26年度) - 消防団拠点施設の建設(H23～26年度) - 防火水槽の建設(H25年度：2基) - 消火栓の設置(H23年度：2基、H24年度：2基、H26年度：1基)	消防団への加入促進。
80	救急・救助体制の充実	総務部総務課	芳賀地区広域行政事務組合で救急・救助体制に関する事業を実施。	継続的な事業の実施。

(13) 防犯体制の充実

防犯体制の充実のため、以下のような2つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。今後も、これまでの取り組みを継続していく必要があります。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
81	防犯意識の高揚	総務部総務課	- 総合防犯診断の実施(H23年度、H24年度、H25年度) - 防犯パトロールの実施	継続的な事業の実施。
82	防犯体制の強化	総務部総務課	防犯灯の設置(H23年度：45基、H24年度：66基、H25年度：60基、H26年度：35基)	継続的な事業の実施。

(14) 交通安全対策の充実

交通安全対策の充実のため、以下のような2つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、交通安全対策の推進では、町内道路の一方通行化の検討が課題となっています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
83	交通安全意識の高揚	総務部総務課	- 交通安全運動を実施し、交通安全意識の啓発(H23年度、H24年度、H25年度、H26年度) - 交通安全教育の実施(H23年度、H24年度、H25年度、H26年度)	継続的な事業の実施。
84	交通安全対策の推進	総務部総務課	交通安全施設の整備及び維持管理(H23年度、H24年度、H25年度、H26年度)	町内道路の一方通行化の検討。

(15) 消費生活の向上

消費生活の向上のため、以下のような3つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。今後も、これまでの取り組みを継続していく必要があります。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
85	消費者意識の啓発	産業建設部観光商工課	- 消費生活研究会による出前講座を実施（自治会・敬老会等の行事の際） - 消費生活関係の事例紹介の記事を町広報誌に定期的に掲載し消費者意識の啓発に努めた	継続的な事業の実施。
86	消費者活動の促進	産業建設部観光商工課	消費者生活リーダー養成講座にH23、24年各1名参加	継続的な事業の実施。
87	消費者保護の体制づくり	産業建設部観光商工課	H24年度末に茂木町・市貝町・芳賀町と共同で芳賀地区消費生活センターを設置	継続的な事業の実施。

第4節 産業が育ち、活力ある益子

(1) 農林業の振興

農林業の振興のため、以下のような4つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば農業生産体制の整備では、新規就農者の確保が困難など、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
88	農業生産体制の整備	産業建設部農政課	- 認定農業者の育成・確保、集落営農の組織化・法人化について推進することができた。 - 担い手への農地集積は、円滑化事業、中間管理事業等の活用により、徐々にではあるが集積が進んでいる。 - 情報提供については、幅広く提供することができた。	- 新規就農者の確保。 - 耕作放棄地の取扱い。 - 農業経営の合理化。 - 高齢化と後継者不足。 - 儲かる農業を考える必要がある。
89	魅力ある農業の振興	産業建設部農政課	- ましこブランド作出支援補助事業（H20～）により、農産物加工品の開発や新たな農作物の作付に取組む農業者が増加した。 - 地場野菜等の出荷を促進し、農業経営の安定と町の農業振興を図るため、益子町農業用ビニールハウス資材購入費補助制度（H26年新設）を創設した。	継続的な事業の実施。
90	農村環境の整備	産業建設部農政課	- 土地改良区及び多面的機能支払交付金事業を活用した各地区環境保全会による用排水路、ため池等の保全管理を実施した。 - 農産物に被害をもたらすイノシシ等有害鳥獣の防護柵の設置に対して補助を行った。	- 有害鳥獣防護柵への補助金について、現状では販売農家のみ対象となっている。 - 地産地消の促進。
91	林業の振興と森林保全機能の向上	民生部環境課	- 間伐の実施（H23年度：赤法花町有林7.8ha、H24～26年度：未実施） - 林道管理の実施（H23～26年度：林道5路線の沿線の除草作業、側溝清掃を実施） - 元気な森づくり事業による里山林整備の実施（H23年度：景観対策1地区10ha・獣害対策2地区16.2ha、H24年度：獣害対策4地区28.1ha、H25年度：景観対策1地区7.3ha・獣害対策2地区6.3ha、H26年度：景観対策2地区10.2ha・獣害対策1地区10.3ha） - 銘柄材生産事業の実施【芳賀地区森林組合への活動補助】（H23年度：補助金425千円、H24年度：補助金210千円、H25年度から補助廃止）	高齢化のため、里山の整備をする人が減る中で、山が荒れないようにするのが課題。

(2) 工業の振興

工業の振興のため、以下のような3つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば新たな産業の創出では、空き店舗利用への支援など、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
92	既存企業の強化	産業建設部観光商工課	・中小企業振興資金信用保証料補助及び中小企業振興資金利子補給補助を実施	・継続的な事業の実施。
93	伝統産業（益子焼）の発展	産業建設部観光商工課	・大塚実基金を活用した益子焼後継者育成を目的とした補助制度及び貸付制度実施 ・益子焼協同組合と益子焼販売店組合に販路拡張補助金交付 ・益子焼関係団体振興協議会へPR事業補助金交付	・農業を絡めた事業について検討。
94	新たな産業の創出	産業建設部観光商工課	・企業誘致班を組織し企業訪問等誘致活動を実施 ・企業等誘致条例の一部改正を行い支援内容を充実させた ・起業支援補助金交付要綱を整備	・空き店舗利用への支援。 ・スモールビジネスの立地促進について、要検討。

(3) 商業の振興

商業の振興のため、以下のような3つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば経営力向上の支援では、商店主の高齢化の問題のように、個別施策では課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
95	商業活動の活性化	産業建設部観光商工課	・栃木県産業振興センターの補助制度の紹介（中小企業庁の地域商店街活性化補助金の活用・中小企業庁の起業補助金の紹介）	・継続的な事業の実施。
96	経営力向上の支援	産業建設部観光商工課	・中小企業振興資金信用保証料補助及び中小企業振興資金利子補給補助 ・商工会には運営費補助のほか賑わい創出事業補助金を交付し、プレミアム商品券の発行により商工業者の支援を実施	・商店主の高齢化。
97	商業環境の整備促進	産業建設部観光商工課	・商業環境の整備促進については特になし	・道の駅を活かした地域商業の振興。

(4) 観光の振興

観光の振興のため、以下のような2つの主要施策に取り組んでいましたが、おおむね計画通り推進できています。今後はより一層の取り組みが必要です。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
98	観光プログラムの開発	産業建設部観光商工課	- 体験学習メニューの充実（ラーニングパッケージ補助事業）実績：H23 年度：1 団体、H24 年度：5 団体、H25 年度：6 団体、H26 年度：6 団体 - 様々な観光資源を活用した観光商品の造成・販売（県東エリアの共同事業）	ラーニングパッケージのさらなる充実。
99	観光客の誘致	産業建設部観光商工課	- 観光ボランティアガイドまじこの育成（研修や各種つどいに参加し人材育成の実施） - まちや観光協会のホームページで観光情報に関する充実した情報発信の実施 - H26 年度に益子町観光「おもてなし」振興事業補助金の創設	グリーンツーリズムによる宿泊の可能性の検討。

(5) 雇用・勤労者福祉の推進

雇用・勤労者福祉の推進のため、以下のような2つの主要施策に取り組んでいましたが、おおむね計画通り推進できています。今後も、これまでの取り組みを継続していくことが必要です。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
100	就労支援の充実	産業建設部観光商工課	厚生労働省委託事業である実践型地域雇用創造事業を H26 年度より実施し、町内企業向けのセミナー、求職者向けのスキルアップセミナー、就職面接会を実施	地方創生関連事業の推進。
101	就労環境の改善	産業建設部観光商工課	- 益子町永年優良従業員表彰制度を実施 - 国・県の各種福利厚生制度の広報	小さなものづくりの町の施策の充実。

第5節 生活やビジネスに魅力的な益子

(1) 計画的な土地利用の推進

計画的な土地利用の推進のため、以下のような主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、空き家など資産の有効活用などの課題が残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
102	適切な土地利用の誘導	総務部企画課	「益子町土地利用に関する事前指導要綱」に基づく事前指導 - 町営駐車場用地の取得（H26年度）	- 役場周辺の土地利用のあり方検討。 - 空き家など資産の有効活用。 - 移住・定住促進。

(2) 魅力ある市街地の形成

魅力ある市街地の形成のため、以下のような2つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、長期的視野に立った都市計画の推進では、市街地の狭隘な道路の改良などの課題が残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
103	長期的視野に立った都市計画の推進	産業建設部建設課	- H24年まちづくり研究会によるまちづくり提言。 - H25年マスタープランの一部見直し、役場周辺区画整理基本計画。	- 役場周辺の土地利用のあり方検討。 - 市街地の狭隘な道路の改良。
104	人と自然にやさしい街並みづくり	産業建設部建設課	- 施策通番62と同様の「耐震診断補助金、相談」と利子補給補助の実施 - 花の植栽、土祭や勉強会により町民の自然景観保全意識が高まった	継続的な事業の実施。

(3) 道路網の充実

道路網の充実のため、以下のような2つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば例えば道路網の整備・充実では文化財を周遊する道路網整備といった課題があり、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
105	道路網の整備・充実	産業建設部建設課	- 都市計画道路の一部見直しを含め検討した。 - 生活道路については、要綱を制定し、狭あい道路整備事業において補助金を設け事業促進を図った。 - 橋梁については、長寿命化促進計画をH26年3月に策定し、今後計画に基づいて修繕していく。	- 文化財を周遊する道路網整備。 - 長寿命化促進計画に基づく事業の推進。
106	道路環境の向上	産業建設部建設課	- わかりやすいサインの設置（県で実施？）。 - 運動公園への通りや小中学生の通学路などの歩道整備。	継続的な事業の実施。

(4) 公共交通の充実

公共交通の充実のため、以下のような2つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
107	鉄道・路線バスの維持・充実	総務部企画課	- 県や沿線市町とともに鉄道維持のため、経営支援をするとともに社会科見学等に真岡線を利用した場合に利用補助金を学校等に交付した。 - 路線バスについては、利用者からの声を伝えた。町HPへバス停の情報を掲載した。 - 高齢者健康バスすこやか号は、デマンドタクシー運行時に廃止した	公共交通の連携及び利用者の利便性向上。
108	新たな公共交通システムの形成	総務部企画課	- デマンドタクシーの実証運行開始(H24年10月～) - 高速バス(益子～秋葉原)の誘致	デマンドタクシーの利用促進。よりよいあり方の検討。

第6節 住民と行政がともに創る益子

(1) 協働のまちづくりの推進

協働のまちづくりの推進のため、以下のような2つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、住民参画の促進では、各審議会委員への公募委員の登用や住民と行政の協働は、各事業ごとに進捗に差があるといった課題が残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
109	まちづくり情報の共有化	総務部総務課	・広報ましこ、お知らせ版の発行。防災行政無線による行政情報放送の実施。 ・ホームページリニューアル(システム・デザインの変更)：H24年4月 ・フェイスブックの開設：H25年5月 ・とちぎテレビデータ放送の開始：H25年10月 ・町内4カ所にまちづくり意見箱設置。 ・地域懇談会の開催(町内4カ所)：H25年6月	・継続的な事業の実施。
110	住民参画の促進	総務部総務課	・まちづくり基本条例の策定を始め、公募委員の登用、住民参画の機会の充実が進んでいる。 ・住民と行政の役割分担と連携、住民と行政の協働についても、まちづくり基本条例に盛りこむことができ、土祭などのイベントにおいて結果も出ている。	・各審議会委員への公募委員の登用や住民と行政の協働は、各事業ごとに進捗に差がある。(委員については条例・規則の改正が必要なものも多い)

(2) 地域活動の活性化

地域活動の活性化のため、以下のような2つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、活動の促進では、役場職員の自治会担当制で、関わり方などの課題が残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
111	活動の促進	総務部総務課	・環境ボランティアや自主防災組織など、特定の分野では活動が活性化し、リーダーの育成も進んでいる。	・役場職員の自治会担当制での関わり方。
112	活動拠点の整備・充実	生涯学習課	・コミュニティ助成事業の補助 ・学校グラウンド・体育館の開放 ・自治会における自治会公民館の適切な維持・管理	・継続的な事業の実施。

(3) 適切な行政運営

適切な行政運営のため、以下のような5つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば情報通信技術の活用推進では、全庁的な事業継続計画(BCP)の策定が課題であるなど、個別施策には課題が残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
113	計画行政の推進	総務部企画課	- 行動計画に位置付けられる未来計画により、進行管理を実施した - 行政評価の実施（H21年～）	継続的な事業の実施。
114	職員の能力向上	総務部総務課	職員一人ひとりの能力開発のため、自己啓発研修制度の実施	個々の職員が担当する業務が増加傾向にあり、時間的な制約のため自己啓発研修制度など活用が少ない。
115	効果的・効率的な行政運営	総務部総務課	柔軟性や機動性を確保した組織体制の強化、組織・機構の見直し	人事評価について、自己評価と評価者評価の突合せ（フィードバック）が未実施。
116	住民サービスの向上	総務部総務課	- 行政窓口の利便性の向上のため、月2回の土曜開庁の実施 - 毎週金曜日の窓口延長	継続的な事業の実施。
117	情報通信技術の活用推進	総務部企画課	- IT資産管理ソフト導入による、マルウェア等の不要なソフトウェアのダウンロード制限 - 役場と公民館等の拠点間通信を光回線に替え、役場以外の各拠点の業務の迅速化を行った - グループウェア変更による最新ブラウザへの対応及びコストダウン - サーバの仮想化によるリソースの有効活用及びコストダウン	全庁的な事業継続計画（BCP）の策定。

(4) 安定した財政運営

安定した財政運営のため、以下のような3つの主要施策に取り組んできましたが、おおむね計画通り推進できています。しかしながら、例えば計画的な財政運営の推進では、公共施設等総合管理計画の策定など、個別施策には課題も残されています。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
118	計画的な財政運営の推進	総務部企画課	- H22年に策定した第2期財政計画（H23～27年、基準年度：H17年）に基づき、歳入の見直しとともに、人件費（3役給与等）削減、委員会等の報酬の削減、報償費の削減、投資的経費の適切な執行、物件費の削減、補助金等の削減を実施した。基準年度に比べ、歳入は1億8千4百万円増（進捗率62.3%、H23～25年）となった。 - 町債残高を69億円（H16年度比：▲9.6億円）、基金残高を20億5千万円（H16年度比：+10.5億円）とした。 - 予算の重点配分については、学校給食民間委託や道の駅事業、埴地区公共下水道事業など柔軟に予算措置が行われていると考える。	- 公共施設等総合管理計画の策定。 - 旧小宅小学校など町有財産の有効活用。 - 自主財源の確保。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
119	財源の確保	総務部税務課・企画課	<税務課記入分> ・H23年に口座振替加入促進、H24から土曜日開庁を実施。H23年以前から金曜日の窓口延長や納付書のコンビニ、ゆうちょ銀行（郵便局）での取り扱いを開始し、収納率向上に努めている。 ・滞納整理については、口座や給与等の差押を実施。動産、不動産の公売を随時実施している。 ・地場産業の振興については、大塚実基金の創設や中小企業振興基金利子補給補助金の実施している。 ・町商工会に対しては、プレミアム商品券発行事業費補助を行っている。 ・H25年から、起業者に対しては起業支援補助金を創設。企業誘致については補助条例の一部を改正し、補助内容を充実させている。 <企画課記入分> ・自主財源の確保及び地場産業の振興の観点から、ふるさと納税を推進し、H27年度から一定額の寄付者に対して返礼品を贈呈することに併せ、インターネットによるクレジット決済が行えるよう条件整備を進めている。 ・補助事業については最終的に積極的に活用されているが、担当課の予算要求段階では一般財源によって見積もっているところもあることから、職員の意識醸成がさらに必要と考える。	・各種使用料・手数料等の見直し。
120	財政の透明性の向上	総務部企画課	・財政に関する以下のものを公表してきた。 ①財務4表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書） ②ましこの予算（当初予算についての住民向け説明書） ③半期ごとの財政状況 ④決算の概要説明 ⑤健全化判断比率等の状況 ⑥財政状況資料集 - など	・継続的な事業の実施。

（５）広域行政の推進

広域行政の推進のため、以下のような３つの主要施策に取り組んできましたが、周辺市町との合併がなくなった以外はおおむね計画通り推進できています。今後も、これまでの取り組みを継続していくことが必要です。

施策通番	主要施策	担当課	これまでの取り組み	今後の主な課題
121	計画的な広域行政の推進	総務部総務課	・ごみ処理広域化	・継続的な事業の実施。
122	推進体制の強化	総務部総務課	・ふるさと市町村圏基金の適切な運用	・継続的な事業の実施。
123	市町村合併の研究	総務部企画課	・自主自立の方向で進んできた	・次期計画でのこの項目の取扱いは、要検討。

第5部 地域懇談会のまとめ

第1章 第一回地域懇談会のまとめ

第1節 地域の課題・問題・将来への不安

地域の課題・問題・将来への不安については、少子高齢化、自治会・コミュニティに関することが、3地区で意見の多寡の差はあるものの、共通していますが、それ以外については、地域によって特色がみられます。

益子地区	七井地区	田野地区
最も多い意見は少子高齢化関係で ①高齢世帯の増加と子供がいない 次にコミュニティに関する事で ②自治会未加入（若い世代が関心がない） ③近所とのコミュニケーションが少ない ④自治会組織や伝統を後継者引き継げるかどうかという不安 次にインフラ・空き家関係で ⑤歩道がない（狭い） ⑥下水道整備 ⑦空き家・空き店舗 など 他には ⑧後継者不足（結婚問題） ⑨公園（遊具）の整備 ⑩耕作放棄地問題 など	最も多く出された意見は、自治会に関する課題で、 ①少子化・人口減により自治会加入者が少なくなり育成会を含め行事への参加者が少なく開催が厳しくなっていること。 ②また 30-40 代の中間層の参加が少なく、今後の自治会運営自体が危ぶまれる。 次に防災に対する課題で ③当地区には、小貝川があり、水害の時には川を渡れなかったことをふまえ、川西地区の避難場等の整備が上がってきている。 その他には ④雇用問題 ⑤医療関係（医院の減少） ⑥空き家問題 など	最も多かった意見は、インフラに関する事で ①ガソリンスタンドやお店がないこと ②道路が狭いことによる歩道や拡幅 次に農業関係となっており ③農地の維持（耕作放棄地の増加） ④米価の低迷 ⑤イノシシ等獣外 ⑥八幡池がハスだらけで利用できない 次に自治会・資源の活用となっている ⑦自治会未加入者の増加や参加する人の固定化 ⑧少子高齢化問題 ⑨山本小跡地の利活用 など

第2節 地域の誇り

地域の誇りについては、自治会に参加している方同士の結束が強いこと、伝統行事・文化に関すること、自然豊かな環境が3地区で共通しています。

益子地区	七井地区	田野地区
最も多かった誇りはコミュニティ関係で ①子供の安全確保（スクールガード）への協力 ②自治会活動が活発で積極的に参加する団結力がある ③小中学生が挨拶をすること など 次は伝統行事・風景などで ④祇園祭やお囃子 ⑤里山や田園風景・雨巻山 など 他には ⑥自分の得意分野を子供たちに伝える人がいること ⑦夜の静けさなど自然環境に起因するもの ⑧国指定文化財があること など。	最も多かったことは、 ①自治会内の結束が強く、連帯感があること（自治会に参加している人が固定化されているものと思われる） 次には、 ②祇園祭・どんとやき・獅子舞など伝統行事に係るもの（特に山車の復活は影響大） ③田園風景や大平山などの風景 など	最も多かったのは伝統文化・祭り関係で ①松本歌舞伎 ②太々神楽・お囃子・神楽 など 次にコミュニティ関係で ③顔がわかり地域住民との結束が強い ④育成会・自治会行事への参加が多い 他には ⑤自然豊かな環境による田園風景 など

第3節 地域の夢

地域の夢については、世代間の交流で絆を深めることが、3地区で共通しています。

益子地区	七井地区	田野地区
最も多かったのはコミュニティ関係で ①隣近所や各年代が連携できる地域 次は、施設関係で ②新しい人との交流を持てる場所や高齢者が集まれる場所 ③児童館・図書館 など 他にはインフラ・産業などで ④下水道・歩道整備 ⑤雇用の充実（子供が戻ってこられる地域） など	最も多かったことは、課題・問題であった自治会維持・活性化の関係で ①幅広い年代による話し合いができる機会をつくること ②子どもたちの笑顔・笑い声があること ③安心して暮らせる地域 など 次には後継者に関することで ④Uターンができること ⑤後継者が働ける場所の確保 ⑥若者の結婚問題 など その他には ⑦芸術大学の誘致 ⑧七井分館・小宅小の跡地利用など	最も多かったのはコミュニティ関係で ①各年代が話し合い・協力し合い、地域の連帯感を強める 次はインフラ関係で ②ガソリンスタンド・店舗があること ③道の駅及び周辺施設の整備 他には少子化問題・農業関係であり ④若い家族が多くなり、子どもたちが遊ぶ声が聞こえる ⑤農業の活性化など また、特長的なものとして都市住民との交流があり、 ⑦利用していない田畑・農家⑧住宅を利用して人を呼び込む ⑨観光農園や大郷戸ダムなどの資源の活用 など

第4節 地域の好きな場所・こと

地域の好きな場所・ことについては、自然豊かな風景・景色が3地区で共通しています。

益子地区	七井地区	田野地区
最も多かったのは豊かな自然関係で ①里山風景や雨巻山などの山 ②経ヶ坂・メッセ・益子小・西小からの街並みの風景 次に施設関係で ③陶芸メッセ ④自治会公民館（塙・星の宮） その他には文化財やSL 関連などで ⑤綱神社や地藏院などの文化財 ⑥SL と小貝川周辺（親水公園・鉄橋など） ⑦近所のつながりや大きな災害がないこと など	ほとんどが、風景・景色で ①益子高校からの筑波・高館・大平山などの山並み ②北公園と公園からの眺め（夜景・富士山） ③里山・田園風景 などとなっている。 次には、伝統行事や神社等で ④祇園祭・西明寺など その他には、 ⑤やまゆり ⑥大羽川の鉄橋を電車が渡る姿と音 ⑦SL など	最も多かったのは、自然豊かな景色で ①山本・前沢地区などの眺望や田園風景 ②光明寺のしだれ桜や徳ヶ池・山本小の桜とつづく 他には ③寝そべて星空を眺める など

第2章 第二回地域懇談会のまとめ

第1節 コミュニティ活動を活発化するためにできること

コミュニティ活動を活発化するためにできることとしては、個人でできることについては隣近所との挨拶や近所同士のつながりを持つ、自治会活動や行事等への参加、などが3地区でおむね共通しています。

グループでできることと自治会でできることについては、イベントなどの企画、交流の場をつくる、などが3地区で共通しています。

地区でできることについては、3地区ごとに特色のある多様なアイデアが出されています。

	益子地区	七井地区	田野地区
個人でできること	・隣近所とのあいさつ ・近所づきあい ・自ら周辺管理に努める ・地域の子どもたちとふれあう。指導する ・一人暮らしの話し相手になる ・積極的に自治会活動に参加する ・ボランティア活動に参加する ・環境美化活動に参加する ・地域のPRに努める ・健康長寿に努める ・地域の歴史を学ぶ。＊文化財のガイドを務める ・子どもたちに地域にUターンするよう働きかける	・近所同士のつながりをもつ ・あいさつをする ・子供たちに率先してあいさつする ・積極的に自治会活動に参加する ・行事に積極的に参加 ・地域活動への積極的な参加 ・美化活動 ・お祭りに参加 ・趣味の集まりでもいいのでグループ活動に参加する ・気軽な運動で健康維持 ・酒を飲む機会を増やす ・直売所の利用で地元のものを買う ・農家の活性化 田んぼの有効活用 ・フェイスブックでPR	・隣近所とのあいさつ ・近所づきあい ・積極的に自治会活動に参加する ・伝統行事に参加する ・自治会公民館を利用する ・ボランティア意識をもつ ・美化活動に参加する ・趣味の付き合いを広げる
グループでできること	・イベント考える ・そばまつり ・ペーゴマ大会 ・ラーニングバケーション ・趣味のサークルをつくる ・世代ごとのグループをつくる ・若い世代のグループをつくる ・話合いの場をつくる ・気軽に集える場をつくる ・米などのブランド化を図る→外貨の獲得 ・環境維持・美化のための組織をつくる ・山道生活道を復活させる ・老人クラブを活性化させる	・老人会、旅行会などクラブの活動を活発に ・イベントへの参加 ・地域の課題について話し合いの場を設ける ・枝垂れ桜を守る会 会員を増やす ・地域で勉強会を開く（優秀な先生がたくさんいる） ・カラオケ機器の活用 ・小さいコミュニティ同士の交流の場を設ける ・蛭を守る ・花いっぱい ・菜の花の種をまく 親子摘み取り体験 ・草刈など環境美化 ・農作物と景観形成 ・農地や水路の保全	・生きがいづくりの場をつくる ・趣味のサークルをつくる ・世代ごとのグループをつくる ・話合いの場をつくる ・気軽に集える場をつくる ・イベント考える ・地域内のコミュニケーションをとる ・子供の成長を支援する ・伝統文化を継承する
自治会でできること	・だれもが加入できる雰囲気をつくる ・だれもが加入しやすいシステムをつくる ・新規加入者の歓迎会をする ・アパート居住者の加入を促進する ・環境保全活動を行う ・自治会を外部にPRする ・花いっぱい運動を推進する ・ボランティア活動を推進する ・地域の歴史などを学ぶ機会をつくる ・住民が意見を出しやすい仕組みをつくる	・ふれあいの機会を作る ・自治会同士の交流の場を設ける ・イベントを企画する ・地域の人材を活用し、子供たちに知識を継承していく（書道、工作、俳句、昔の遊びなど） ・日枝神社のお祭りが大人の行事になってしまっているため、子供たちが参加できるようになるとよい ・公民館祭りの復活 ・回覧だけでなく声掛けによるイベントへの参加促進 ・町の事業に参加する ・文化財の修復	・だれもが加入できる雰囲気をつくる ・環境保全活動を行う ・花いっぱい運動を推進する ・山林へのもみじの植栽 ・ミニ図書館をつくる ・他自治会等との情報交換に努める ・だれもが楽しめるイベント ・子どもが参加できるイベント ・若い人が参加できるイベント ・高齢者が参加できるイベント ・高齢者へのイベントへの招待 ・そばの花の時期に花見を企画 ・男の料理教室

	益子地区	七井地区	田野地区
	・自治会公民館を利用する ・隣接自治会との合併を考える ・自治会住民の相談窓口をつくる ・体験型農業を推進する ・地域特産品を考える ・道の駅を利用して自治会内の各種PRをする ・だれもが楽しめるイベント 子どもと高齢者が交流できるイベント ・無関心な住民に関心を持ってもらうイベント ・定期的・継続的なイベント ・自治会の個性を生かしたイベント ・自治会のイベントを外部にPRする ・伝統行事を継承（支援）する ・文化財を守っていく	・行政に頼らず自分たちでできることは自分たちでやる	・高齢者インターネット講座 ・伝統行事を継承（支援）する ・伝統行事の招待状を地元から離れた子供や孫に送る ・独居老人等を確認・把握しておく ・危険個所の確認・把握しておく ・非常時の電源、水源を把握しておく
地区でできること	・隣接自治会（大字）と共同でイベントを行う ・世代間交流を進める ・学校支援、スクールガードなどボランティア活動を推進し、学校との交流を深める ・環境美化に努める ・益子地区のPRに努める ・国有林を活用する ・自然を守る	・地区ぐるみ運動会に学校を巻き込んで参加率を上げる ・芳星高校と七井地区とコラボして活躍の場を作る ・あぐり館、北運動公園など公共施設を利用した場を設ける ・民具センター ・子供たちへの教育 ・子供たちの集まる場所を作る ・小宅しいおう跡地の活用方法について話し合う ・散歩するコースの楽しみづくり ・自分たちでできることは自分たちで、自立	・地区ぐるみ体育祭への参加を推進する ・学校支援、スクールガードなどボランティア活動を推進する ・子供とお高齢者の交流を推進する ・高齢者への声かけをする ・伝統行事を継承する ・地区としてのイベントを行う ・女性を対象としたイベントを行う ・消防団活動を補うため、女性を活用する ・地区内の観光（サイクリング、散歩）マップをつくる ・大郷戸ダムを生かしていく ＊ 広場に植栽 トテ馬車運行

第2節 地域資源（産業）を活用した地域づくり

（1）益子地区

益子地区では、益子焼をはじめ地域の文化財やイベントに関連する提案や農業・農作物に関連する提案などがみられます。

小学校区	地域資源	活用方法
益子小学校区	益子焼	・3人目の人間国宝を出せたらいい、オブジェを作る
	文化財	・知る・勉強する
	西明寺	・PRして観光
	夏祭り	・PRが足りない、もっとPRすべき
	コスモス祭り	・子供に参加してもらう
	そば祭り	・回覧で周知、地域住民の情報交換として作り方伝承
	花馬	・花馬の意義と伝承を将来へつなぐ
	甘酒祭り	・子供が飲まないのので取りやめになったが、大人のイベントとしてはだめか
	道の駅	・食のエキスパートに。他にはない「食」を生み出すことで集客を求める ・食文化の活性化 ・益子の食文化の発展、個々の飲食店をつなぐ、地産地消で食育
	空家	・起業したい人に提供
	農地活用	・車道を狭くする
	円道寺池周辺の整備	・自治会のイベント
	山車	・場内坂に山車小屋検討中
	高館山	・登山、ウォーキング
	ものづくりの多い町	・作り手の風景を見せる、見える取組、ラーニングパッケージ
	国際交流	・もっと観光地に外国の方を呼ぶ、会話ができる町
益子西小学校区	益子ブランド	・田町なでしこ会（ビルマ汁）のように
	寺	・夏休み座禅会→子どもたちの健全育成。大人や地域外へも広める
	伝統行事、既存のイベント	・節分祭、神社祭礼、盆踊りなどを外部にもPR ・地域活性化に生かす ・星の宮フェスティバルを外部にもPRし、来場者を増やす
	地元の産物	・6次産業化を図る→道の駅との連携
	いちご団地	・イベントの開催。道の駅との連携
	工業団地	・土地の有効活用
	耕作放棄地	・放棄地の情報共有、データベース化 ・地域住民に提供→共同で野菜づくりなど ・老人クラブに管理委託→花の植栽 ・バイオエネルギーの原料栽培（トウモロコシなど） ・バイオエネルギーのプラントとして利用（木質バイオなど）
	竹林、雑木林	・木質バイオの原料調達として利用
	空き地	・太陽光発電に利用する
	空家	・貸家として再生利用する
	人材	・特技、知識持つ人を地域の発展に生かす
	弁天池、工業団地周辺	・整備して名所にする
旧大羽小学校区	真岡鉄道沿線風景	・除草などを行い、きれいな景観を保つようにする
	宇都宮家の墓所	・もっとPRすべき、宇都宮と共同で
	果樹園	・イベントを開催する
	田畑	・都会の人に貸し出す、産物を収穫して販売する ・ブランド米を作る
	川	・魚釣りなど遊びながら楽しめる場にする
	自然里山景観	・このまま変化を求めない ・山道の整備で地域交流の場、祭り会場
	イバロウ地域（茂木と下大羽の境）	・近隣観光地とタイアップ ・道の駅的な施設を整備
	空家	・都会の人に貸し出す

(2) 七井地区

七井地区では、文化財などの観光資源としての活用に関連する提案や、農業・農産物に関連する提案などがみられます。

小学校区	地域資源	活用方法
七井小学校区	小貝川	・七井から田野地区へのいかなだり
	北公園等公共施設	・ウォーキング等に使用
	蛍の見れる地域	・益子地区の観光に組み込む
	枝垂れ桜	・うまくPRし、会員を増やす
	山車	・地域コミュニティの構築
	野菜	・加工し、道の駅で販売できるといい（第6次産業）
	フルーツライン	・自家消費
	人材	・地域での勉強会を開催
	語り部の人材	・益子・田野と合同発表
旧小宅小学校区	亀岡八幡宮	・菜の花の種をまいて誘客を図る ・菜の花祭りを開いて農産物を販売 ・菜の花油を作る ・種の栽培
	小宅古墳群	・古墳めぐり（観光）
	文化財	・観光ツアーを考案してみたらどうか ・フェイスブックやネット等で呼び込む
	芦沼の獅子舞	・他地域への幅広いPR
	芳賀富士（関東ふれあいの道）	・登山客や地元住民のための環境整備を進め、地域の活性化につなげる
	安善寺（枝垂れ桜）	・桜の保全会を通して地域の絆を強める
	農業	・環境・食の重要性のアピール、道の駅でPR・販売
	蛍	・自分たちが楽しむ
	豊富な山の幸	・自分たちが楽しむ
	いのしし	・名産品として開発
	小宅小学校跡地の活用	・地元で意見を出し合う
	小宅西から太平洋益子ロイヤル勝見沢の外周コースが散歩道によい	・コースに面白みをつける

(3) 田野地区

田野地区では、整備が予定されている道の駅の活用に関連する提案や、自然の活用に関連する提案などがみられます。

小学校区	地域資源	活用方法
田野小学校区	道の駅	・文化の発展源とする ・体験型の農園 特産物作り ・収穫したものを商品化、販売 ・神輿、お囃子など披露 ・レンタルサイクル ・コミュニティールームを作る
	自然、田園風景	・小貝川沿いでサイクリングロード
	里山の紅葉	・コミュニティ内で写真展を開く
	そば畑	・ひまわり、コスモスのように花祭り開催
	空家	・民泊
旧山本小学校区	道の駅	・道の駅を起点としたサイクリングロード設定
	文化財、風土	・地域の歴史を乗せたパンフレットの作成
	自然	・大郷戸ダム、前沢町有林の活用 ・田舎を好む都会人をターゲットにして観光資源としていかす
	山林	・樹木（もみじ等）の植栽 里山の名所づくり
	ため池	・ホテルの名所
	農業	・法人化をして地域の農業、景観を守る ・農業体験
	水田	・実りの頃のライトアップ
	イノシシ	・イノシシ牧場 ・ハンター体験 ・猪ナイト探検
	大郷戸ダム	・キャンプ場をつくる ・花畑をつくる ・周辺マップ（ウォーキング、サイクリング等マップ）をつくる ・カブトムシの養殖
	鉾山（マンガン鉾）跡	・探掘跡探検
	人	・子どもたちを大切に育てる